

第5期第4回横浜市子ども・子育て会議〔放課後部会〕

日時：令和3年12月9日（木）

18時30分～20時

場所：市庁舎18階 みなと4・5

議事次第

- 1 開会
- 2 青少年部長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局紹介
- 5 議事
横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討について
- 6 閉会

〔配付資料〕

- | | |
|-----|--|
| 資料1 | 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 委員名簿 |
| 資料2 | 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 事務局名簿 |
| 資料3 | 横浜市子ども・子育て会議条例 |
| 資料4 | 横浜市子ども・子育て会議運営要綱 |
| 資料5 | 横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討について |
| 資料6 | 令和3年度放課後健全育成事業の質の向上に向けた取組みに関するアンケート結果（まとめ） |
| 資料7 | 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂（案） |

横浜市子ども・子育て会議 放課後部会 委員名簿

◎: 部会長 ○: 職務代理者
 【敬称略 50音順(委員及び臨時委員ごと)】

	所 属 ・ 役 職 等	委 員	備 考
1	横浜市PTA連絡協議会 副会長	あおやぎ ひろこ 青柳 寛子	(☆)
2	文教大学人間科学部 准教授	○ あおやま てつぺい 青山 鉄兵	
3	千葉敬愛短期大学 学長	◎ あかし よういち 明石 要一	
4	市民委員	いけだ ひろひき 池田 浩久	
5	横浜市青少年指導員連絡協議会 委員	へんみ しんいち 辺見 伸一	
6	横浜市民生委員児童委員協議会 栄区主任児童委員連絡会 代表	みやざき りょうこ 宮崎 良子	
7	横浜市子ども会連絡協議会 会長	まつもと ゆたか 松本 豊	臨時委員
8	横浜市小学校長会 副会長	みずしま たかし 水島 貴志	臨時委員 (☆)
9	横浜障害児を守る連絡協議会 副会長	みやなが ちえこ 宮永 千恵子	臨時委員

※任期は令和4年10月31日まで
 ☆は新任委員

横浜市子ども・子育て会議 放課後部会 事務局名簿

所 属	氏 名
こども青少年局	
青少年部長	遠 藤 寛 子
放課後児童育成課長	松 原 実 千 代
放課後児童育成課担当係長	大 岩 真 人
放課後児童育成課担当係長	唐 澤 英 和
放課後児童育成課担当係長	田 邊 吉 広
放課後児童育成課担当係長	南 雲 純 子 (☆)
青少年育成課長	梶 原 敦 (☆)
青少年育成課担当係長	山 田 陽 子
教育委員会事務局	
教育政策推進課担当課長	佐 藤 悠 樹 (☆)
教育政策推進課担当係長	平 戸 秀 樹 (☆)

☆は新任

(平成 27 年 4 月 1 日施行版)

横浜市子ども・子育て会議条例

(設置)

第 1 条 子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号。以下「支援法」という。)第 77 条第 1 項、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成 18 年法律第 77 号。以下「認定こども園法」という。)第 25 条等の規定に基づき、横浜市子ども・子育て会議(以下「子育て会議」という。)を置く。

(所掌事務)

第 2 条 子育て会議は、次に掲げる事務を行うものとする。

- (1) 支援法第 77 条第 1 項各号に掲げる事務を処理すること。
 - (2) 認定こども園法第 17 条第 3 項、第 21 条第 2 項及び第 22 条第 2 項並びに横浜市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例(平成 26 年 9 月横浜市条例第 46 号)第 4 条の規定によりその権限に属させられた事項を調査審議すること。
 - (3) その他支援法第 6 条第 1 項に規定する子ども等に係る施策に関し市長が必要と認める事項を調査審議すること。
- 2 支援法第 61 条第 1 項の規定に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画は、次世代育成支援対策推進法(平成 15 年法律第 120 号)第 8 条第 1 項の規定に基づく市町村行動計画と一体のものとして策定し、及び評価するため、子育て会議は、当該市町村行動計画の策定及び当該市町村行動計画の実施状況に係る評価についての調査審議を併せて行うものとする。

(組織)

第 3 条 子育て会議は、委員 20 人以内をもって組織する。

- 2 委員は、支援法第 7 条第 1 項に規定する子ども・子育て支援に関し学識経験のある者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が任命する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(臨時委員)

第 5 条 市長は、子育て会議に特別の事項を調査審議させるため必要があると認めるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

- 2 臨時委員は、市長が必要と認める者のうちから市長が任命する。
- 3 臨時委員の任期は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第 6 条 子育て会議に委員長及び副委員長 1 人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、子育て会議を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 子育て会議の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長及び副委員長が選出されていないときは、市長が行う。

- 2 子育て会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

- 3 子育て会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(部会)

第 8 条 子育て会議に、部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員長が指名する委員又は臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、委員長が指名する。
- 4 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、委員長の指名する部会の委員が、その職務を代理する。
- 5 第 6 条第 3 項の規定は部会長の職務について、前条(第 1 項ただし書を除く。)の規定は部会の会議について、それぞれ準用する。この場合において、第 6 条第 3 項並びに前条第 1 項本文及び第 3 項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第 6 条第 3 項及び前条中「子育て会議」とあるのは「部会」と、同条第 2 項及び第 3 項中「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。

(関係者の出席等)

第 9 条 委員長又は部会長は、それぞれ子育て会議又は部会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 10 条 子育て会議の庶務は、こども青少年局において処理する。

(委任)

第 11 条 この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- (委員の任期の特例)
- 2 第 3 条第 2 項の規定により平成 27 年 4 月 1 日に任命される委員の任期は、第 4 条第 1 項本文の規定にかかわらず、同日から平成 28 年 10 月 31 日までとする。

附 則 (平成 26 年 9 月条例第 59 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律(平成 24 年法律第 66 号)の施行の日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 横浜市子ども・子育て会議条例第 1 条に規定する子育て会議は、この条例の施行の日前においても、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律による改正後の就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成 18 年法律第 77 号)第 17 条第 3 項の規定によりその権限に属させられる事項について、この条例による改正後の横浜市子ども・子育て会議条例の規定の例により、調査審議することができる。

附 則 (平成 27 年 2 月条例第 12 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)の施行の日から施行する。ただし、附則を附則第 1 項とし、同項に見出しを付し、附則に 1 項を加える改正規定は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

横浜市子ども・子育て会議運営要綱

制定 平成 27 年 3 月 5 日 こ企第1019号（局長決裁）

最近改正 平成 30 年 8 月 1 日 こ企第142号（局長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、横浜市子ども・子育て会議条例（平成 25 年 3 月横浜市条例第 18 号。以下「条例」という。）に基づき設置される、横浜市子ども・子育て会議（以下「子育て会議」という。）の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

（部会）

第2条 子育て会議は、条例第 8 条に基づき次の左欄に掲げる部会を置き、右欄に掲げる事項を調査審議する。

部会の名称	調査審議事項
子育て部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）
保育・教育部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係） 2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認及び利用定員の設定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号関係） 3 幼保連携型認定こども園の認可等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 2 号関係） 4 幼保連携型認定こども園の整備費補助対象の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 5 幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 6 幼稚園・認定こども園預かり保育事業の認定先の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 7 幼稚園 2 歳児受入れ推進事業実施園の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 8 子ども・子育て支援法に係る支給認定、利用者負担額等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係）
放課後部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）
青少年部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）

2 部会は、必要に応じ部会長が招集する。

3 保育・教育部会における次の事項の決定は、子育て会議の決定とみなす。ただし、次回の子育て会議に報告しなければならない。

- (1) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の設定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号関係）
- (2) 幼保連携型認定こども園の認可等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 2 号関係）
- (3) 幼保連携型認定こども園の整備費補助対象の審査に関すること（条例第 2 条第 1

項第3号関係)

- (4) 幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定に関する事(条例第2条第1項第3号関係)
- (5) 幼稚園・認定こども園預かり保育事業の認定先の審査に関する事(条例第2条第1項第3号関係)
- (6) 幼稚園2歳児受け入れ推進事業実施園の審査に関する事(条例第2条第1項第3号関係)

(委員長又は部会長の専決事項)

第3条 委員長は、軽易又は急施を要する事項で、子育て会議を招集する暇がないときは、これを専決できる。ただし、次の子育て会議に報告しなければならない。

- 2 第1項の規定は、第2条第3項について、部会長に準用する。この場合において、第1項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第1項中「子育て会議」とあるのは「部会の会議」と読み替えるものとする。

(会議の公開)

第4条 横浜市が保有する情報の公開に関する条例(平成12年2月横浜市条例第1号)第31条の規定により、子育て会議(部会の会議を含む。)については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第5条 委員長は、子育て会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

- 2 第1項の規定は、部会長に準用する。この場合において、第1項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第1項中「子育て会議」とあるのは「部会の会議」と読み替えるものとする。

(守秘義務)

第6条 委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密をもらしてはならない。その身分を失った後も同様とする。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、運営に必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年8月1日から施行する。

横浜市放課後児童健全育成事業の 質の向上に関する検討について

令和3年12月9日 横浜市こども青少年局放課後児童育成課

検討会の内容の共有

- 1 検討会（懇談会）について
- 2 4年度に向けた検討の進め方について
- 3 検討会の実施状況等
- 4 アンケート結果(まとめ)の報告
- 5 4年度に向けた具体的な取組事項（案）
- 6 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂について

【参考】見直しの主な経過

年度	見直しに関する検討等
元年度	第2期子ども・子育て支援計画等に、キッズクラブの見直しについて記載
2年度	キッズクラブ全校設置完了 「子ども・子育て会議 放課後部会」を5回開催し、キッズクラブの見直しの方向性を検討
3年度	<p>キッズクラブ・児童クラブの質の向上に向けて検討</p> <p>【制度の見直し・拡充等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズクラブにおいて、留守家庭児童等が利用する区分にパート・アルバイト勤務等の保護者による短時間利用に応じた適切な料金設定の「新区分」を創設。生活の場の拡充のため、「遊びの場」である区分1の利用は16時までに短縮するとともに、遊びの場としての利用がほとんどない土曜日は廃止（プログラム等の場合のみ実施可） ・減免制度の対象範囲を就学援助世帯までに拡充（従来は生活保護受給世帯と非課税世帯のみ）

1 検討会（懇談会）について

検討内容により2つの検討会を設けて進めていきます。

検討会① 2事業の検討

【敬称略 外部委員50音順】

検討事項	所属・役職等	委員氏名
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂 ・人材育成、人材確保策の強化 ・地域立ち上げ法人、運営委員会形式クラブの支援 ・事務の効率化 等 	千葉敬愛短期大学 学長	明石 要一
	株式会社 学研ココファン・ナーサリー（放課後キッズクラブ）	今井 理人
	学童の家 わんぱく（放課後児童クラブ）	押原 穰二
	NPO法人 ソラ（放課後児童クラブ 従事者）	齊藤 奈緒
	特定非営利活動法人 オーシャンキッズ（放課後キッズクラブ）	志村 友規子
	瀬戸ヶ谷小学校放課後キッズクラブ主任（放課後キッズクラブ）	角谷 治子
	下郷小学校放課後キッズクラブ主任（放課後キッズクラブ）	築井 敦子
	横浜市子ども会連絡協議会 会長	松本 豊
	青葉区こども家庭支援課 学校連携・こども担当課長	佐々井 正泰
瀬谷区こども家庭支援課 学校連携・こども担当課長	山梨 真奈美	

◆事務局

	氏名
こども青少年局 放課後児童育成課長	松原 実千代
こども青少年局 放課後児童育成課担当係長	大岩 真人
こども青少年局 放課後児童育成課担当係長	唐澤 英和
こども青少年局 放課後児童育成課担当係長	田邊 吉広

②放課後キッズクラブの充実

【外部委員敬称略 50音順】

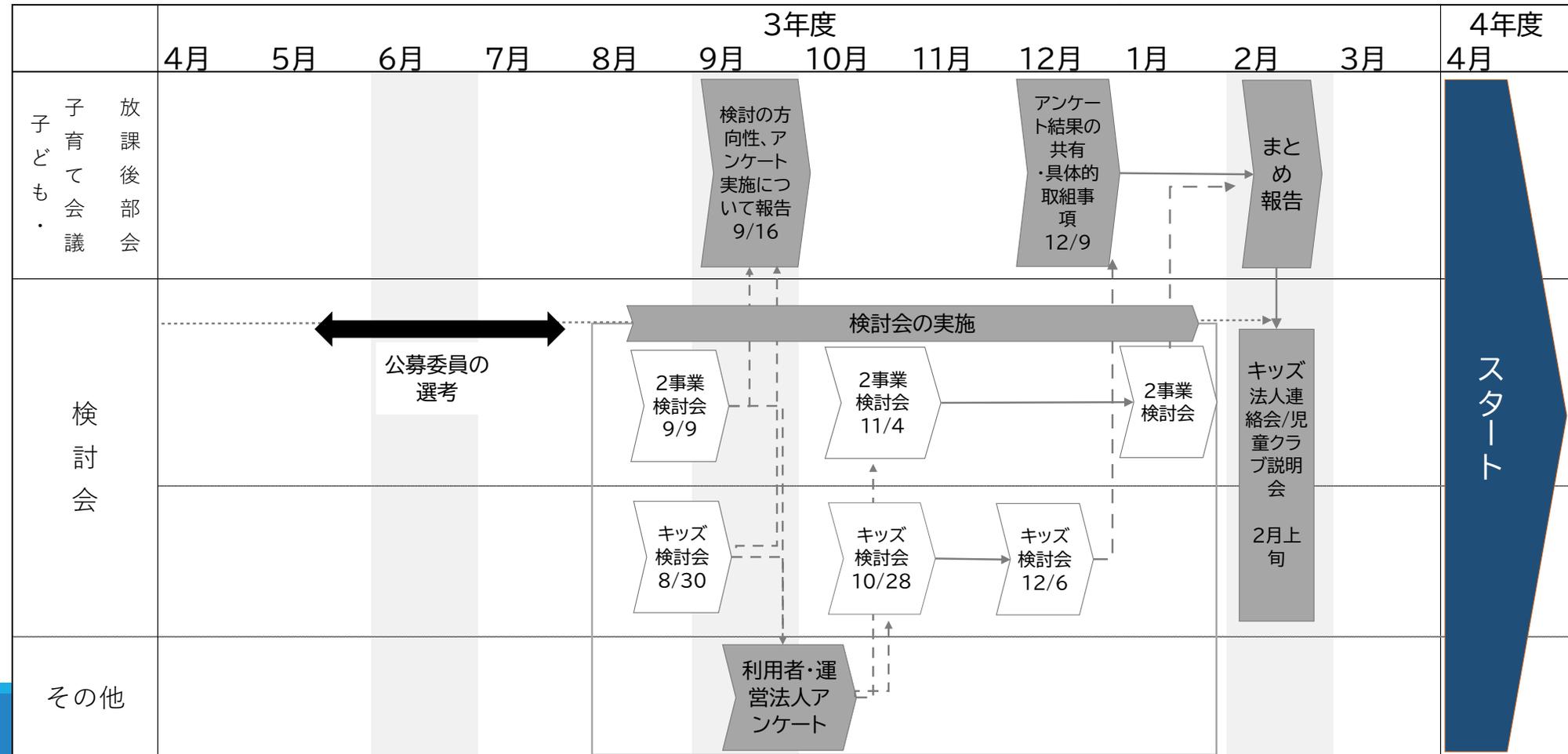
検討事項	所属・役職等	委員
<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場、遊びの場の充実 ・プログラムの考え方の整理 ・高学年の居場所の検討 ・保護者の参画の検討 ・その他ニーズの検討 	文教大学人間科学部 准教授	青山 鉄兵
	横浜市子ども・子育て会議 市民委員	池田 浩久
	株式会社 学研ココファン・ナーサリー（放課後キッズクラブ）	今井 理人
	特定非営利活動法人 オーシャンキッズ（放課後キッズクラブ）	志村 友規子
	瀬戸ヶ谷小学校放課後キッズクラブ主任（放課後キッズクラブ）	角谷 治子
	下郷小学校放課後キッズクラブ主任（放課後キッズクラブ）	築井 敦子
	南区こども家庭支援課 学校連携・こども担当課長	小田川 紀可
戸塚区こども家庭支援課 学校連携・こども担当課長	金森 裕一	

◆事務局

こども青少年局	放課後児童育成課長	松原 実千代
こども青少年局	放課後児童育成課担当係長	唐澤 英和
こども青少年局	放課後児童育成課担当係長	南雲 純子

2 4年度に向けた検討の進め方について

検討会の内容を踏まえて、「放課後部会」検討を進めていきます。



3 検討会の実施状況等

(1) 2事業の検討

開催日	検討内容
9月9日	<ol style="list-style-type: none">1 検討会について2 4年度に向けた検討の進め方について3 3年度の見直しの概要4 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂5 現状の課題6 今後の取組の方向性7 アンケートの実施について
11月4日	<ol style="list-style-type: none">1 4年度に向けた検討の進め方について2 アンケートの実施3 アンケート結果(速報値)4 アンケート結果を踏まえた人材育成の「今後の取組の方向性」の修正5 アンケート結果を踏まえた人材確保の課題の修正と今後の取組の方向性6 アンケート結果を踏まえた地域立上げ型NPO法人・運営委員会方式クラブへの支援に関する「今後の取組の方向性」の修正7 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂

(2) キッズクラブの充実の検討

開催日	検討内容
8月30日	<ol style="list-style-type: none">1 検討会について2 4年度に向けた検討の進め方について3 3年度の見直しの概要4 直近の状況5 4年度の事業の方向性 検討案6 アンケートの実施について
10月28日	<ol style="list-style-type: none">1 4年度に向けた検討の進め方について2 アンケート結果(速報値)、結果等を踏まえた「今後の取組の方向性」の修正3 今後の検討事項
12月6日	<ol style="list-style-type: none">1 アンケート結果(まとめ)の報告2 4年度に向けた具体的な取組事項 (案)3 今後の検討事項

4 アンケート結果（まとめ）の報告

(1) アンケートの目的

事業にかかわる関係に対して放課後児童健全育成事業の質の向上に取り組むためにアンケートを実施し、利用状況や運営状況、意見等を踏まえた上で、今後の見直しの検討に活用していく。

(2) アンケートの概要

	放課後キッズクラブ				放課後児童クラブ
対象	(1)保護者向け	(2)運営法人向け	(3)主任	(4)子ども	運営主体
実施期間	9月30日～10月20日	9月30日～10月13日	9月30日～10月13日	10月21日まで	9月30日～10月15日
実施方法	キッズクラブを經由してクラブを利用する保護者へ依頼(メール配信、掲示等)	110の運営法人に依頼	339クラブの主任に依頼	検討会に参加している検討委員のクラブに依頼	223の運営主体に依頼
回答数	6,461人 【参考】クラブ登録者数 53,025人 (R3.4時点)	100法人/110法人 (90.9%)	324人/339人 (95.6%)	388人	188クラブ/223クラブ (84.3%)

(3) アンケートの内容

◆2事業共通

- 1 人材育成に関すること
- 2 人材確保に関すること
- 3 地域立上げ法人・運営委員会方式クラブへの支援
- 4 事務の効率化について

◆キッズクラブのみ

- 1 クラブの運営に関すること
- 2 プログラムに関すること
- 3 保護者との関わりについて
- 4 学校の長期休業期間、土曜日の利用について
- 5 3年度の見直しに関すること
 - 利用区分の見直し
 - 利用制限
 - おやつの提供
 - 高学年の居場所
 - 活動場所
- 6 その他

(4) アンケートの結果

資料6 「令和3年度 放課後健全育成事業の質の向上に向けた取組みに関するアンケート結果」

資料6

令和3年度 放課後児童健全育成事業の 質の向上に向けた取組みに関するアンケート結果

◇調査概要◇

■目的

事業にかかわる関係に対して放課後児童健全育成事業の質の向上に取り組むためにアンケートを実施し、利用状況や運営状況、意見等を踏まえた上で、今後の見直しの検討に活用していく。

■ 調査概要

対象	放課後キッズクラブ				放課後児童クラブ
	(1)保護者	(2)運営法人	(3)主任	(4)子ども	運営主体
実施期間	令和3年 9月30日 ～10月20日	令和3年 9月30日 ～10月13日	令和3年 9月30日 ～10月13日	令和3年 9月30日 ～10月21日 まで	令和3年 9月30日 ～10月15日
実施方法	キッズクラブを経由してクラブを利用する保護者へ依頼(メール配信、掲示等)	110の運営法人に依頼	339クラブの主任に依頼	検討会に参加している委員のクラブ(9つのクラブ)を利用する児童に依頼	223の運営主体に依頼
回答数	6,461人 【参考】クラブ登録者数 53,025人 (R3.4時点)	100法人 /110法人 (90.9%)	324人 /339人 (95.6%)	388人	188クラブ /223クラブ (84.3%)

5 4年度に向けた具体的な取組事項（案）

(1) 人材確保

現在実施しているウェブサイトやチラシでの周知に加え、クラブが採用したい人材に合わせた効果的な広報手段（SNS等）の活用や周知先の拡大等広報を強化していきます。また、新採用者向け研修やマネジメント研修に離職防止の視点を盛り込むなど、職員及び運営主体への支援に取り組みます。

(2) 人材育成

市が実施する人材育成研修では、職員の経験年数等のレベルに応じた講座を増設し、個々のキャリアに即した知識・技術を身に付けることができる研修としていきます。また、運営主体による人材育成が一層進むよう研修計画の策定や、法人向け研修の実施、事業に携わる職員の交流機会の創出など人材育成の取組みを強化します。

【新規に実施したオンデマンド研修について】

①放課後キッズクラブの役割について

平成16年度の放課後キッズクラブ事業の開始から約15年が経過し、社会情勢、子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。キッズクラブ事業に従事する職員・運営法人の皆さまが、事業の目的を再確認する機会とするために、オンデマンド研修として「放課後キッズクラブのミッションとは何か」と「遊びと集団指導のスキル」の2本の研修を配信しました。



②子どもの放課後における体験活動の推進

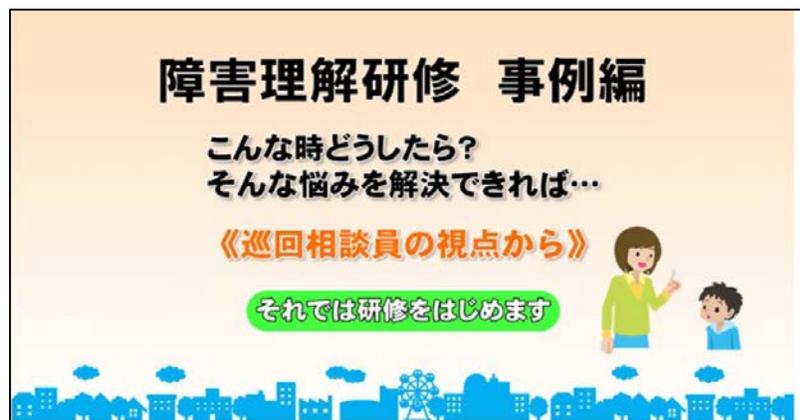
各クラブにおいて、子どもたちにとって豊かな放課後の時間を提供することができるよう、体験活動の重要性や、従事する職員に求められる役割・視点を学ぶ機会としてオンデマンド研修を配信しました。



③配慮が必要な児童への対応

障害理解研修用の教材として、気になる行動への具体的な対応方法についてまとめた「事例編」を作成しました。

事例編では、放課後児童育成課の巡回相談員が事業所を訪問した際に相談の多い10場面の事例を取り上げ、巡回相談員の視点から障害のある子どもや配慮が必要な子どもへの対応についてより望ましい支援の方法をまとめています。



④コンプライアンス研修

不正や違反等による事業所が受ける影響を理解し、児童の健全育成に取り組む運営主体として基本である適正な事務の徹底を行うことを再確認する機会とするために、全ての運営主体及び職員を対象としたコンプライアンス研修を実施しました。

「運営主体向け」と「現場職員向け」の2本の研修動画を配信し、事業に携わる全ての職員に受講するよう依頼しました。



- (3) 地域立上げ型のNPO法人・運営委員会形式の児童クラブの支援
事務等の負担軽減のため、外部（社労士、税理士、事務受託会社等）に業務を委託できるよう支援を検討します。
- (4) 事務の見直し
4年度から補助金の様式改訂や事務フローを見直し、分かりやすく簡便な補助制度となるよう改善していきます。

【キッズクラブ事業のみ】

(1) 「遊びの場」の充実

子どもたちに一層充実した体験・創作活動等を提供できるよう、地域で活動する皆さまや民間事業者の方々等との連携を支援することにより、プログラムの内容の充実に取り組みます。また、各クラブが実践するプログラムを募集し、その内容を全てのクラブに発信することで、クラブが様々なプログラムに取り組むことができるよう支援します。

(2) 「生活の場」の充実

コロナ禍によって働き方が多様化している中においても、「長期休業期間の朝の開所時間を拡大」のニーズが高いため、土曜日を除くキッズクラブの開所日である学校休業日（春季・夏季・冬季・学年末休業日、開港記念日、学校行事の振替休日）の開所時間の前倒しを検討します。（開所時間としては、現状の8時30分から30分程度の前倒しを検討）

また、通常期と比較して預かり時間が長い7・8月については、安定的に運営を行うことができるよう、利用料について月額500円程度の増額を検討します。

◆令和3年度（一部見直し後）

		放課後子供教室事業 (区分1:わくわく)	放課後児童健全育成事業 (区分2:すくすく)	
			新区分 区分2A:ゆうやけ	区分2B:ほしぞら
役割		遊びの場	遊びの場+生活の場	
利用条件		当該校に通学している児童及び当該校区に居住している児童	「放課後子供教室」の条件に加え、留守家庭児童等であること。	
利用時間	平日	放課後～原則午後4時まで(コロナや猛暑等の状況下では利用制限)	放課後～午後5時まで	放課後～午後7時まで
	①土 ②長期休業日 (学校休業日)	①土曜日:原則廃止 (月1回程度プログラム実施) ②長期休業日:2時間程度	午前8時30分～午後5時まで	午前8時30分～午後7時まで
利用料	月額	無料	月額2,000円+おやつ代	月額5,000円+おやつ代
	一時	800円+おやつ代	400円	-

◆令和4年度（見直し案）

		放課後子供教室事業 (区分1:わくわく)	放課後児童健全育成事業 (区分2:すくすく)	
			新区分 区分2A:ゆうやけ	区分2B:ほしぞら
役割		遊びの場(充実)	遊びの場(充実)+生活の場(充実)	
利用条件		当該校に通学している児童及び当該校区に居住している児童	「放課後子供教室」の条件に加え、留守家庭児童等であること。	
利用時間	平日	放課後～原則午後4時まで(コロナや猛暑等の状況下では利用制限)	放課後～午後5時まで	放課後～午後7時まで
	①土 ②長期休業日 (学校休業日)	①土:原則廃止 (月1回程度プログラム実施) ②長期休業日:2時間程度	①土:午前8時30分～午後5時まで ②長期休業日: 原則午前8時～午後5時	①土:午前8時30分～午後7時まで ②長期休業日: 原則午前8時～午後7時
利用料	月額	無料	月額2,000円+おやつ代	月額5,000円+おやつ代
	一時	800円+おやつ代	400円	-
	割増		500円/7, 8月のみ	

(3) 見直しに取り組む事項

ア おやつを提供方法（案）

区分2 A・2 Bについては引き続き、原則おやつを提供することとします。

提供時間はクラブによって活動スペースや利用人数など異なることから、16時30分までを目安として各クラブの実情に応じて設定することとします。ただし、おやつを提供時間より前に帰宅する児童のうち希望がある場合には、提供することとします。

イ 保護者会（案）

要綱に規定する「キッズクラブを利用する児童の保護者をもって組織する保護者会を設置～」については、現状と乖離することから、「保護者との懇談の機会」とし、現行通り半期に一回以上開催するものとします。

「保護者との懇談の機会」は、保護者との関わりを目的とするため、保護者を集めて意見交換する場(オンラインを含む)の他、親子参加プログラムの実施や、利用者へのアンケートの実施及びその報告をもって1回の開催とカウントができることとします。

【参考】2事業の検討会の主な意見（11月4日実施分）

1 人材育成について

- ・人材育成は、一人ひとりによって求めるものが違うため、大きな方向性を一致させることが重要だと思う。大きな方向性を基に、どういった人材育成をしていくか考えていくようにしていければいいと思う。
- ・横浜市の運営制度についてのマニュアルはあるが、マニュアルだけでなく、人員配置や補助金の使い方など、市で運営制度の研修もしてもらえると助かる。

2 人材確保について

- ・アンケート結果から運営主体の紹介で、何とかまわっている状況がわかる。市ができること、できないことの線引きを示してほしい。そのうえで、また、市と法人等とが話せる場があると良いと思う。

3 地域立上げ型のNPO法人・運営委員会形式の児童クラブの支援

- ・規模が小さい運営法人だと法人経費も少ないので人材育成などにも影響がある。法人の中で運用できる経費に余裕を持たせていただけると助かる。また、経費使途について柔軟な運用ができるとありがたい。

4 基本的な考え方の改訂について

- ・第12に「より良い環境づくり」と書いているが、それが全てだと思う。また、若い人たちにやりがいをもってもらうためには処遇改善が必要。就職の一つになるような環境づくりをしてほしい。
- ・キッズクラブと児童クラブのテリトリーをはっきりさせないと、何でもやることになってしまう。家庭と学校以外の第3の居場所として、居心地の良い場所をつくる必要があるのではないか。

【参考】キッズクラブの充実の検討会の主な意見（12月6日実施分）

1 「遊びの場」の充実

- ・既に横浜市のプロスポーツ団体と連携してプログラムを実施している。横浜市に繋ぐことで市内全体に活動の輪が広がると良い。
- ・充実していけばいくほど人が増え、活動スペースが狭くなっている現状がある。

2 「生活の場」の充実

- ・長期休業期間等に開所時間を前倒すことは、保護者にとってはありがたい。500円についても全く問題ないと思うし保護者は安心して仕事に行くことができると思う。
- ・開所時間の前倒しは働くものとしては厳しいが、子どもたちのために安全な場所においてあげるのは賛成

3 その他

- ・おやつの提供について、提供時間より前に帰る児童には提供しない取扱いとして欲しい。提供方法を柔軟にすればするほど、現場の負担になってしまう。
- ・補助金の中で、法人経費として認められるものを明確にすることや、上限額の考え方を整理してもらえると、運営がしやすくなる。
- ・スタッフに怒られて怖いといったこともあると思うので、子どもたちとのかかわり方や、子どもたちがまた行くことができるような研修があっても良いと思う。

6 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂について

横浜市の放課後施策の全体的な施策の方向性を定めている「放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方」(以下、「基本的な考え方」という)を改訂し、令和4年4月から施行します。

(1)改訂までの流れ

実施日	対象	内容
9月9日	第1回 2事業の検討会	見直しの方向性について検討
9月16日	第3回 子ども・子育て会議放課後部会	見直しの方向性について意見聴取
9月30日～ 10月15日	放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ	見直しの方向性について意見照会
11月4日	第2回 2事業の検討会	改訂案について検討
11月24日～ 12月10日	放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ	改訂案について意見照会
12月6日	第4回 子ども・子育て会議放課後部会	改訂案について意見聴取
令和4年1月	第3回 2事業の検討会	クラブからの意見聴取を踏まえた改訂案について確認
令和4年2月	第5回 子ども・子育て会議放課後部会	改訂案について確認

(2)改訂案について

資料7「放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂(案)」を参照

令和3年度 放課後児童健全育成事業の 質の向上に向けた取組みに関するアンケート結果

◇調査概要◇

■目的

事業にかかわる関係者に対して放課後児童健全育成事業の質の向上に取り組むためにアンケートを実施し、利用状況や運営状況、意見等を踏まえた上で、今後の見直しの検討に活用していく。

■ 調査概要

対象	放課後キッズクラブ				放課後 児童クラブ
	(1)保護者	(2)運営法人	(3)主任	(4)子ども	運営主体
実施 期間	令和3年 9月30日 ～10月20日	令和3年 9月30日 ～10月13日	令和3年 9月30日 ～10月13日	令和3年 10月21日 まで	令和3年 9月30日 ～10月15日
実施 方法	キッズクラブ を經由してク ラブを利用す る保護者へ依 頼（メール配 信、掲示等）	110 の運営法 人に依頼	339 クラブの 主任に依頼	検討会に参加 している委員 のクラブ（9つ のクラブ）を利 用する児童に 依頼	223 の運営主 体に依頼
回答 数	6,461人 【参考】クラブ登 録者数 53,025人 (R3.4時点)	100 法人 /110 法人 (90.9%)	324 人 /339 人 (95.6%)	388 人	188 クラブ /223 クラブ (84.3%)

◇目次◇

アンケート回答者の属性等	1
I 2事業共通アンケート	3
1 人材育成に関すること	3
2 人材確保に関すること	11
3 地域立上げ法人・運営委員会形式クラブへの支援	20
4 事務の効率化について	22
II 放課後キッズクラブ アンケート	23
1 クラブの運営に関すること	23
2 プログラムに関すること	30
3 保護者との関わりについて	37
4 学校の長期休業期間、土曜日の利用について	45
5 3年度の見直しに関すること	53
●利用区分の見直し	53
●利用制限	60
●おやつを提供	64
●高学年の居場所	67
●活動場所	69
6 その他	71

【構成率について】

・構成率のパーセンテージについては、小数点第2位以下を四捨五入しています。

・複数回答の設問における、すくすく【区分1】・わくわく【区分2】の構成率の分母は P1(1)ウ、地域立上げ法人・公募法人の構成率の分母は P2の(2)(3)をご参照ください。

アンケート回答者の属性等

【放課後キッズクラブ】

(1) 保護者向けアンケート

ア 居住区

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
鶴見	473	7.3%	120	5.5%	353	8.3%
神奈川	505	7.8%	202	9.2%	303	7.1%
西	137	2.1%	35	1.6%	102	2.4%
中	196	3.0%	73	3.3%	123	2.9%
南	214	3.3%	76	3.5%	138	3.2%
港南	283	4.4%	38	1.7%	245	5.7%
保土ヶ谷	390	6.0%	138	6.3%	252	5.9%
旭	338	5.2%	116	5.3%	222	5.2%
磯子	237	3.7%	58	2.6%	179	4.2%
金沢	289	4.5%	98	4.5%	191	4.5%
港北	698	10.8%	213	9.7%	485	11.4%
緑	287	4.4%	87	4.0%	200	4.7%
青葉	792	12.3%	313	14.2%	479	11.2%
都筑	472	7.3%	197	9.0%	275	6.4%
戸塚	555	8.6%	236	10.7%	319	7.5%
栄	150	2.3%	52	2.4%	98	2.3%
泉	300	4.6%	106	4.8%	194	4.5%
瀬谷	145	2.2%	39	1.8%	106	2.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

イ お子様の学年

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
1年生	2,903	44.9%	837	38.1%	2,066	48.5%
2年生	2,048	31.7%	733	33.4%	1,315	30.8%
3年生	1,005	15.6%	375	17.1%	630	14.8%
4年生	344	5.3%	161	7.3%	183	4.3%
5年生	112	1.7%	60	2.7%	52	1.2%
6年生	49	0.8%	31	1.4%	18	0.4%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

ウ キッズクラブの利用区分

選択肢	回答数	構成率
わくわく区分【区分1】	2,197	34.0%
すくすく区分【区分2A・B】	4,264	66.0%
すくすく区分 ゆうやけ【区分2A】（～17時まで利用）	2,675	41.4%
すくすく区分 ほしぞら【区分2B】（～19時まで利用）	1,589	24.6%
合計	6,461	100.0%

エ キッズクラブの利用頻度

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
週6回程度	100	1.5%	1	0.0%	99	2.3%
週5回程度	1,725	26.7%	38	1.7%	1,687	39.6%
週4回程度	834	12.9%	34	1.5%	800	18.8%
週3回程度	884	13.7%	84	3.8%	800	18.8%
週2回程度	819	12.7%	319	14.5%	500	11.7%
週1回程度	544	8.4%	347	15.8%	197	4.6%
月1～2回程度	1,087	16.8%	920	41.9%	167	3.9%
今年度は登録したが、一度も利用していない	468	7.2%	454	20.7%	14	0.3%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

(2) 運営法人向けアンケート

公募法人/地域立ち上げ法人

種別	回答数
地域立ち上げ法人	74
公募法人	26
合計	100

(3) 主任向けアンケート

公募法人/地域立ち上げ法人

種別	回答数
地域立ち上げ法人	91
公募法人	233
合計	324

(4) 子ども向けアンケート

学年

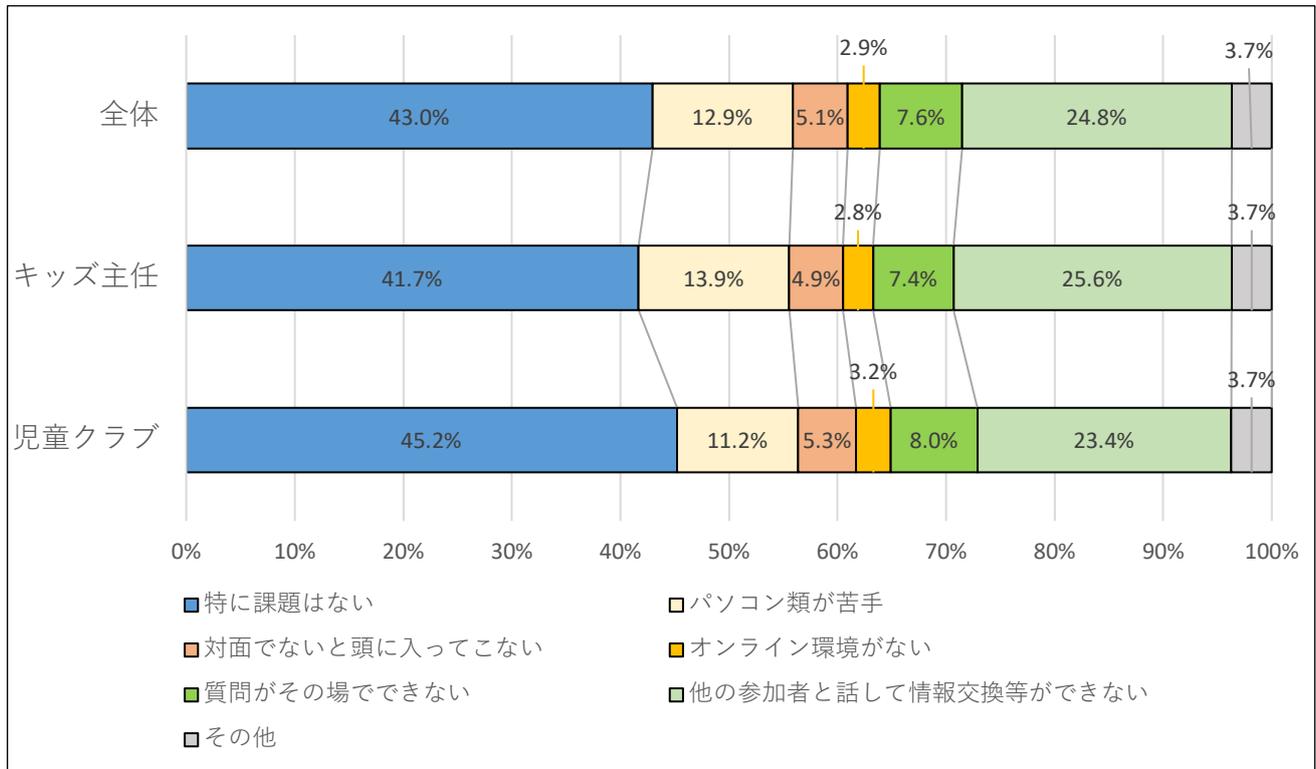
選択肢	回答数
1年生	141
2年生	132
3年生	77
4年生	22
5年生	12
6年生	3
未回答	1
合計	388

1 2 事業共通アンケート

1 人材育成に関すること

(1) 人材育成研修などの講義形式の研修をオンライン形式にした場合の課題は何ですか。

[n=512【全体】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特に課題はない	220	43.0%	135	41.7%	85	45.2%
パソコン類が苦手	66	12.9%	45	13.9%	21	11.2%
対面でないと頭に入ってこない	26	5.1%	16	4.9%	10	5.3%
オンライン環境がない	15	2.9%	9	2.8%	6	3.2%
質問がその場でできない	39	7.6%	24	7.4%	15	8.0%
他の参加者と話して情報交換等ができない	127	24.8%	83	25.6%	44	23.4%
その他	19	3.7%	12	3.7%	7	3.7%
合計	512	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

→全体の 43.0%が「特に課題はない」と回答。次いで、24.8%が「他の参加者と話して情報交換等ができない」と回答。

(2) 近隣のキッズクラブ職員及び児童クラブ職員との交流がありますか。

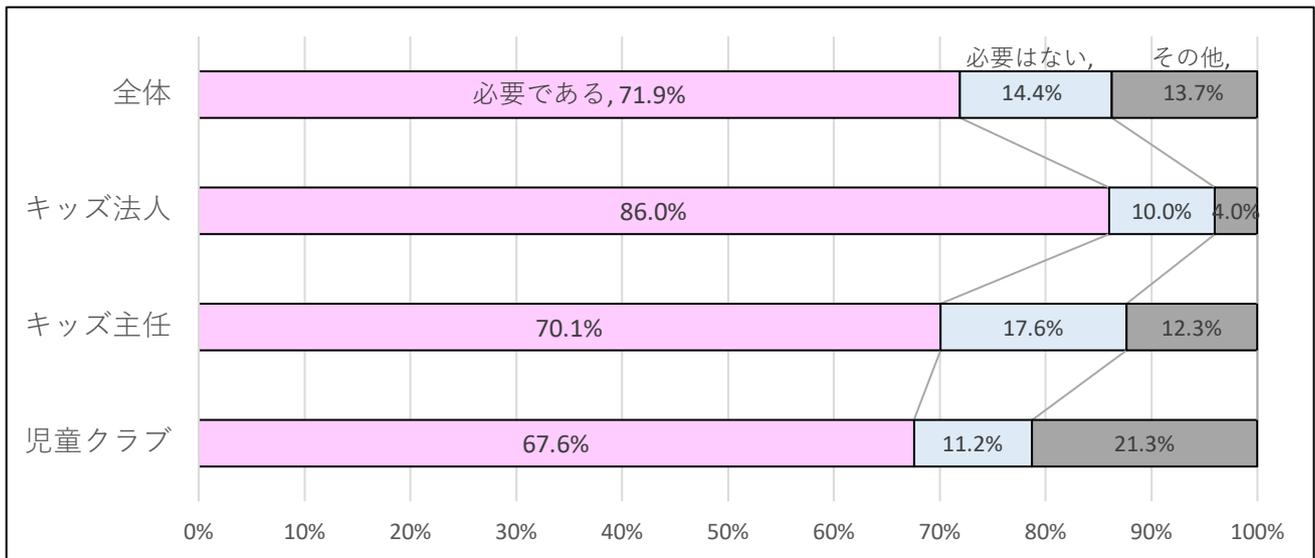
[n=512【全体】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
1週間に1回程度	57	11.1%	19	5.9%	38	20.2%
2週間に1回程度	18	3.5%	9	2.8%	9	4.8%
1か月に1回程度	126	24.6%	106	32.7%	20	10.6%
3か月に1回程度	123	24.0%	112	34.6%	11	5.9%
半年に1回程度	24	4.7%	13	4.0%	11	5.9%
1年に1回程度	27	5.3%	10	3.1%	17	9.0%
交流したいが機会がない	103	20.1%	43	13.3%	60	31.9%
特に交流する必要がない	34	6.6%	12	3.7%	22	11.7%
合計	512	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

→キッズ主任の 34.6%が近隣のクラブ職員との交流は「3か月に1回程度」と回答したが、児童クラブの 31.9%が「交流したいが機会がない」と回答し、属性により回答が分かれている。

(3) 他のキッズクラブや児童クラブを訪問するなどの交流は必要だと思いますか。

[n=612【全体】、100【キッズ法人】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
必要である	440	71.9%	86	86.0%	227	70.1%	127	67.6%
必要はない	88	14.4%	10	10.0%	57	17.6%	21	11.2%
その他	84	13.7%	4	4.0%	40	12.3%	40	21.3%
合計	612	100.0%	100	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・参考になると思う(キッズ主任 9件)
- ・時間や費用など余裕がない(キッズ主任 8件)
- ・必要性を感じない(児童クラブ 12件)
- ・条件や内容によって必要と感じる(児童クラブ 11件)

→全体の 71.9%が交流は「必要である」と回答

(4) 人材育成研修について、運営主体から受講勧奨はありますか。

[n=512【全体】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
頻繁にある	63	12.3%	39	12.0%	24	12.8%
定期的にある	217	42.4%	134	41.4%	83	44.1%
時々ある	167	32.6%	112	34.6%	55	29.3%
ない	65	12.7%	39	12.0%	26	13.8%
合計	512	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

→運営主体からの受講勧奨が「頻繁にある」「定期的にある」が全体の 54.7%を占めた。「ない」と回答したところも全体の 12.7%あった。

(5) 人材育成研修について、職員に対し受講勧奨をしていますか。

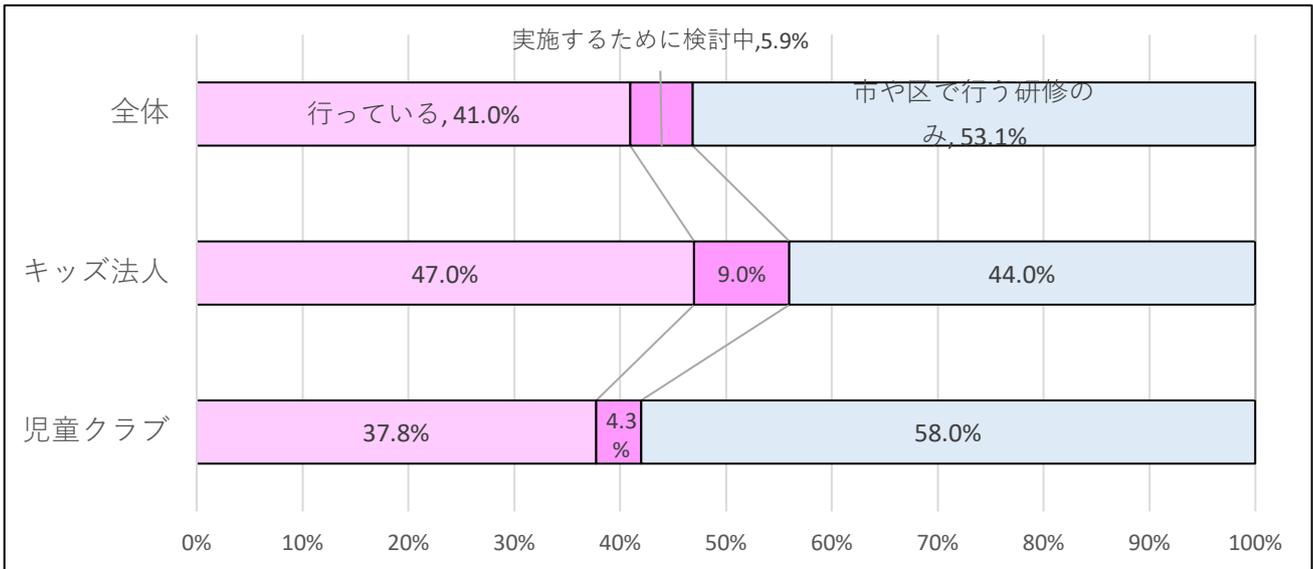
[n=512【全体】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
している	465	90.8%	296	91.4%	169	89.9%
していない	47	9.2%	28	8.6%	19	10.1%
合計	512	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

→全体の 9.2%が受講勧奨を「していない」と回答

(6) 運営主体が中心となって職員向けの研修を行っていますか。(個人情報保護研修を除く)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

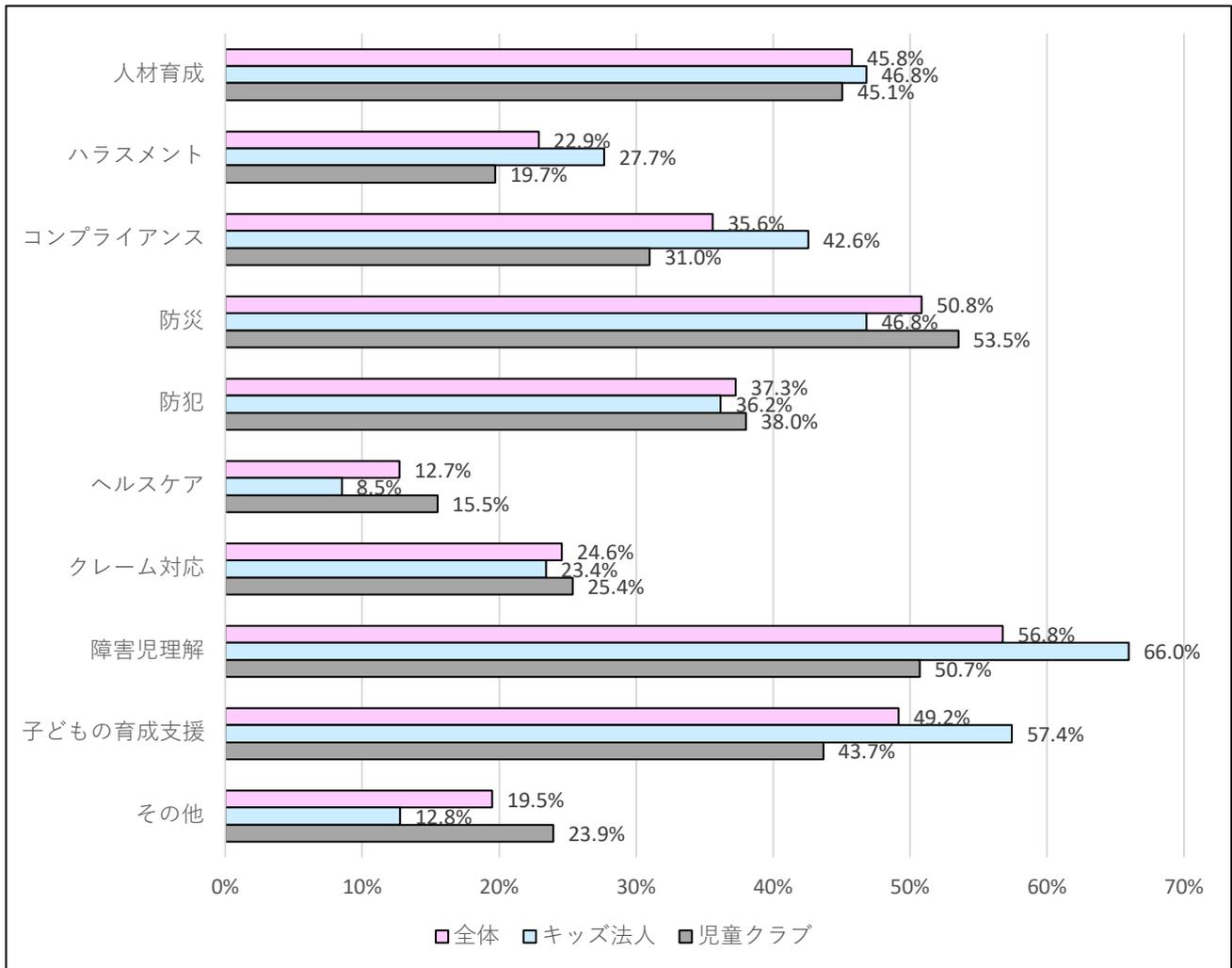


選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
行っている	118	41.0%	47	47.0%	71	37.8%
実施するために検討中	17	5.9%	9	9.0%	8	4.3%
市や区で行う研修のみ	153	53.1%	44	44.0%	109	58.0%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

→キッズ法人は研修を「行っている」が一番多く 47.0%に対し、児童クラブは、「市や区で行う研修のみ」が一番多く 58.0%であった。

(7) 運営主体で職員研修を行っている場合に、どのような研修を行っていますか。複数選択

[n=118【全体】、47【キッズ法人】、71【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
人材育成	54	45.8%	22	46.8%	32	45.1%
ハラスメント	27	22.9%	13	27.7%	14	19.7%
コンプライアンス	42	35.6%	20	42.6%	22	31.0%
防災	60	50.8%	22	46.8%	38	53.5%
防犯	44	37.3%	17	36.2%	27	38.0%
ヘルスケア	15	12.7%	4	8.5%	11	15.5%
クレーム対応	29	24.6%	11	23.4%	18	25.4%
障害児理解	67	56.8%	31	66.0%	36	50.7%
子どもの育成支援	58	49.2%	27	57.4%	31	43.7%
その他	23	19.5%	6	12.8%	17	23.9%
合計	419	355.1%	173	368.1%	246	346.5%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・他の団体との研修(児童クラブ 3件)
- ・感染症対策(児童クラブ 2件)
- ・心肺蘇生法・応急処置法(キッズ法人2件、児童クラブ 2件)
- ・人権研修(キッズ法人 2件、児童クラブ 2件)

→研修の実施内容について、キッズ法人の回答は、「障害児理解」・「子どもの育成支援」・「人材育成」と「防災」の順に高く、児童クラブの回答は、「防災」・「障害児理解」・「人材育成」順に高かった。

(8) 運営主体で職員研修を行っている場合、1年間に何回程度行いますか。

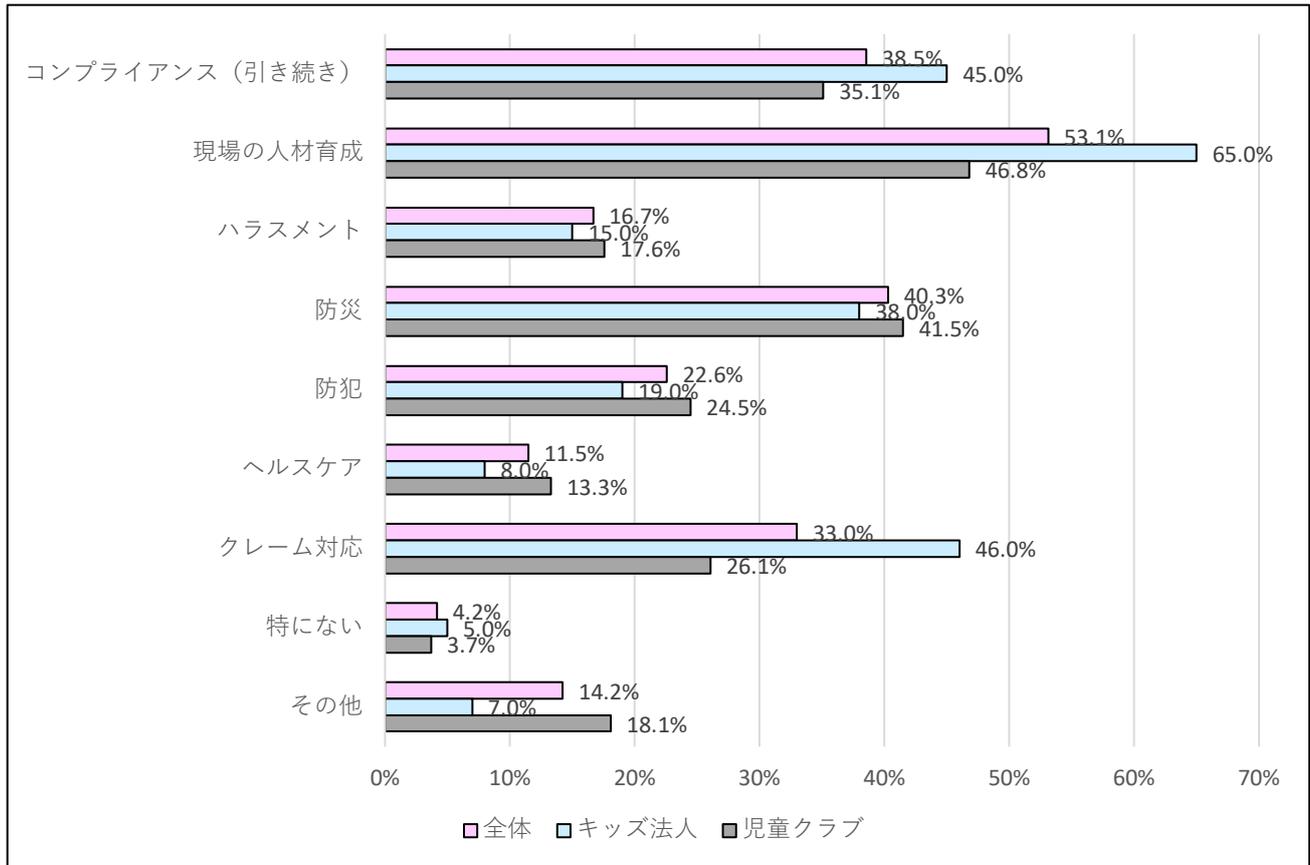
[n=118【全体】、47【キッズ法人】、71【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
月1回程度	42	35.6%	15	31.9%	27	38.0%
3か月に1回程度	30	25.4%	9	19.1%	21	29.6%
半年に1回程度	25	21.2%	13	27.7%	12	16.9%
年1回程度	15	12.7%	5	10.6%	10	14.1%
行ったことはあるが、実施する年としない年がある	6	5.1%	5	10.6%	1	1.4%
合計	118	100.0%	47	100.0%	71	100.0%

→全体の 35.6%が「月1回程度」職員研修を行っていると回答。児童クラブの方がキッズ法人よりも実施頻度が高い。

(9) 今年度、市において運営主体を対象としたコンプライアンス研修を実施していますが、今後運営主体として受講したい研修はありますか。(3個まで選択可)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
コンプライアンス (引き続き)	111	38.5%	45	45.0%	66	35.1%
現場の人材育成	153	53.1%	65	65.0%	88	46.8%
ハラスメント	48	16.7%	15	15.0%	33	17.6%
防災	116	40.3%	38	38.0%	78	41.5%
防犯	65	22.6%	19	19.0%	46	24.5%
ヘルスケア	33	11.5%	8	8.0%	25	13.3%
クレーム対応	95	33.0%	46	46.0%	49	26.1%
特にない	12	4.2%	5	5.0%	7	3.7%
その他	41	14.2%	7	7.0%	34	18.1%
合計	674	234.0%	248	248.0%	426	226.6%

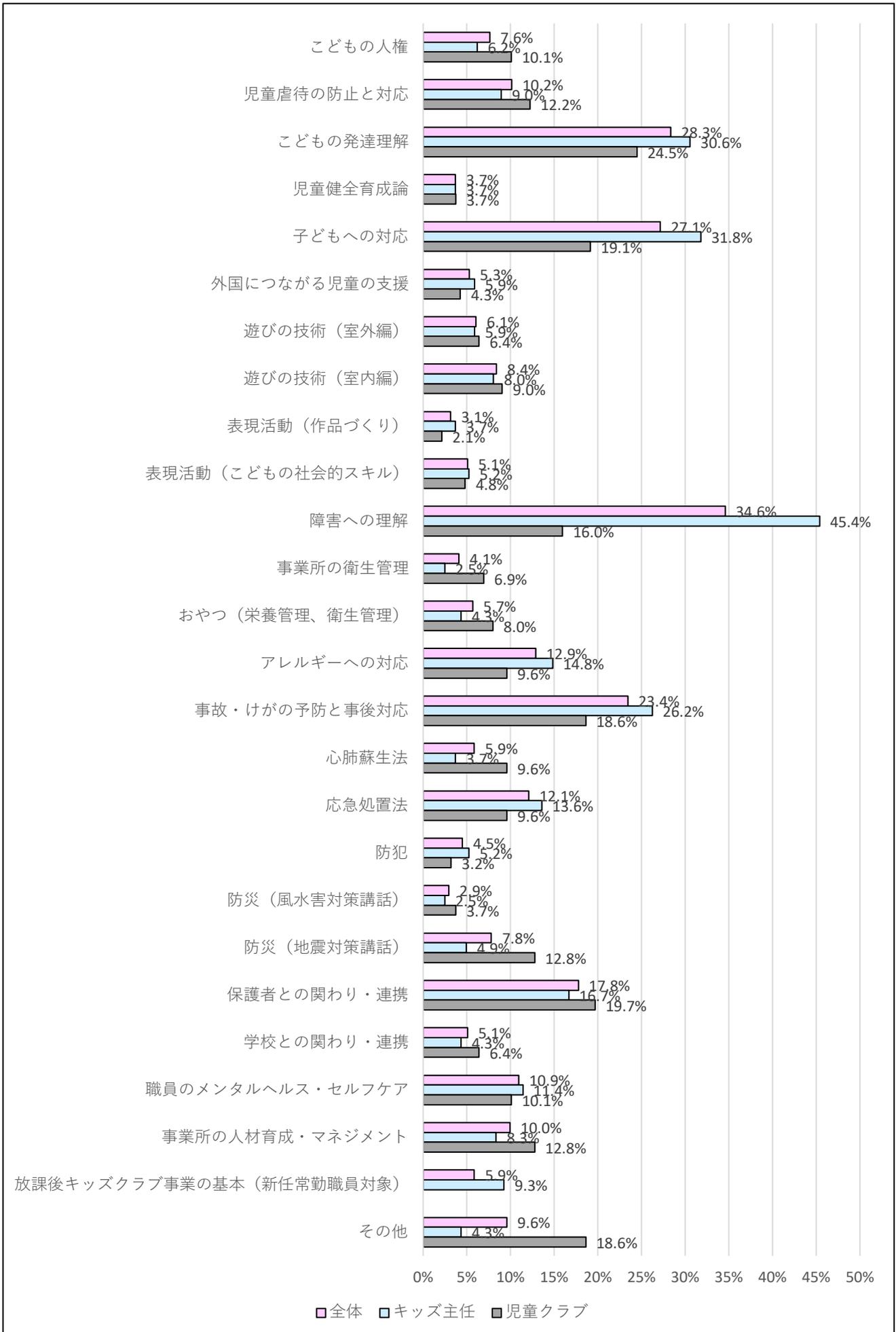
「その他」と回答した方の主な意見

- ・すべて行ってほしい(児童クラブ 25件)
- ・横浜市の放課後児童育成事業の現状、今後(児童クラブ 9件)
- ・キッズと学童の違い(児童クラブ 5件)
- ・市と運営主体と現場の情報交換の場(児童クラブ 4件)
- ・PC研修(キッズ法人 1件、児童クラブ 1件)

→全体の回答としては、「現場の人材育成」、「防災」、「コンプライアンス」の順に受講希望が高かった。児童クラブのその他回答では、すべての研修を実施して欲しいとの回答が多くあった。

(10) 市が行う人材育成研修としてどのような内容を希望しますか。(3個まで選択可)

[n=512【全体】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
こどもの人権	39	7.6%	20	6.2%	19	10.1%
児童虐待の防止と対応	52	10.2%	29	9.0%	23	12.2%
こどもの発達理解	145	28.3%	99	30.6%	46	24.5%
児童健全育成論	19	3.7%	12	3.7%	7	3.7%
子どもへの対応	139	27.1%	103	31.8%	36	19.1%
外国につながる児童の支援	27	5.3%	19	5.9%	8	4.3%
遊びの技術（室外編）	31	6.1%	19	5.9%	12	6.4%
遊びの技術（室内編）	43	8.4%	26	8.0%	17	9.0%
表現活動（作品づくり）	16	3.1%	12	3.7%	4	2.1%
表現活動（こどもの社会的スキル）	26	5.1%	17	5.2%	9	4.8%
障害への理解	177	34.6%	147	45.4%	30	16.0%
事業所の衛生管理	21	4.1%	8	2.5%	13	6.9%
おやつ（栄養管理、衛生管理）	29	5.7%	14	4.3%	15	8.0%
アレルギーへの対応	66	12.9%	48	14.8%	18	9.6%
事故・けがの予防と事後対応	120	23.4%	85	26.2%	35	18.6%
心肺蘇生法	30	5.9%	12	3.7%	18	9.6%
応急処置法	62	12.1%	44	13.6%	18	9.6%
防犯	23	4.5%	17	5.2%	6	3.2%
防災（風水害対策講話）	15	2.9%	8	2.5%	7	3.7%
防災（地震対策講話）	40	7.8%	16	4.9%	24	12.8%
保護者との関わり・連携	91	17.8%	54	16.7%	37	19.7%
学校との関わり・連携	26	5.1%	14	4.3%	12	6.4%
職員のメンタルヘルス・セルフケア	56	10.9%	37	11.4%	19	10.1%
事業所の人材育成・マネジメント	51	10.0%	27	8.3%	24	12.8%
放課後キッズクラブ事業の基本（新任常勤職員対象）	30	5.9%	30	9.3%	—	—
その他	49	9.6%	14	4.3%	35	18.6%
合計	1423	277.9%	931	287.3%	492	261.7%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・すべて行ってほしい(キッズ主任 1件、児童クラブ 26件)
- ・ビジネスマナー(児童クラブ 5件)
- ・新任非常勤職員研修(キッズ主任 3件)

→キッズ主任は、「障害への理解」の回答が一番高く45.4%、児童クラブは、「こどもの発達理解」の回答が一番高く24.5%であったが、選択肢も多く、希望する研修内容の回答にはバラつきがあった。

2 人材確保に関すること

(1) 令和2年度に求人した「常勤職員」の人数を教えてください

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	208	72.2%	75	75.0%	133	70.7%
1	59	20.5%	17	17.0%	42	22.3%
2	15	5.2%	3	3.0%	12	6.4%
3	4	1.4%	3	3.0%	1	0.5%
4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
9	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10~	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(求人数)	120	-	51	-	69	-

→キッズ法人の 25.0%、児童クラブの 29.3%が常勤職員を募集し、求人数の合計は 120 人

(2) 令和2年度に採用した「常勤職員」の人数を教えてください

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	216	75.0%	69	69.0%	147	78.2%
1	56	19.4%	21	21.0%	35	18.6%
2	14	4.9%	8	8.0%	6	3.2%
3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
10~	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(採用数)	104	-	57	-	47	-

→キッズ法人の 31.0%、児童クラブの 21.8%が常勤職員を採用し、採用人数の合計は 104 人

【クロス集計】令和2年度に求人および採用した「常勤職員」の関係(設問 2(1)・(2))

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

常勤職員	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
採用数>求人数	18	6.3%	13	13.0%	5	2.7%
採用数=求人数	241	83.7%	81	81.0%	160	85.1%
採用数<求人数	29	10.1%	6	6.0%	23	12.2%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

→全体の 83.7%が、求人数と同じ数の採用が出来た。また、キッズ法人の 13.0%が、採用数が求人数を上回ったが、児童クラブの 12.2%が、採用数が求人数を下回った。

(3) 令和2年度に求人した「非常勤職員(長期休業期間中のための職員は除く)」の人数を教えてください

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	115	39.9%	44	44.0%	71	37.8%
1	52	18.1%	11	11.0%	41	21.8%
2	43	14.9%	13	13.0%	30	16.0%
3	31	10.8%	11	11.0%	20	10.6%
4	9	3.1%	2	2.0%	7	3.7%
5	8	2.8%	3	3.0%	5	2.7%
6	4	1.4%	1	1.0%	3	1.6%
7	4	1.4%	1	1.0%	3	1.6%
8	1	0.3%	0	0.0%	1	0.5%
9	2	0.7%	1	1.0%	1	0.5%
10~	19	6.6%	13	13.0%	6	3.2%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(求人数)	1,081	-	737	-	344	-

→キッズ法人の56.0%、児童クラブの 62.2%が非常勤職員(長期休業中のための職員は除く)を募集し、求人数の合計は 1,081 人

(4) 令和2年度に採用した「非常勤職員(長期休業期間中のための職員は除く)」の人数を教えてください

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	109	37.8%	35	35.0%	74	39.4%
1	62	21.5%	20	20.0%	42	22.3%
2	41	14.2%	13	13.0%	28	14.9%
3	28	9.7%	11	11.0%	17	9.0%
4	13	4.5%	2	2.0%	11	5.9%
5	8	2.8%	5	5.0%	3	1.6%
6	10	3.5%	4	4.0%	6	3.2%
7	4	1.4%	0	0.0%	4	2.1%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	1	0.3%	0	0.0%	1	0.5%
10~	12	4.2%	10	10.0%	2	1.1%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(採用数)	730	-	429	-	301	-

→キッズ法人の 65.0%、児童クラブの 60.6%が非常勤職員(長期休業中のための職員は除く)を採用し、採用人数の合計は 730 人

【クロス集計】令和2年度に求人および採用した「非常勤職員(長期休業期間中のための職員は除く)」の関係

(設問2(3)・(4))

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

非常勤職員 (長期休業期間除く)	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
採用数>求人数	39	13.5%	20	20.0%	19	10.1%
採用数=求人数	206	71.5%	67	67.0%	139	73.9%
採用数<求人数	43	14.9%	13	13.0%	30	16.0%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

→全体の 71.5%が、求人数と同じ数の採用が出来た。また、キッズ法人の 20.0%が、採用数が求人数を上回ったが、キッズ法人の 13.0%、児童クラブの 16.0%が、採用数が求人数を下回った。

(5) 令和2年度から令和3年度までの期間で、長期休業期間中のために求人した「非常勤職員」の人数を教えてください。

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	180	62.5%	53	53.0%	127	67.6%
1	29	10.1%	11	11.0%	18	9.6%
2	27	9.4%	10	10.0%	17	9.0%
3	16	5.6%	6	6.0%	10	5.3%
4	12	4.2%	5	5.0%	7	3.7%
5	6	2.1%	3	3.0%	3	1.6%
6	2	0.7%	1	1.0%	1	0.5%
7	3	1.0%	2	2.0%	1	0.5%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
10~	12	4.2%	8	8.0%	4	2.1%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(求人数)	493	-	272	-	221	-

→キッズ法人の 47.0%、児童クラブの 32.4%が、長期休業期間中のために非常勤職員を募集し、求人数の合計は 493 人

(6) 令和2年度から令和3年度までの期間で、長期休業期間中のために採用した「非常勤職員」の人数を教えてください。

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	181	62.8%	50	50.0%	131	69.7%
1	37	12.8%	12	12.0%	25	13.3%
2	19	6.6%	7	7.0%	12	6.4%
3	16	5.6%	9	9.0%	7	3.7%
4	15	5.2%	7	7.0%	8	4.3%
5	3	1.0%	1	1.0%	2	1.1%
6	2	0.7%	1	1.0%	1	0.5%
7	4	1.4%	3	3.0%	1	0.5%
8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	2	0.7%	2	2.0%	0	0.0%
10~	9	3.1%	8	8.0%	1	0.5%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(採用数)	428	-	281	-	147	-

→キッズ法人の 50.0%、児童クラブの 30.3%が、長期休業中のために非常勤職員を採用し、採用人数の合計は 428 人

【クロス集計】令和2年度に求人および採用した「長期休業期間中のため非常勤職員」の関係

(設問2(5)・(6))

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

長期休業期間のための 非常勤職員	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
採用数>求人数	21	7.3%	11	11.0%	10	5.3%
採用数=求人数	237	82.3%	80	80.0%	157	83.5%
採用数<求人数	30	10.4%	9	9.0%	21	11.2%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

→全体の 82.3%が、求人数と同じ数の採用が出来た。また、キッズ法人の 11.0%が、採用数が求人数を上回ったが、児童クラブの 11.2%が、採用数が求人数を下回った。

(7) 「常勤職員」の求人方法を教えてください。(複数選択可)

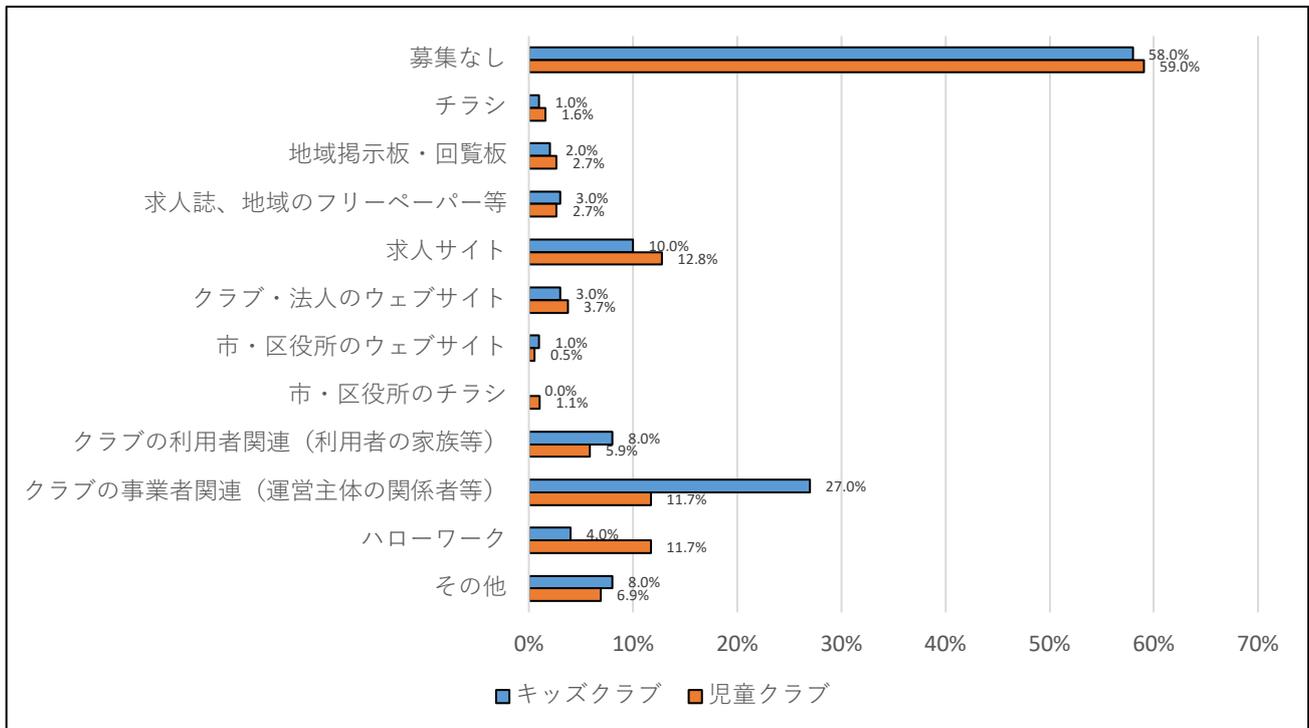
[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
募集なし	104	36.1%	40	40.0%	64	34.0%
チラシ	29	10.1%	9	9.0%	20	10.6%
地域掲示板・回覧板	28	9.7%	8	8.0%	20	10.6%
求人誌、地域のフリーペーパー等	33	11.5%	5	5.0%	28	14.9%
求人サイト	79	27.4%	13	13.0%	66	35.1%
クラブ・法人のウェブサイト	46	16.0%	10	10.0%	36	19.1%
市・区役所のウェブサイト	19	6.6%	3	3.0%	16	8.5%
クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)	56	19.4%	21	21.0%	35	18.6%
クラブの事業者関連(運営主体の関係者、職員の紹介等)	82	28.5%	40	40.0%	42	22.3%
ハローワーク	67	23.3%	13	13.0%	54	28.7%
その他	21	7.3%	8	8.0%	13	6.9%
合計	564	195.8%	170	170.0%	394	209.6%

→全体の 36.1%が常勤職員の「募集なし」と回答。次いで、「クラブの事業者関連(運営主体の関係者・職員の紹介等)」(28.5%)、「求人サイト」(27.4%)の順で高い。

(8) 令和2年4月1日から令和3年8月31日時点までに採用できた「常勤職員」の求人方法を教えてください。(複数選択可)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
募集なし	169	58.7%	58	58.0%	111	59.0%
チラシ	4	1.4%	1	1.0%	3	1.6%
地域掲示板・回覧板	7	2.4%	2	2.0%	5	2.7%
求人誌、地域のフリーペーパー等	8	2.8%	3	3.0%	5	2.7%
求人サイト	34	11.8%	10	10.0%	24	12.8%
クラブ・法人のウェブサイト	10	3.5%	3	3.0%	7	3.7%
市・区役所のウェブサイト	2	0.7%	1	1.0%	1	0.5%
市・区役所のチラシ	2	0.7%	0	0.0%	2	1.1%
クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)	19	6.6%	8	8.0%	11	5.9%
クラブの事業者関連(運営主体の関係者、職員の紹介等)	49	17.0%	27	27.0%	22	11.7%
ハローワーク	26	9.0%	4	4.0%	22	11.7%
その他	21	7.3%	8	8.0%	13	6.9%
合計	351	121.9%	125	125.0%	226	120.2%

→全体の 58.7%が「募集なし」と回答。次いで、「クラブの事業者関連(運営主体の関係者・職員の紹介等)」(17.0%)、「求人サイト」(11.8%)の順で高い。

(9) 「非常勤職員」の求人方法を教えてください。(複数選択可)

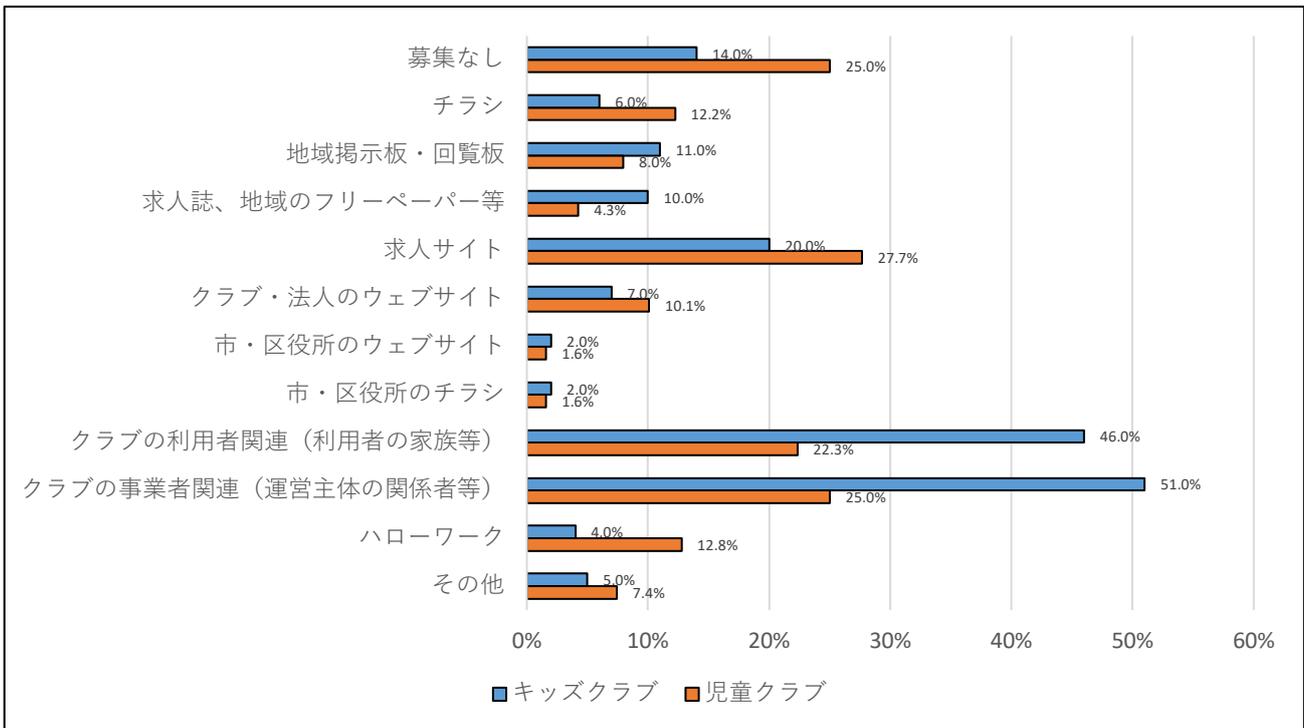
[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
募集なし	38	13.2%	12	12.0%	26	13.8%
チラシ	58	20.1%	16	16.0%	42	22.3%
地域掲示板・回覧板	51	17.7%	16	16.0%	35	18.6%
求人誌、地域のフリーペーパー等	42	14.6%	12	12.0%	30	16.0%
求人サイト	107	37.2%	23	23.0%	84	44.7%
クラブ・法人のウェブサイト	56	19.4%	11	11.0%	45	23.9%
市・区役所のウェブサイト	43	14.9%	14	14.0%	29	15.4%
クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)	113	39.2%	52	52.0%	61	32.4%
クラブの事業者関連(運営主体の関係者、職員の紹介等)	117	40.6%	58	58.0%	59	31.4%
ハローワーク	63	21.9%	10	10.0%	53	28.2%
その他	12	4.2%	3	3.0%	9	4.8%
合計	700	243.1%	227	227.0%	473	251.6%

→全体の 40.6%が非常勤職員を「クラブの事業者関連(運営主体の関係者・職員の紹介等)」で求人したと回答。次いで、「クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)」(39.2%)、「求人サイト」(37.2%)の順で高い。

(10) 令和2年4月1日から令和3年8月31日時点までに採用できた「非常勤職員」の求人方法を教えてください。(複数選択可)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
募集なし	61	21.2%	14	14.0%	47	25.0%
チラシ	29	10.1%	6	6.0%	23	12.2%
地域掲示板・回覧板	26	9.0%	11	11.0%	15	8.0%
求人誌、地域のフリーペーパー等	18	6.3%	10	10.0%	8	4.3%
求人サイト	72	25.0%	20	20.0%	52	27.7%
クラブ・法人のウェブサイト	26	9.0%	7	7.0%	19	10.1%
市・区役所のウェブサイト	5	1.7%	2	2.0%	3	1.6%
市・区役所のチラシ	5	1.7%	2	2.0%	3	1.6%
クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)	88	30.6%	46	46.0%	42	22.3%
クラブの事業者関連(運営主体の関係者、職員の紹介等)	98	34.0%	51	51.0%	47	25.0%
ハローワーク	28	9.7%	4	4.0%	24	12.8%
その他	19	6.6%	5	5.0%	14	7.4%
合計	475	164.9%	178	178.0%	297	158.0%

→全体の 34.0%が「クラブの事業者関連(運営主体の関係者・職員の紹介等)」と回答。次いで「クラブの利用者関連(利用者の家族・知人・関係者、クラブの卒業生等)」(30.6%)、「求人サイト」(25.0%)の順で高い。

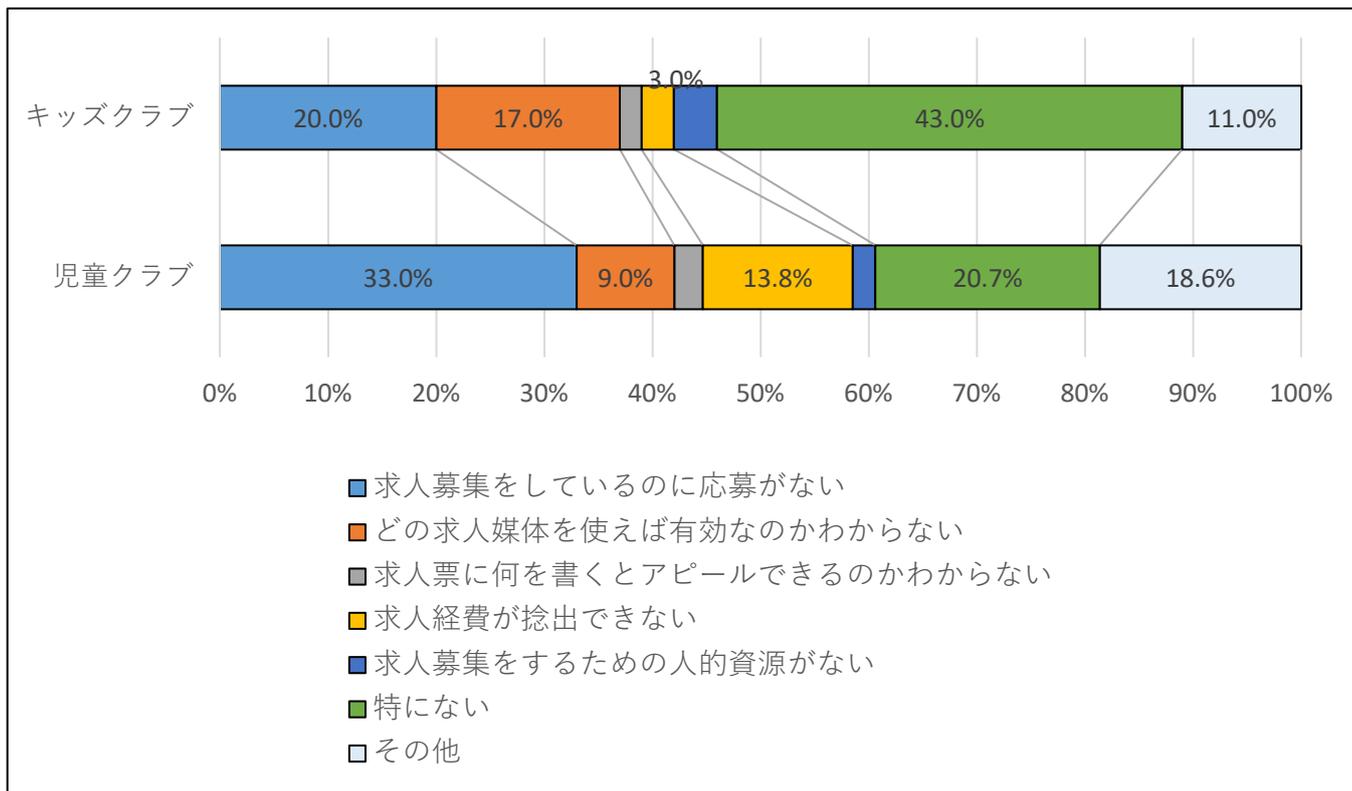
(11)求人の際に工夫していることはありますか。(自由回答)

【主要内容(回答数 92件(キッズ法人 43 件、児童クラブ 49 件))】

- ・求人方法や掲載情報の工夫に関すること(キッズ法人 7件、児童クラブ 25件)
- ・地域の方もしくは信頼する人物からの紹介および推薦に関すること(キッズ法人 21 件、児童クラブ 9 件)
- ・面接方法、質問の工夫に関すること(児童クラブ 7件)

(12) 求人の際に困っていることはありますか。

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
求人募集をしているのに応募がない	82	28.5%	20	20.0%	62	33.0%
どの求人媒体を使えば有効なのかわからない	34	11.8%	17	17.0%	17	9.0%
求人票に何を書くとアピールできるかわからない	7	2.4%	2	2.0%	5	2.7%
求人経費が捻出できない	29	10.1%	3	3.0%	26	13.8%
求人募集をするための人的資源がない	8	2.8%	4	4.0%	4	2.1%
特にない	82	28.5%	43	43.0%	39	20.7%
その他	46	16.0%	11	11.0%	35	18.6%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・給与等の待遇面に関すること(児童クラブ 28件)
- ・勤務時間や勤務条件が特殊であることに関すること(キッズ法人 1 件、児童クラブ 10 件)
- ・見合う人材の応募がないことに関すること(キッズ法人 3 件、児童クラブ 6 件)

→キッズ法人の 43.0%が「(困っていることは)特にない」と回答。次いで、「求人をしているのに応募がない」20.0%、「どの求人媒体をつかえば有効なのかわからない」17.0%と回答。児童クラブの 33.0%が「求人をしているのに応募がない」と回答し、次いで、「(困っていることは)特にない」20.7%、その他意見の「給与等の待遇面に関すること」の順に回答が多かった。

(13) 【クロス集計】勤続年数が5年未満、5年～10年未満、10年以上別の常勤職員数

常勤職員 勤続年数	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～5年	533	48.6%	363	53.4%	170	40.9%
5～10年未満	301	27.5%	194	28.5%	107	25.7%
10年～	262	23.9%	123	18.1%	139	33.4%
合計	1,096	100.0%	680	100.0%	416	100.0%

→勤続年数が「5年未満」が全体の48.6%を占める。10年以上の常勤職員が、児童クラブは33.4%で、キッズ法人の18.1%を大きく上回った。

(14) 【クロス集計】勤続年数が5年未満、5年～10年、10年以上別の非常勤職員数(長期休業期間中のための職員は除く)

非常勤職員 勤続年数	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～5年	3,654	69.5%	2,752	70.5%	902	66.5%
5～10年未満	1,068	20.3%	764	19.6%	304	22.4%
10年～	539	10.2%	388	9.9%	151	11.1%
合計	5,261	100.0%	3,904	100.0%	1,357	100.0%

→勤続年数が「5年未満」が全体の69.5%を占める。属性による大きな差は見られない。

(15) 令和2年度から令和3年度までの期間で、長期休業期間中のために採用した「非常勤職員」の属性を教えてください。(複数選択可)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
採用に至らなかった	121	42.0%	32	32.0%	89	47.3%
学生	109	37.8%	46	46.0%	63	33.5%
子育て経験者・子育て世帯	33	11.5%	19	19.0%	14	7.4%
アクティブシニア(65歳以降)	11	3.8%	5	5.0%	6	3.2%
他の仕事とダブルワークしている(希望する)職員	36	12.5%	22	22.0%	14	7.4%
その他	40	13.9%	9	9.0%	31	16.5%
合計	350	121.5%	133	133.0%	217	115.4%

→「学生」、「その他」、「他の仕事とダブルワークしている(希望する)職員」、「子育て経験者・子育て世帯」の順に高い。

(16) 令和2年度に退職した「常勤職員」の人数を教えてください。

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	217	75.3%	80	80.0%	137	72.9%
1	58	20.1%	15	15.0%	43	22.9%
2	9	3.1%	1	1.0%	8	4.3%
3	2	0.7%	2	2.0%	0	0.0%
4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
9	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10~	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(退職数)	96	-	37	-	59	-

→キッズ法人の 20.0%、児童クラブの 27.1%に常勤職員の退職者がおり、退職者数の合計は 96 人

(17) 令和2年度に退職した「非常勤職員(長期休業期間中のための職員は除く)」の人数を教えてください。

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
0	131	45.5%	42	42.0%	89	47.3%
1	74	25.7%	24	24.0%	50	26.6%
2	38	13.2%	14	14.0%	24	12.8%
3	18	6.3%	5	5.0%	13	6.9%
4	8	2.8%	2	2.0%	6	3.2%
5	4	1.4%	2	2.0%	2	1.1%
6	2	0.7%	0	0.0%	2	1.1%
7	1	0.3%	0	0.0%	1	0.5%
8	1	0.3%	0	0.0%	1	0.5%
9	1	0.3%	1	1.0%	0	0.0%
10~	10	3.5%	10	10.0%	0	0.0%
合計(回答数)	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%
合計(退職数)	616	-	418	-	198	-

→キッズ法人の 58.0%、児童クラブの 52.7%に、非常勤職員(長期休業期間中のための職員は除く)の退職者がおり、退職者数の合計は 616 人

(18) 令和2年度及び令和3年度に退職した職員の退職理由を教えてください。(複数選択可)

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
定年	10	3.5%	7	7.0%	3	1.6%
自己都合	175	60.8%	66	66.0%	109	58.0%
給与条件が悪い	14	4.9%	2	2.0%	12	6.4%
人間関係のため(職場、保護者間等)	12	4.2%	8	8.0%	4	2.1%
その他	98	34.0%	32	32.0%	66	35.1%
不明	12	4.2%	3	3.0%	9	4.8%
答えたくない	5	1.7%	0	0.0%	5	2.7%
合計	326	113.2%	118	118.0%	208	110.6%

→「自己都合」(60.8%)、「その他」(34.0%)の順で回答が高く、理由の把握は出来なかった。

(19) 職員が離職しないために、工夫していることはありますか

[n=612【全体】、100【キッズ法人】、324【キッズ主任】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
業務内容を可視化するなど、職員がお互いの業務をサポートしやすい体制を整えている	123	20.1%	22	22.0%	73	22.5%	28	14.9%
定期的に個人面談や職場ミーティング等を実施することで、職員が一人で問題を抱え込まず、相談しやすい関係性を作っている	278	45.4%	49	49.0%	150	46.3%	79	42.0%
職員が休みをとりやすい工夫をしている	117	19.1%	14	14.0%	66	20.4%	37	19.7%
入退室管理システムを導入するなどICT化を進めるなど、事務の効率化を行っている	26	4.2%	9	9.0%	12	3.7%	5	2.7%
その他	68	11.1%	6	6.0%	23	7.1%	39	20.7%
合計	612	100.0%	100	100.0%	324	100.0%	188	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・待遇面に関するもの(キッズ法人 1 件、キッズ主任 5 件、児童クラブ 27 件)
- ・コミュニケーションの重視等、職場内での働きやすい環境作りに関するもの(キッズ法人 5 件、キッズ主任 13 件、児童クラブ 12 件)

→全体の 45.4%が「職員が一人で問題を抱え込まず、相談しやすい関係性を作っている」と回答。次いで、キッズ法人とキッズ主任は「職員がお互いの業務をサポートしやすい体制を整えている」(キッズ法人: 22.0%、キッズ主任: 22.5%)、児童クラブは「職員が休みをとりやすい工夫をしている」(19.7%)の順に高かった。

(20) 市のチラシやホームページについて、改善してほしい点やご意見はありますか

[n=288【全体】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	156	54.2%	73	73.0%	83	44.1%
求人しているクラブを検索しやすくしてほしい	78	27.1%	18	18.0%	60	31.9%
新着求人がわかるようにしてほしい	17	5.9%	6	6.0%	11	5.9%
その他	37	12.8%	3	3.0%	34	18.1%
合計	288	100.0%	100	100.0%	188	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・キッズクラブと児童クラブの事業の違いの明確化に関すること(児童クラブ 14 件)
- ・市ホームページの分かりづらさに関すること(キッズ法人 1 件、児童クラブ 12 件)
- ・求人広告掲載料の補助に関すること(キッズ法人 1 件、児童クラブ 7 件)

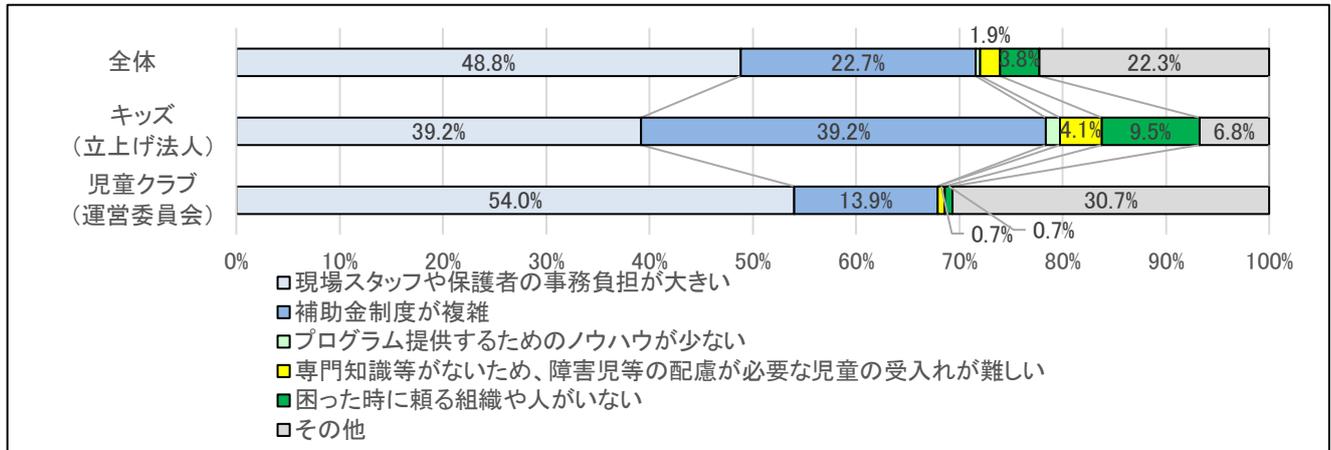
→改善してほしい点が「特になし」が全体の54.2%を占めた。ただし、児童クラブの 31.9%が「求人しているクラブを検索しやすくしてほしい」と回答

3 地域立上げ法人・運営委員会形式クラブへの支援

(1)事業を実施するにあたって、特に課題や負担となっていることは何ですか。

【地域立上げ法人及び運営委員会形式クラブのみ回答】

[n=211【全体】、74【キッズ(立上げ法人)】、137【児童クラブ(運営委員会)】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
現場スタッフや保護者の事務負担が大きい	103	48.8%	29	39.2%	74	54.0%
補助金制度が複雑	48	22.7%	29	39.2%	19	13.9%
プログラム提供するためのノウハウが少ない	1	0.5%	1	1.4%	0	0.0%
専門知識等がないため、障害児等の配慮が必要な児童の受入れが難しい	4	1.9%	3	4.1%	1	0.7%
困った時に頼る組織や人がいない	8	3.8%	7	9.5%	1	0.7%
その他	47	22.3%	5	6.8%	42	30.7%
合計	211	100.0%	74	100.0%	137	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

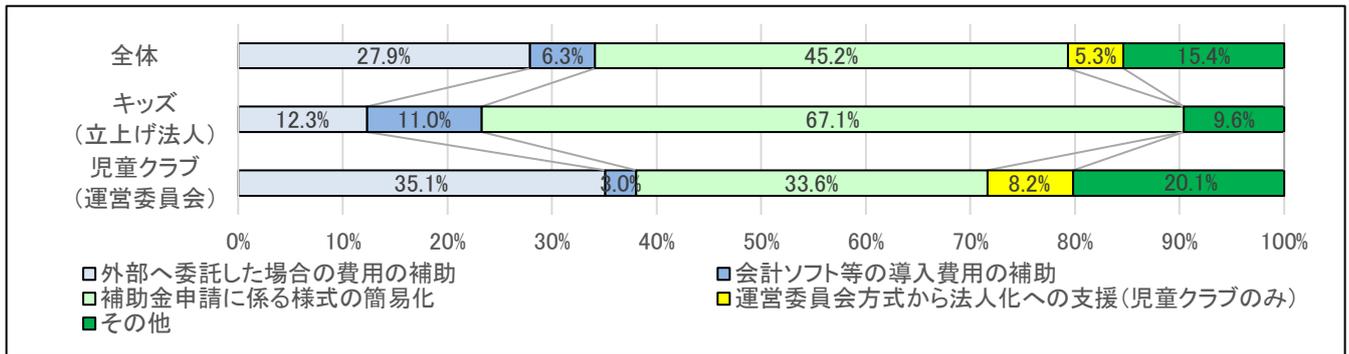
- ・補助金が少ない(児童クラブ 42 件)
- ・事務が負担(キッズ法人 1 件、児童クラブ 10 件)
- ・人材が足りない(児童クラブ 8 件)

→全体の 48.8%が「現場スタッフや保護者の事務負担が大きい」と回答。キッズ法人(地域立上げ法人)の 39.2%が「補助金制度が複雑」と回答し、児童クラブは 30.7%がその他意見で「補助金が少ない」と回答

(2) 経理・労務等の事務負担軽減にあたって、どのような支援があるといいですか。

【地域立ち上げ法人及び運営委員会形式クラブのみ回答】

[n=208【全体】、74【キッズ(立上げ法人)】、134【児童クラブ(運営委員会)】]



選択肢	全体		キッズ法人		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
外部へ委託した場合の費用の補助	58	27.9%	11	12.3%	47	35.1%
会計ソフト等の導入費用の補助	13	6.3%	9	11.0%	4	3.0%
補助金申請に係る様式の簡易化	94	45.2%	49	67.1%	45	33.6%
運営委員会方式から法人化への支援 (児童クラブのみ)	11	5.3%	-	-	11	8.2%
その他	32	15.4%	5	9.6%	27	20.1%
合計	208	100.0%	74	100.0%	134	100.0%

「その他」と回答した方の主な意見

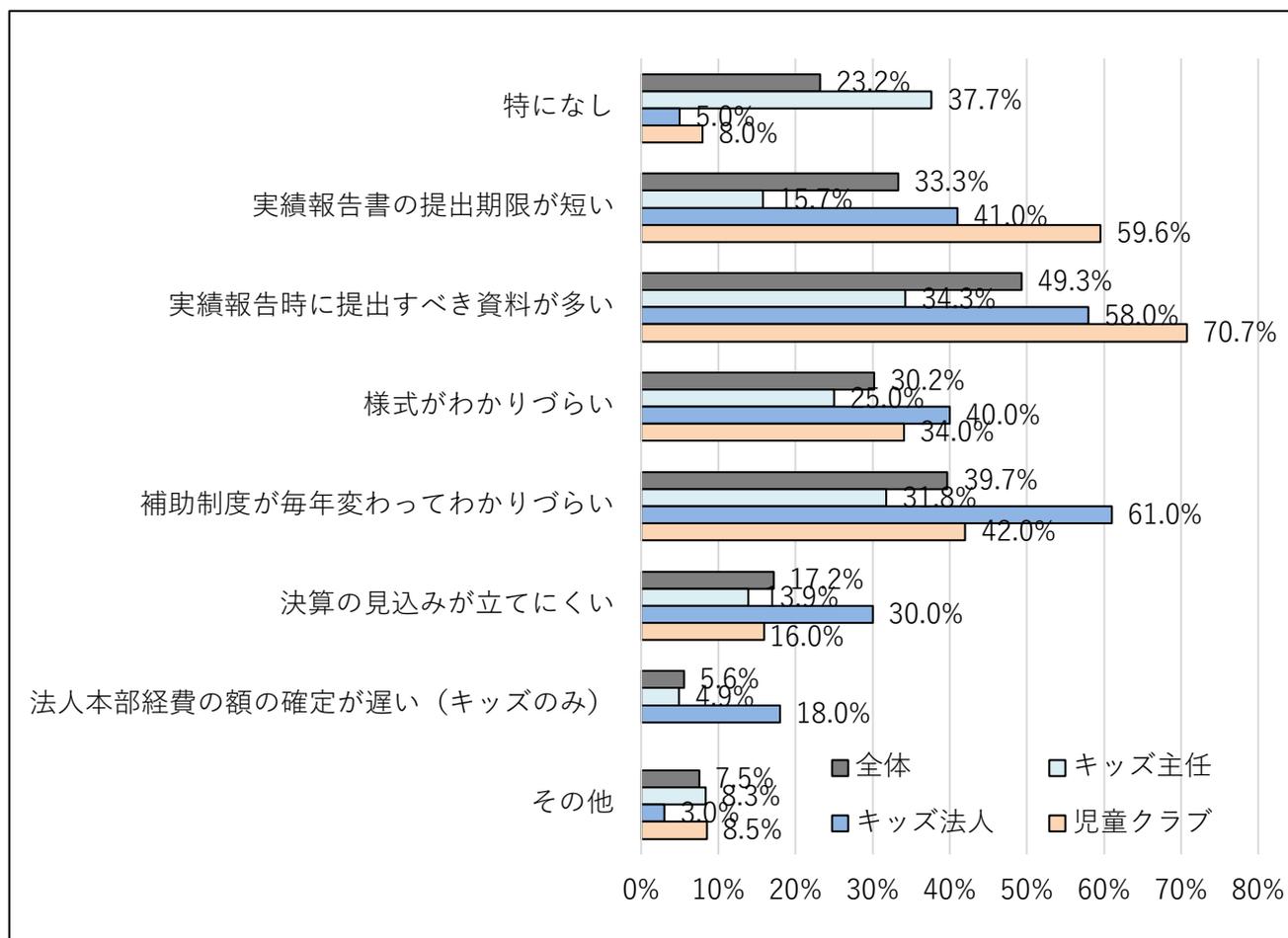
- ・市による書類形式・手続きの簡略化(児童クラブ 19件)
- ・補助金の対象の拡大、増額(キッズ法人 1件、児童クラブ 9件)
- ・現状だと法人化反対(児童クラブ 10件)

→キッズ法人(地域立ち上げ法人)の 67.1%が「補助金申請に係る様式の簡易化」と回答。児童クラブは、「外部へ委託した場合の費用の補助」が 35.1%、次いで「補助金申請に係る様式の簡易化」が 33.6%の順に高く、属性により希望する支援内容について回答が分かれた。

4 事務の効率化について

(1) 横浜市の補助金事務について、困ることは何ですか(3 個まで選択可)

[n=612【全体】、324【キッズ主任】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]



選択肢	全体		キッズ法人		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	142	23.2%	5	5.0%	122	37.7%	15	8.0%
実績報告書の提出期限が短い	204	33.3%	41	41.0%	51	15.7%	112	59.6%
実績報告時に提出すべき資料が多い	302	49.3%	58	58.0%	111	34.3%	133	70.7%
様式がわかりづらい	185	30.2%	40	40.0%	81	25.0%	64	34.0%
補助制度が毎年変わってわかりづらい	243	39.7%	61	61.0%	103	31.8%	79	42.0%
決算の見込みが立てにくい	105	17.2%	30	30.0%	45	13.9%	30	16.0%
法人本部経費の額の確定が遅い (キッズのみ)	34	5.6%	18	18.0%	16	4.9%	-	-
その他	46	7.5%	3	3.0%	27	8.3%	16	8.5%
合計	1261	206.0%	256	256.0%	556	171.6%	449	238.8%

→全体の回答では、「実績報告時に提出すべき資料が多い」(49.3%)、「補助制度が毎年変わってわかりづらい」(39.7%)、「実績報告書の提出期限が短い」(33.3%)の順に高かった。

(2) クラブを運営していくうえで、資金面で困ることは何ですか(3 個まで選択可)

[n=612【全体】、324【キッズ主任】、100【キッズ法人】、188【児童クラブ】]

選択肢	全体		キッズ法人		キッズ主任		児童クラブ	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	229	37.4%	23	23.0%	178	54.9%	28	14.9%
緊急的に必要になったときのための資金がない	180	29.4%	29	29.0%	48	14.8%	103	54.8%
事務作業等を委託したくてもできない	158	25.8%	25	25.0%	39	12.0%	94	50.0%
法人による事務作業等を対象とした補助金が確実に保証されていない (児童クラブのみ)	69	11.3%	-	-	-	-	69	36.7%
法人本部経費の取扱い (キッズのみ)	77	12.6%	39	39.0%	38	11.7%	-	-
継続的なプログラムができるための経費が少ない	107	17.5%	14	14.0%	33	10.2%	60	31.9%
学習支援等に取り組む場合の経費が少ない	55	9.0%	12	12.0%	16	4.9%	27	14.4%
活動場所が複数ある場合の人員配置のための人件費 (キッズのみ)	117	19.1%	36	36.0%	81	25.0%	-	-
合計	992	162.1%	178	178.0%	433	133.6%	381	202.7%

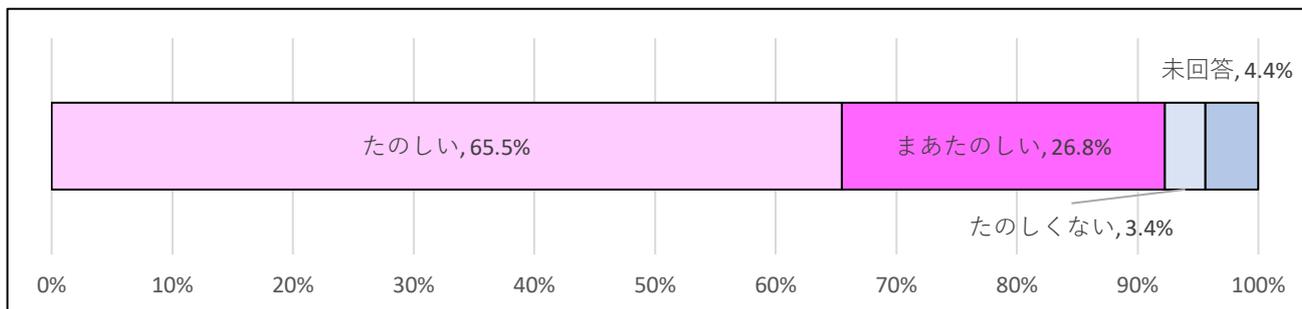
→キッズ法人の 39.0%が「法人本部経費の取扱い」、キッズ主任の 54.9%は「特になし」、児童クラブの 54.8%が「緊急的に必要になったときのための資金がない」と回答し、属性により資金面で困ることの回答が分かれた。

II 放課後キッズクラブ アンケート

1 クラブの運営に関すること

(1) キッズクラブはたのしいですか。【子ども】

[n=388]



選択肢	回答数	構成率
たのしい	254	65.5%
まあたのしい	104	26.8%
たのしくない	13	3.4%
未回答	17	4.4%
合計	388	100.0%

→「たのしい」「まあたのしい」と92.3%が回答

(2) キッズクラブに入っておともだちがふえましたか。複数回答【子ども】

[n=388]

選択肢	回答数	構成率
同じ年のおともだちがふえた	156	40.2%
ちがう年のともだちが増えた	177	45.6%
まえと同じ	79	20.4%
おともだちがへった	13	3.4%
わからない	60	15.5%
合計	485	125.0%

→「ちがう年のともだちが増えた」45.6%、「同じ年のおともだちがふえた」40.2%の順に回答が高かった。

(3) これからもキッズクラブにいきたいですか。【子ども】

[n=388]

選択肢	回答数	構成率
いきたい	244	62.9%
どちらかというといきたい	59	15.2%
いきたくない	17	4.4%
わからない	59	15.2%
未回答	9	2.3%
合計	388	100.0%

→「いきたい」「どちらかというといきたい」と78.1%が回答

(4) キッズクラブにいるおとなのひとたちを、どうおもいますか。複数回答※3個まで選択可【子ども】

[n=388]

選択肢	回答数	構成率
おもしろい	166	42.8%
やさしい	280	72.2%
あたたかい	79	20.4%
あかるい	207	53.4%
はなしをきいてくれる	190	49.0%
しずか	44	11.3%
つまらない	33	8.5%
こわい	39	10.1%
つめたい	21	5.4%
くらい	11	2.8%
うるさい	40	10.3%
話をきいてくれない	40	10.3%
合計	1,150	296.4%

→「やさしい」72.2%、「あかるい」53.4%、「はなしをきいてくれる」49.0%、「おもしろい」42.8%の順に回答が高かった。

(5) キッズクラブに入ったのは、なぜですか。複数回答【子ども】

[n=388]

選択肢	回答数	構成率
おともだちがいるから	73	18.8%
おうちの人から いわれているから	214	55.2%
おもしろそうだから	81	20.9%
その他	73	18.8%
合計	441	113.7%

→「おうちのひとからいわれているから」が最も高く、55.2%の子どもが回答

(6) ふだんキッズクラブに何時ごろまでいますか。【子ども】

[n=388]

選択肢	回答数	構成率
14時～15時	30	7.7%
15時～16時	135	34.8%
16時～17時	107	27.6%
17時～18時	60	15.5%
18時～19時	34	8.8%
その他（複数回答等）	17	4.4%
未回答	5	1.3%
合計	388	100.0%

→「15時～16時」34.8%、「16時～17時」27.6%の順に回答が高かった。

(7) キッズクラブではいつもなにをしてあそんでいますか。【子ども】

主な回答(順不同)			
ういすゲーム	ボール遊び	レシピ	バトミントン
将棋	宿題	グルード	ボードゲーム
ゲーム	マイクラごっこ	おうちごっこ	おりがみ
サッカー	読書	鉄棒	りかちゃん
ぬり絵	トランプ	こま	写し絵
ブロック	すごろく	漫画	アイロンビーズ
カードゲーム	おにごっこ	パズル	レゴ
一輪車	オセロ	LAQ	テレビ
ポケモン	うんてい	おままごと	どろけい
シルバニア	UNO	プラレール	トミカ
カプラ	マット	ジェンガ	だるまさんがころんだ
ポコペン	けんだま	ドッジボール	ルービックキューブ
工作	不思議なお城	マンカラ	バスケ
迷路	お手玉	あやとり	ヨーヨー

(8) キッズクラブで、いちばんたのしかったことは、なんですか。【子ども】

主な回答(順不同)			
ういすゲーム	工作	ブラバン	すごろく
本	水でっぼう大会	マイクラごっこ	くじびき
UNO	おままごと	おうちごっこ	鉄棒
ゲーム	漫画	外	こま
サッカー	カードゲーム	おにごっこ	将棋
友人と遊んだ	オセロ	レシピ	ブロック
かき氷を食べたこと	おりがみ	なわとび	ドッジボール
ハロウィンの作品作り	たこやきパーティ	どろだんご作り	絵
本読み	パズル	クリスマスパーティ	段ボールハウス
写し絵	レゴ	節分の豆まき	イベント
お楽しみ会	スーパーボール	こま	うちわづくり
ミサンガ	全部	スライム	フラワーアレンジメント
オセロ	マフラーづくり	ビンゴ	りかちゃん
おみくじづくり	パラシュートづくり	だるまさんが転んだ	金魚すくい
プラネタリウム	紙飛行機飛ばし競争	夏祭り	実験
チア	体育館	一輪車	バスケ
紙粘土	縁日	魚釣り	サイエンス
マジック	ビーコル	テレビ	スノードーム
お菓子食べたとき	カレンダー		

(9) キッズクラブで、いままでやってないことで、やってみたいことは、なんですか。【子ども】

主な回答(順不同)			
卓球	ぬり絵	ドッジボール	おにごっこ
スライム	バスケ	野球	ゲーム
ビーズ遊び	ブラバン	一輪車	あやとり
わからない	カード遊び	バドミントン	人生ゲーム
ドミノ	キューポロ	水遊び	イベント
パズル	ラグビー	花火	将棋
プール	アニメ	クッキング	スケボー
オセロ	泥遊び	トランプ	りかちゃん
ぬいぐるみ	アーチェリー	綱引き	体育館
ビリヤード	輪投げ	お祭り	粘土
スーパーボールすくい	おりがみ	むしとり	パソコン
ネックレス	Youtube	ビンゴ	実験
アイロンビーズ	おもちつき	立体迷路	おはじき
劇	テニス	障害物競走	マンカラ
サイエンス	スタンプラリー	なわとび	けんだま

(10) キッズクラブにあるともっとたのしくなるものはなんだとおもいますか。【子ども】

主な回答(順不同)			
ういすゲーム	将棋	ゲーム	バット
サッカーボール	おおなわ	ねんど	図鑑
トランポリン	おりがみ	なかあて	本
人生ゲーム	カードゲーム	うごくロボット	とびばこ
プール	一輪車	ソフトボール	ツイスター
楽器	テニス	工作	プレボ
アイロンビーズ	クッキング	パズル	マリオカート
迷路	DVD	オセロ	ブランコ
ボール	パズル	ドミノ	なわとび
すごろく	スイッチ	アイパッド	ペッパー君
砂場セット	頭を使うもの	人狼ゲーム	ルービックキューブ
ジェーボー	ティアラボ	レゴ	プッシュポップ
ローラースケート	みんなで使えるもの	サイエンス	自転車
トランプ	お手玉	タブレット	竹馬
ランニングマシーン	Wii	マット	バランスボール
うんてい	フラフープ		

(11) キッズクラブにいきたくないときはありますか。その理由はなんですか。【子ども】

主な回答(順不同)		
いつも同じことしかできないから	いってもやることがないから	早く帰りたいから
友だちがいないから	道具がつまらない	おもちゃが少ない
家のほうがいいから	行ってもつまらない	めんどくさい
ゲームをしたい	緊張する	公園で遊びたいから
帰ったら遅くなる	色塗りしかできない	習い事が忙しい
早く親に会いたい	親の迎えが遅い	疲れる
家で勉強したい		

(12) キッズクラブのおともだちとせいかつでこまることはありますか。【子ども】

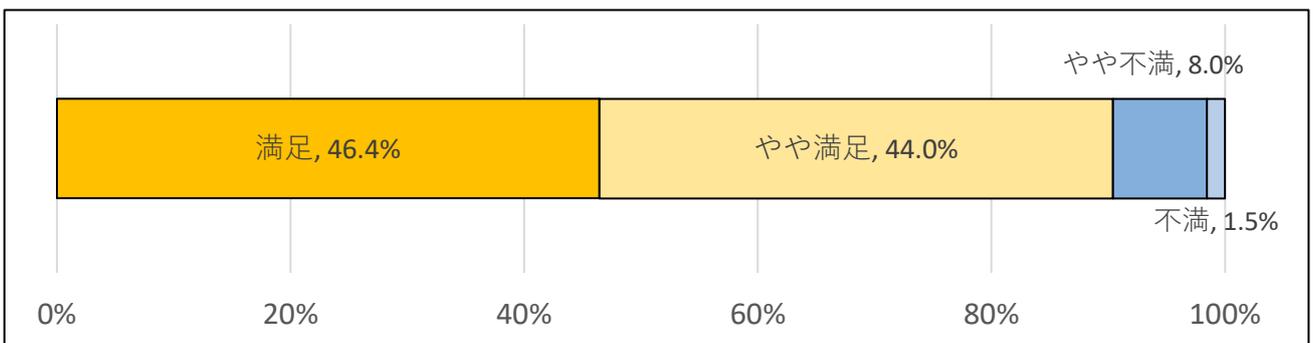
ない・・・284 ある・・・79 無回答・・・25

主な回答(順不同)		
ある(※理由の記載なし)	けんか	サッカーにいれてくれない
うるさい人がいる	仲間外れ	友だちに追いかける
遊ぶ邪魔された	横取り	いやな言い方をされた
下の学年に呼び捨てにされる	いじわるをしてくる	上級生が怖い
マスクを鼻までしてほしい		

(13) キッズクラブの活動内容等について満足していますか。

[n=6,461]

【保護者】



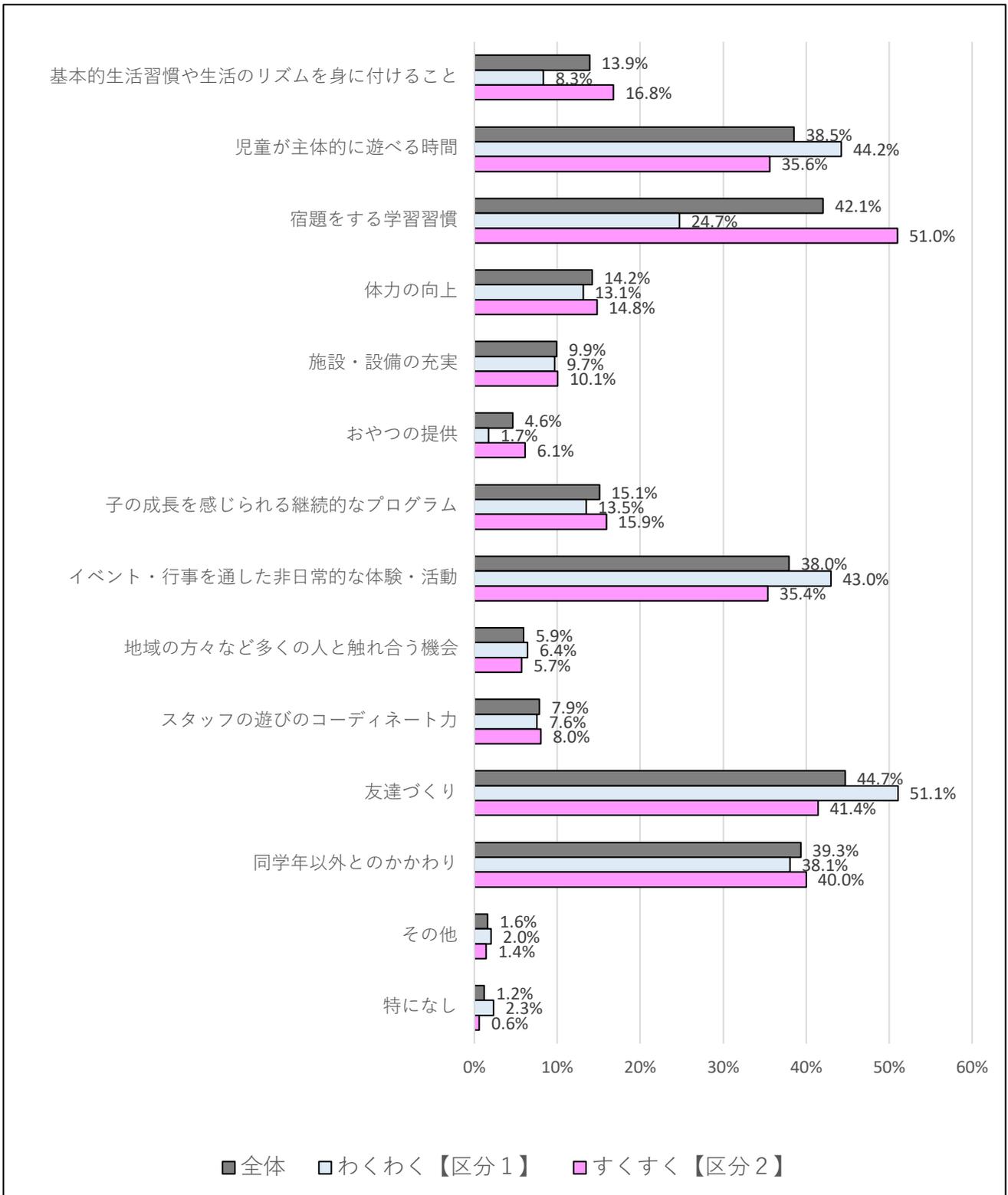
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
満足	3,001	46.4%	829	37.7%	2,172	50.9%
やや満足	2,841	44.0%	1,043	47.5%	1,798	42.2%
やや不満	519	8.0%	261	11.9%	258	6.1%
不満	100	1.5%	64	2.9%	36	0.8%
計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→「満足」「やや満足」の回答が全体の 90.4%を占めた。利用区分の属性別では、わくわく【区分 1】が 85.2%、すくすく【区分 2】が 93.1%と、満足度はすくすく【区分 2】のほうが高い。

(14) お子様のためにキッズクラブに期待することは何ですか。 **複数選択**※3個まで選択可

[n=6,461]

【保護者】



選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
基本的な生活習慣や生活のリズムを身に付けること	899	13.9%	183	8.3%	716	16.8%
児童が主体的に遊べる時間	2,490	38.5%	972	44.2%	1,518	35.6%
宿題をする学習習慣	2,717	42.1%	543	24.7%	2,174	51.0%
体力の向上	918	14.2%	288	13.1%	630	14.8%
施設・設備の充実	642	9.9%	213	9.7%	429	10.1%
おやつの提供	299	4.6%	38	1.7%	261	6.1%
子の成長を感じられる継続的なプログラム	974	15.1%	296	13.5%	678	15.9%
イベント・行事を通じた非日常的な体験・活動	2,452	38.0%	944	43.0%	1,508	35.4%
地域の方々など多くの人と触れ合う機会	384	5.9%	141	6.4%	243	5.7%
スタッフの遊びのコーディネート力	508	7.9%	166	7.6%	342	8.0%
友達づくり	2,888	44.7%	1,122	51.1%	1,766	41.4%
同学年以外とのかかわり	2,541	39.3%	836	38.1%	1,705	40.0%
その他	105	1.6%	44	2.0%	61	1.4%
特になし	77	1.2%	51	2.3%	26	0.6%
合計	17,894	277.0%	5,837	265.7%	12,057	282.8%

→保護者がお子様のためにキッズに期待することは、高い構成率順として「友達づくり」44.7%、「宿題をする学習習慣」42.1%、「同学年以外とのかかわり」39.3%、「児童が主体的に遊べる時間」38.5%、「イベント・行事を通じた非日常的な体験・活動」38.0%の順に高かった。

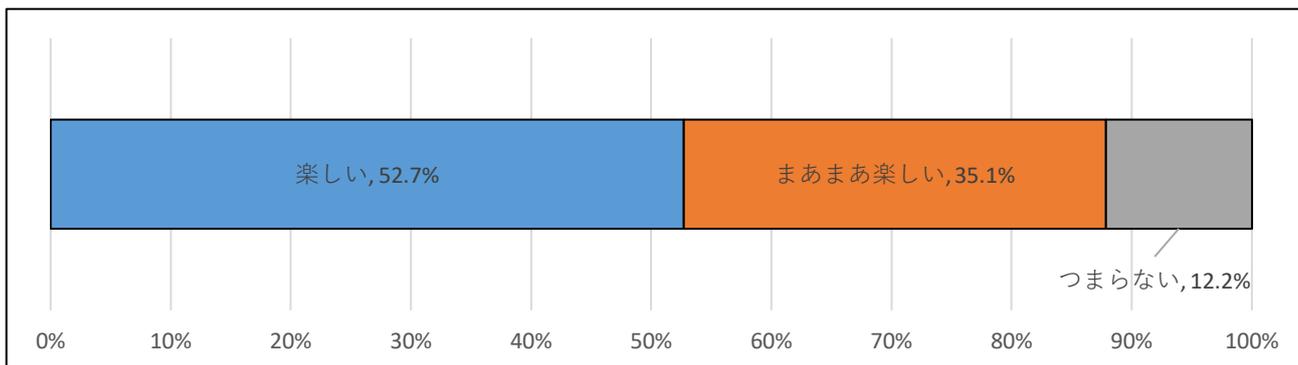
わくわく【区分1】は、「友達づくり」が 51.1%と最も高く、すくすく【区分 2】は「宿題をする学習習慣」51.0%と最も高く、利用区分の属性により回答が分かれた。

2 プログラムに関すること

(1) プログラムについてお子様はどう感じていますか。

[n=6,461]

【保護者】



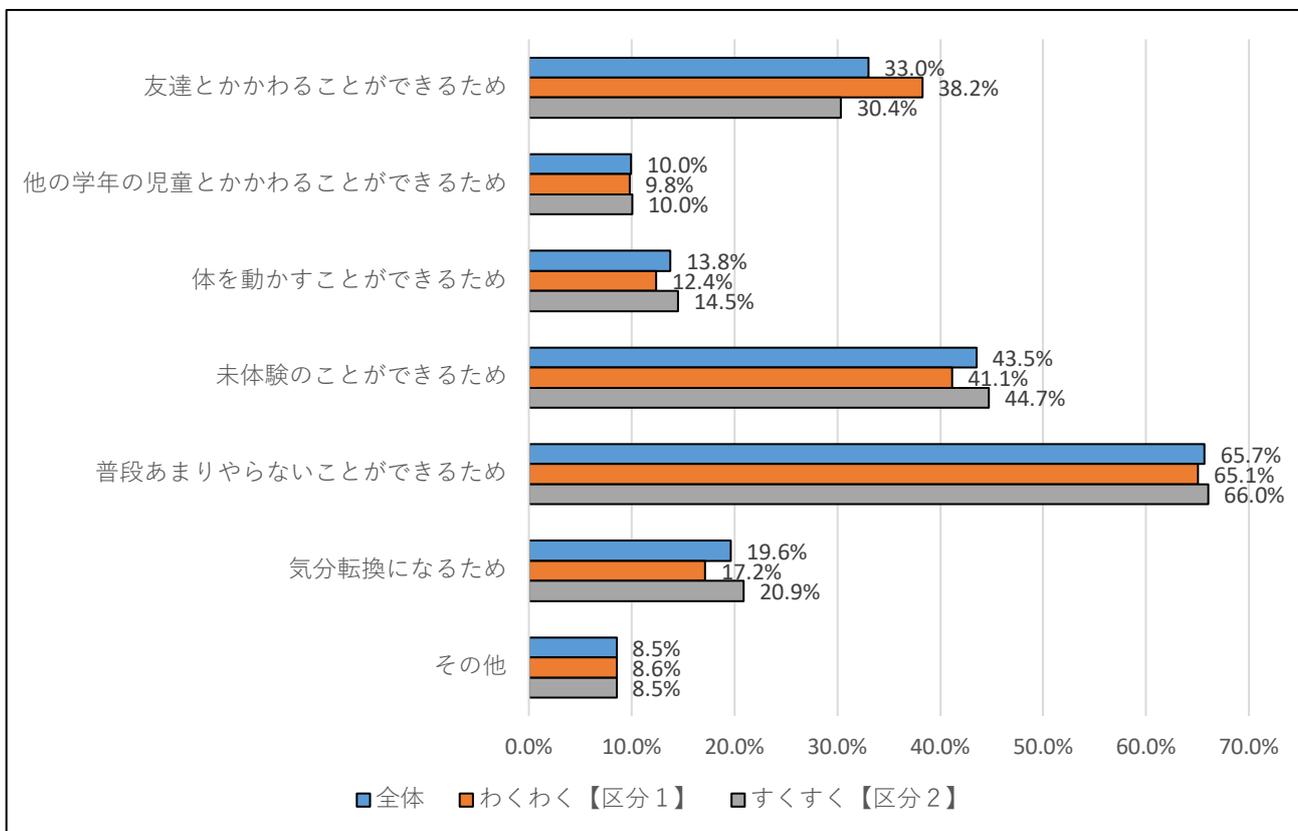
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
楽しい	3,404	52.7%	1,106	50.3%	2,298	53.9%
まあまあ楽しい	2,271	35.1%	800	36.4%	1,471	34.5%
つまらない	786	12.2%	291	13.2%	495	11.6%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→プログラムについて、「楽しい」「まあまあ楽しい」との回答が 87.8%を占めた。利用区分の属性による差は見られなかった。

(1)-1 1で「楽しい」「まあまあ楽しい」を選択した方のみ **複数選択**

楽しいと思っている理由

[n=5,675]



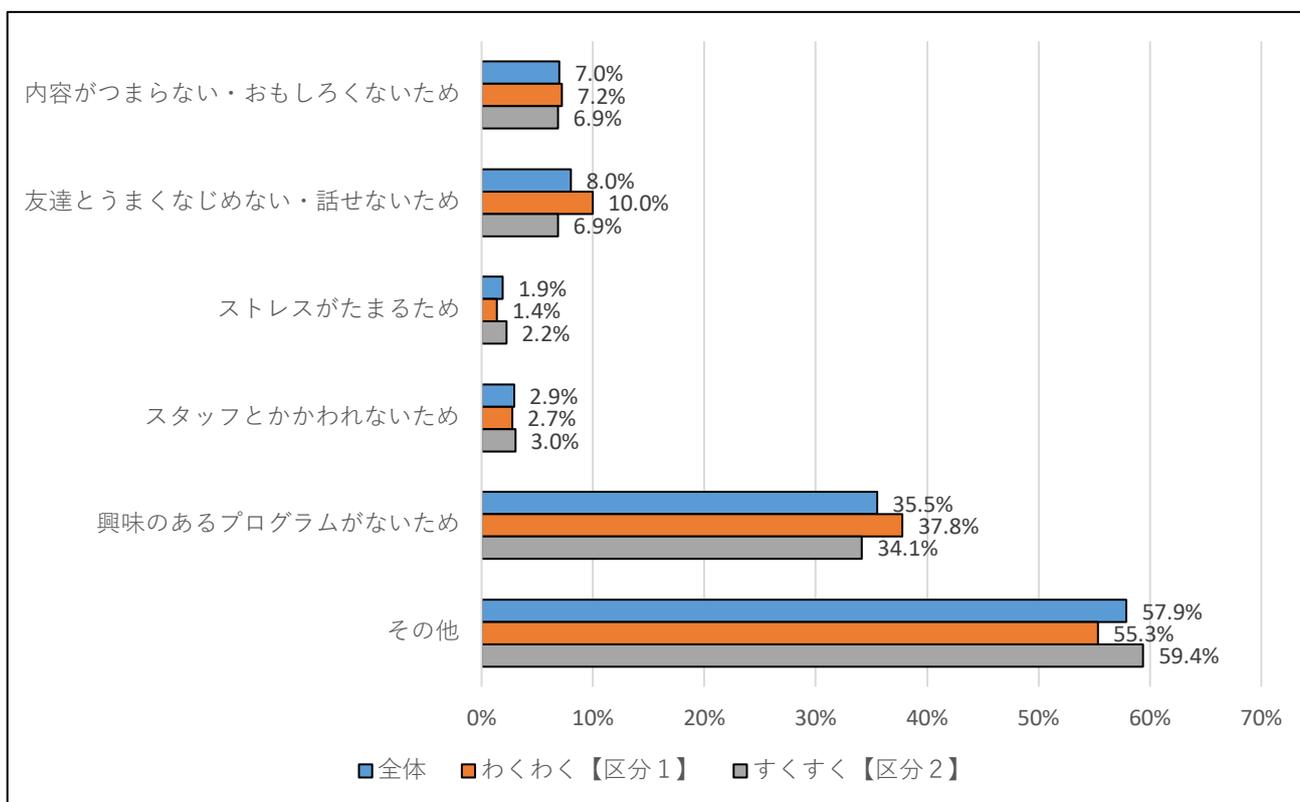
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
友達とかかわることができるため	1,873	33.0%	729	38.2%	1,144	30.4%
他の学年の児童とかかわることができるため	565	10.0%	187	9.8%	378	10.0%
体を動かすことができるため	782	13.8%	236	12.4%	546	14.5%
未体験のことができるため	2,470	43.5%	784	41.1%	1,686	44.7%
普段あまりやらないことができるため	3,729	65.7%	1,240	65.1%	2,489	66.0%
気分転換になるため	1,114	19.6%	327	17.2%	787	20.9%
その他	485	8.5%	163	8.6%	322	8.5%
合計	11,018	194.1%	3,666	192.3%	7,352	195.1%

→プログラムが楽しい理由としては、「普段あまりやらないことができるため」65.7%、「未体験のことができるため」43.5%の順に高かった。利用区分の属性による差は見られなかった。

(1)-2 1で「つまらない」を選択した方のみ **複数選択**

つまらないと思っている理由

[n=786]



選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
内容がつまらない・おもしろくないため	55	7.0%	21	7.2%	34	6.9%
友達とうまくなじめない・話せないため	63	8.0%	29	10.0%	34	6.9%
ストレスがたまるため	15	1.9%	4	1.4%	11	2.2%
スタッフとかかわれないため	23	2.9%	8	2.7%	15	3.0%
興味のあるプログラムがないため	279	35.5%	110	37.8%	169	34.1%
その他	455	57.9%	161	55.3%	294	59.4%
合計	890	113.2%	333	114.4%	557	112.5%

→全体の 35.5%が「興味のあるプログラムがないため」つまらないと回答。57.9%の回答があった「その他」については、内訳は未聴取。

(2) プログラムの参加には意欲的ですか。

※現在プログラムが行われていない場合には、コロナ禍以前の状況を回答

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
参加したがる	3,269	50.6%	1,091	49.7%	2,178	51.1%
参加したがる	462	7.2%	169	7.7%	293	6.9%
プログラムが行われていない	694	10.7%	162	7.4%	532	12.5%
わからない	2,036	31.5%	775	35.3%	1,261	29.6%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→プログラムに「参加したがる」児童が全体の50.6%を占めた。

(3) 事前申込が必要となるプログラムの参加状況

[n=6,461]

【保護者】

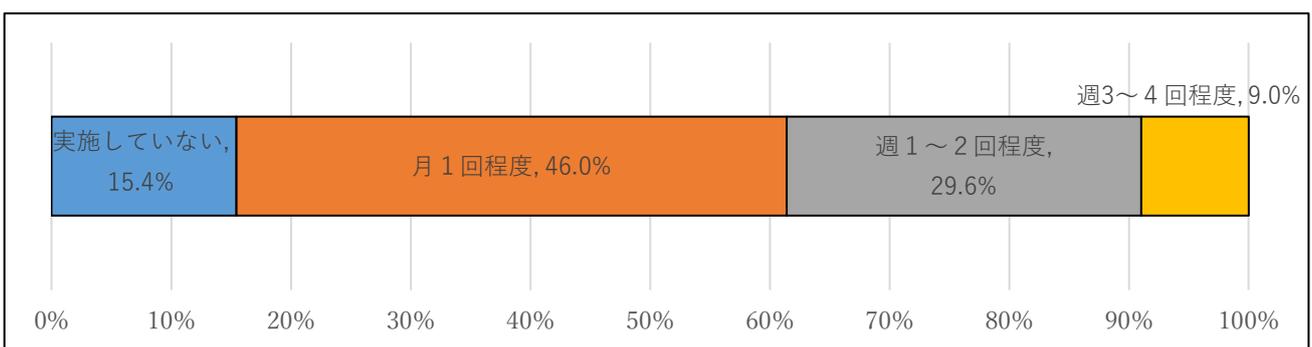
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
内容にかかわらずほぼ毎回参加している	718	11.1%	92	4.2%	626	14.7%
時々参加してる	2,189	33.9%	741	33.7%	1,448	34.0%
参加したいがタイミングが合わない	1,851	28.6%	855	38.9%	996	23.4%
プログラムがそもそもない	1,703	26.4%	509	23.2%	1,194	28.0%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→事前申し込みが必要となるプログラムに、「内容にかかわらずほぼ毎回参加している」「時々参加している」との回答が全体の45.0%を占めた。一方で、26.4%が「プログラムがそもそもない」と回答。

(4) 令和3年4月～9月の間に1か月あたりに実施したプログラムの回数

[n=324]

【主任】

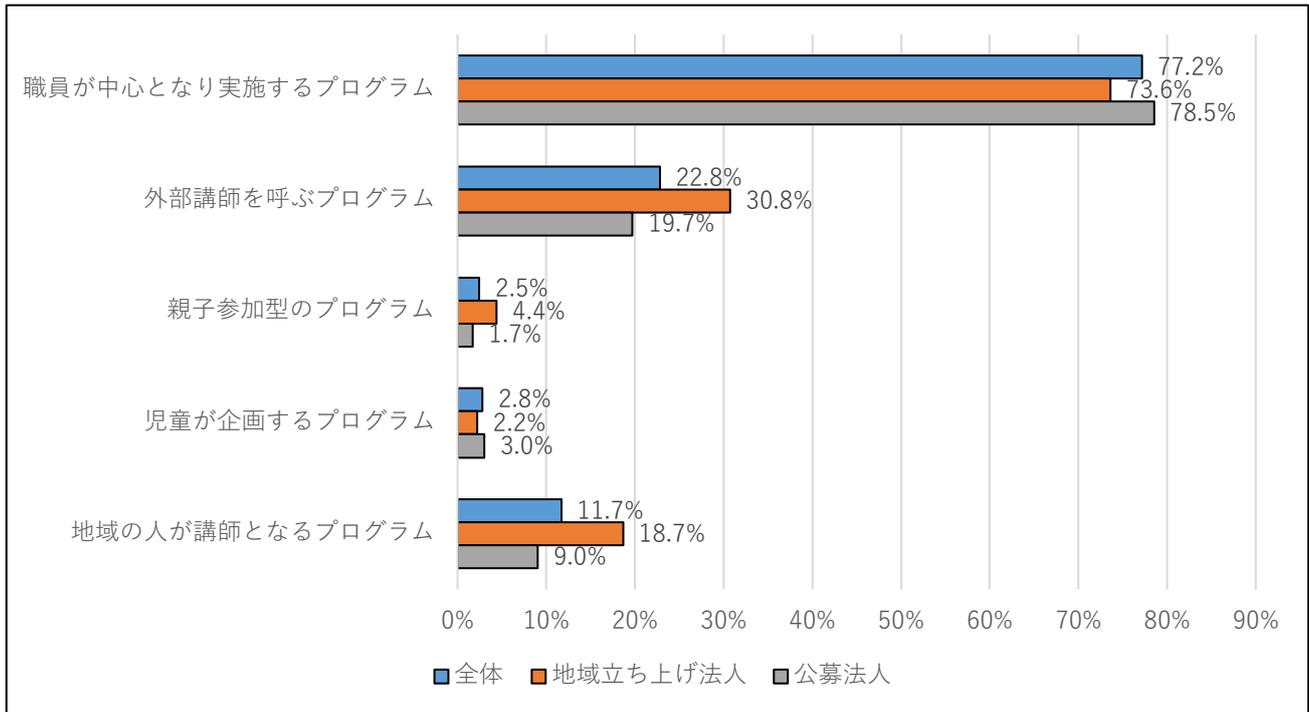


選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
実施していない	50	15.4%	12	13.2%	38	16.3%
月1回程度	149	46.0%	47	51.6%	102	43.8%
週1～2回程度	96	29.6%	22	24.2%	74	31.8%
週3～4回程度	29	9.0%	10	11.0%	19	8.2%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→プログラムの実施頻度は「月1回程度」が全体の46.0%を占めた。一方で、15.4%が実施していないと回答

(4)-1 上記で実施しているプログラムの内容 複数選択

[n=274]



選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
職員が中心となり実施するプログラム	250	77.2%	67	73.6%	183	78.5%
外部講師を呼ぶプログラム	74	22.8%	28	30.8%	46	19.7%
親子参加型のプログラム	8	2.5%	4	4.4%	4	1.7%
児童が企画するプログラム	9	2.8%	2	2.2%	7	3.0%
地域の方が講師となるプログラム	38	11.7%	17	18.7%	21	9.0%
合計	379	117.0%	118	129.7%	261	112.0%

→実施しているプログラムの内容としては、全体の 77.2%が「職員が中心となり実施するプログラム」と回答し、一番高かった。「外部講師を呼ぶプログラム」、「地域の方が講師となるプログラム」については、地域立ち上げ法人の回答が公募法人よりも大きく上回った。

(5) 令和3年4月～9月の間に地域の方々と連携したプログラムの実施

[n=324]

【主任】

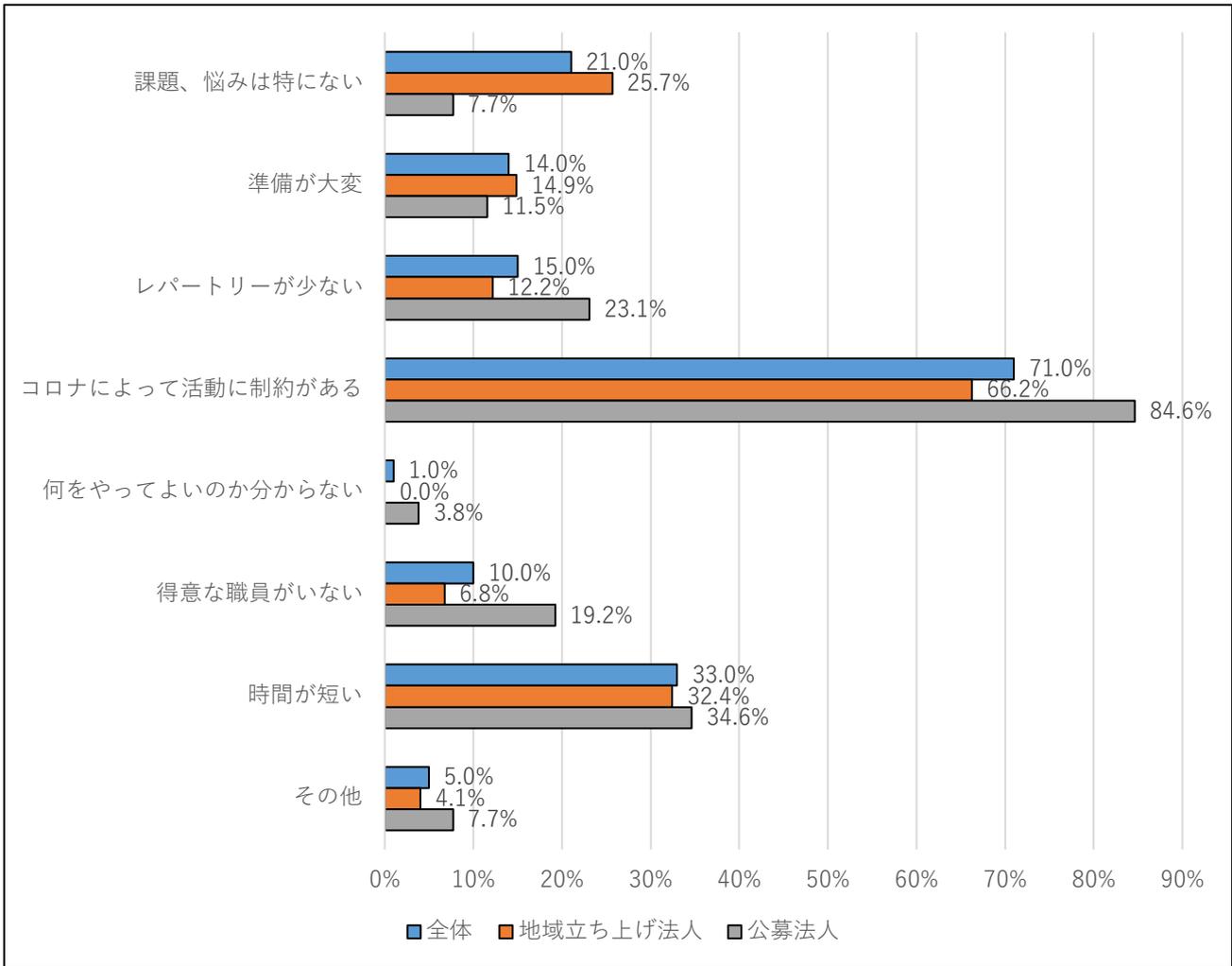
選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
実施している	43	13.3%	19	20.9%	24	10.3%
実施していたが、新型コロナの影響により、現在はしていない	166	51.2%	56	61.5%	110	47.2%
実施していない	115	35.5%	16	17.6%	99	42.5%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→全体の 51.2%が「実施していたが、新型コロナの影響により、(プログラムを)現在はしていない」と回答。公募法人の 42.5%が「実施していない」と回答し、地域立ち上げ法人に 17.6%よりも高かった。

(6) プログラムに関する課題や悩みはありますか。複数選択

[n=100【運営法人】、324【主任】]

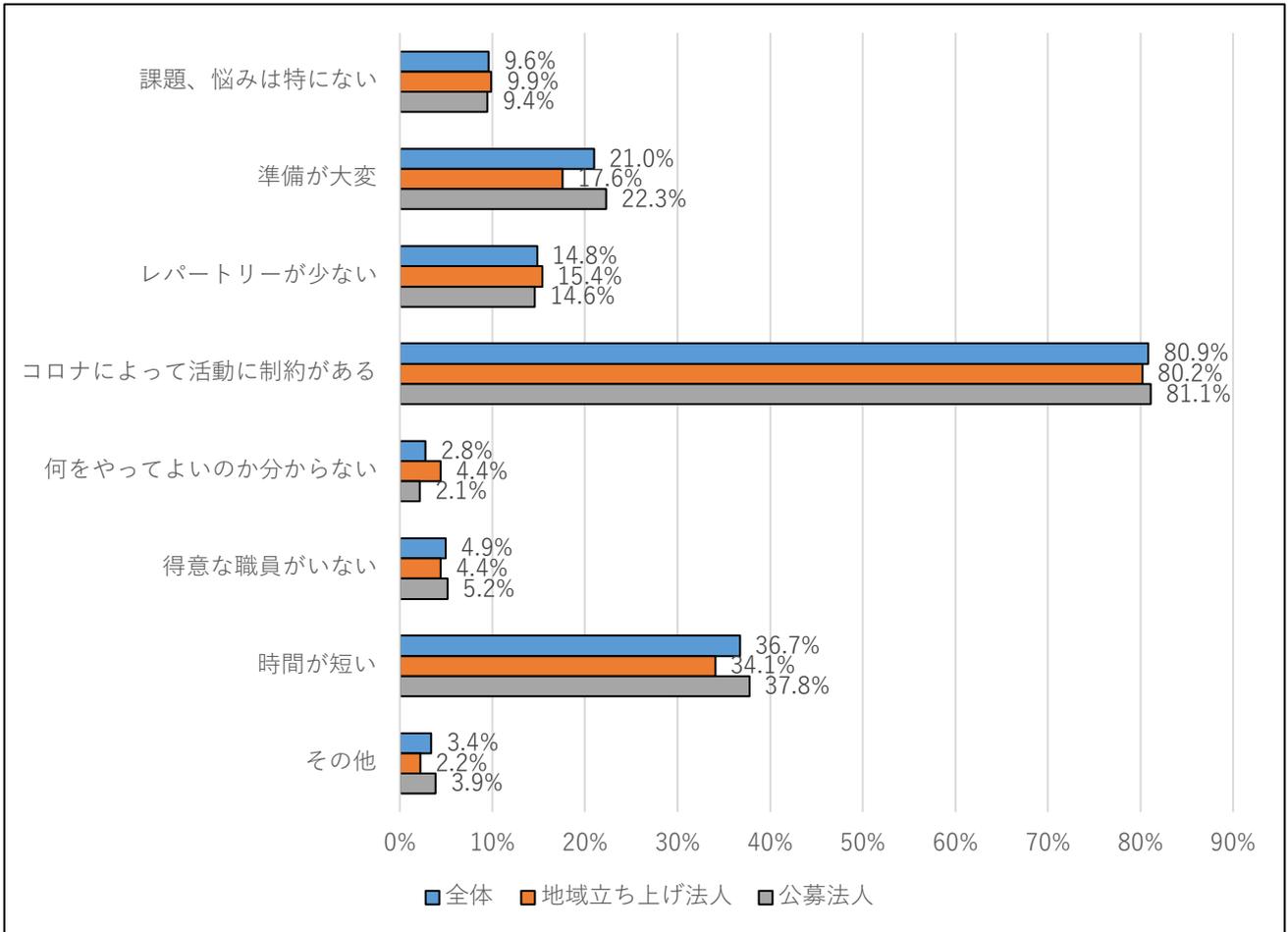
【運営法人】



選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
課題、悩みは特にない	21	21.0%	19	25.7%	2	7.7%
準備が大変	14	14.0%	11	14.9%	3	11.5%
レポーターが少ない	15	15.0%	9	12.2%	6	23.1%
コロナによって活動に制約がある	71	71.0%	49	66.2%	22	84.6%
何をやってよいのか分からない	1	1.0%	0	0.0%	1	3.8%
得意な職員がいない	10	10.0%	5	6.8%	5	19.2%
時間が短い	33	33.0%	24	32.4%	9	34.6%
その他	5	5.0%	3	4.1%	2	7.7%
合計	170	170.0%	120	162.2%	50	192.3%

→「コロナによって活動に制約がある」が最も高く、71.0%であった。「課題、悩みは特にない」は地域立ち上げ法人が25.7%と公募法人より高い割合となっている。

【主任】



選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
課題、悩みは特にはない	31	9.6%	9	9.9%	22	9.4%
準備が大変	68	21.0%	16	17.6%	52	22.3%
レパートリーが少ない	48	14.8%	14	15.4%	34	14.6%
コロナによって活動に制約がある	262	80.9%	73	80.2%	189	81.1%
何をやってよいのか分からない	9	2.8%	4	4.4%	5	2.1%
得意な職員がいない	16	4.9%	4	4.4%	12	5.2%
時間が短い	119	36.7%	31	34.1%	88	37.8%
その他	11	3.4%	2	2.2%	9	3.9%
合計	564	174.1%	153	168.1%	411	176.4%

→「コロナによって活動に制約がある」が最も高く全体で 80.9%が回答。次いで「時間が短い」「準備が大変」が高い。

(7) プログラムに取り組むにあたっての必要な支援 **複数選択**

[n=100【運営法人】、324【主任】]

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
簡単に取り組める事例集	52	52.0%	41	55.4%	11	42.3%
簡単に取り組める事例の紹介（動画）	35	35.0%	22	29.7%	13	50.0%
民間事業者と連携して取り組める活動の斡旋	39	39.0%	26	35.1%	13	50.0%
地域で活動する方との連携支援	45	45.0%	27	36.5%	18	69.2%
追加の予算	19	19.0%	13	17.6%	6	23.1%
合計	190	190.0%	129	174.3%	61	234.6%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
簡単に取り組める事例集	162	50.0%	52	57.1%	110	47.2%
簡単に取り組める事例の紹介（動画）	90	27.8%	31	34.1%	59	25.3%
民間事業者と連携して取り組める活動の斡旋	124	38.3%	31	34.1%	93	39.9%
地域で活動する方との連携支援	129	39.8%	31	34.1%	98	42.1%
プログラムの特例以上の時間	68	21.0%	19	20.9%	49	21.0%
追加の予算	51	15.7%	13	14.3%	38	16.3%
合計	624	192.6%	177	194.5%	447	191.8%

→運営法人のうち、公募法人のみ「地域で活動する方との連携支援」が最も高く69.2%が回答。

(8) 土曜日に親子参加ができるプログラムを実施した場合、参加したいと思いますか。

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
参加したい	2,870	44.4%	929	42.3%	1,941	45.5%
参加したいが、参加は難しい	2,432	37.6%	779	35.5%	1,653	38.8%
参加したくない	1,159	17.9%	489	22.3%	670	15.7%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→全体の82.0%が「参加したい」「参加したいが、参加は難しい」と回答

(8)-1 (8)で「参加したいが参加は難しい」「参加したくない」と選択した理由 **複数選択**

[n=3,591]

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
時間が合わない又は時間がないため	1,904	53.0%	578	45.6%	1,326	57.1%
お金がかかることがあるため	84	2.3%	36	2.8%	48	2.1%
子どものみで活動するキッズクラブのプログラムもこれまで参加させていないため	86	2.4%	40	3.2%	46	2.0%
子どもが参加したがらないため	228	6.3%	109	8.6%	119	5.1%
土曜日は家族で過ごすため	1,470	40.9%	561	44.2%	909	39.1%
その他	660	18.4%	231	18.2%	429	18.5%
合計	4,432	123.4%	1,555	122.6%	2,877	123.8%

→「時間が合わない又は時間がないため」が最も多く、全体で53.0%が回答。次いで多い回答が「土曜日は家族で過ごすため」で、全体の40.9%が回答

3 保護者との関わりについて

(1)クラブでのお子さんの活動についてどのように把握していますか。**複数選択**

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
スタッフから聞いている	1,643	25.4%	276	12.6%	1,367	32.1%
キッズニュースで把握している	1,273	19.7%	396	18.0%	877	20.6%
子ども本人から聞いている	5,355	82.9%	1,701	77.4%	3,654	85.7%
特に把握していない	764	11.8%	389	17.7%	375	8.8%
合計	9,035	139.8%	2,762	125.7%	6,273	147.1%

→全体の82.9%が「子ども本人から聞いている」と回答。わくわく【区分1】の17.7%が「特に把握していない」と回答

(1)-1 保護者への情報発信はどのような方法で行っていますか。**複数選択**

[n=100【運営法人】、324【主任】]

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
キッズニュース	98	98.0%	72	97.3%	26	100.0%
メール配信	64	64.0%	48	64.9%	16	61.5%
お迎え時	74	74.0%	53	71.6%	21	80.8%
保護者会	44	44.0%	30	40.5%	14	53.8%
SNS	12	12.0%	7	9.5%	5	19.2%
その他	10	10.0%	9	12.2%	1	3.8%
合計	302	302.0%	219	295.9%	83	319.2%

→全体の98.0%が「キッズニュース」と回答。次いで高いのは「お迎え時」で、全体で74.0%だった。

【主任】

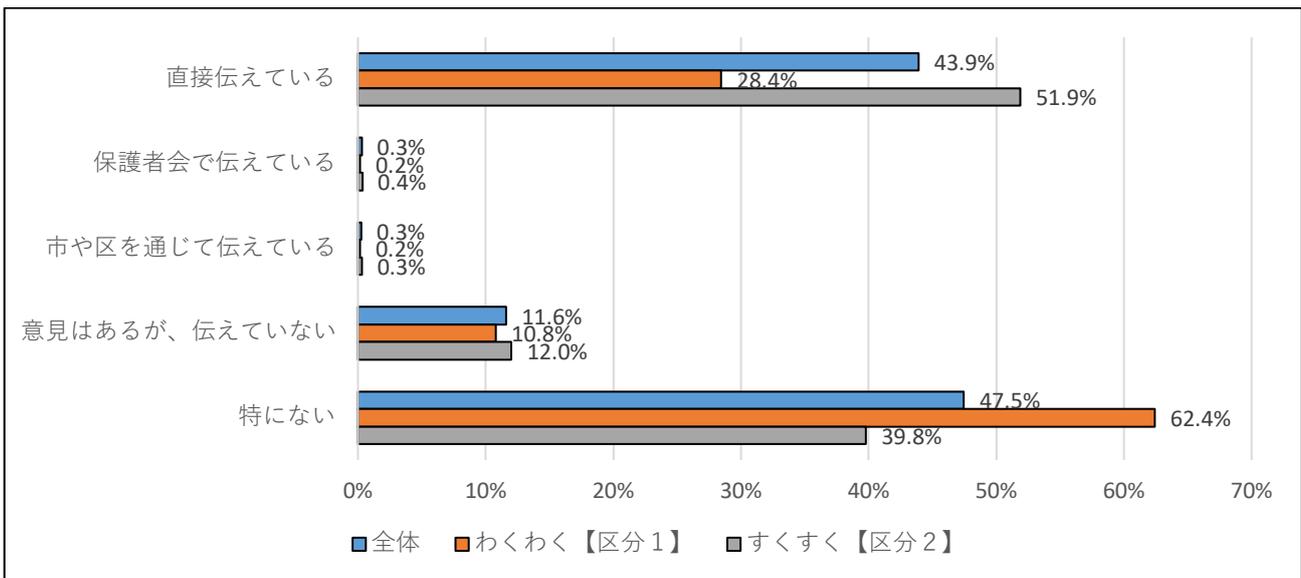
選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
キッズニュース	321	99.1%	91	100.0%	230	98.7%
メール配信	236	72.8%	61	67.0%	175	75.1%
お迎え時	256	79.0%	71	78.0%	185	79.4%
保護者会	108	33.3%	28	30.8%	80	34.3%
SNS	14	4.3%	3	3.3%	11	4.7%
その他	19	5.9%	7	7.7%	12	5.2%
合計	954	294.4%	261	286.8%	693	297.4%

→全体の99.1%が「キッズニュース」と回答。次いで高いのは運営法人と変わらず「お迎え時」で79.0%だった。

(2)クラブに対して意見がある際、どういった対応をされていますか。複数選択

[n=6,461]

【保護者】



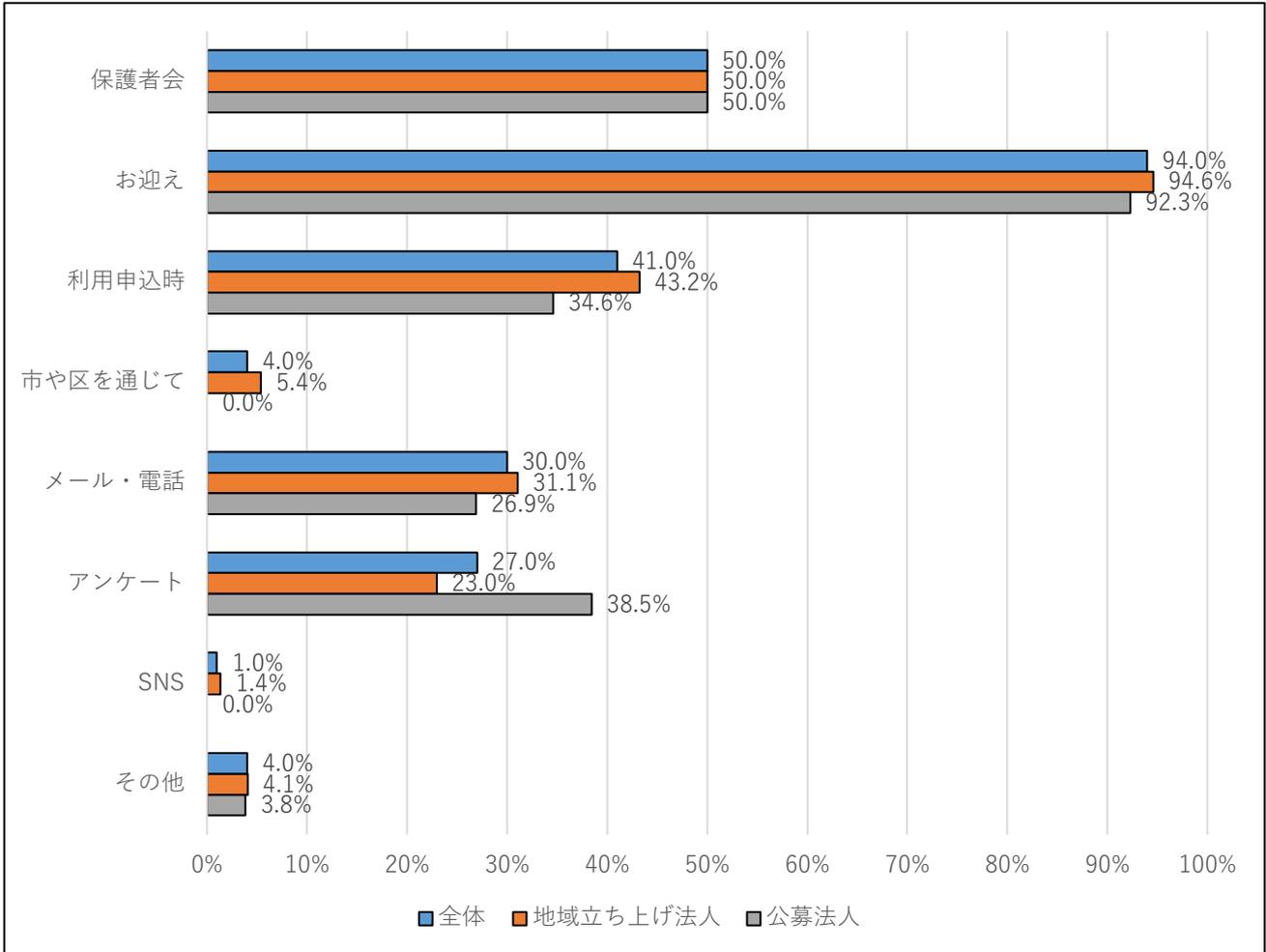
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
直接伝えている	2,837	43.9%	625	28.4%	2,212	51.9%
保護者会で伝えている	19	0.3%	4	0.2%	15	0.4%
市や区を通じて伝えている	17	0.3%	4	0.2%	13	0.3%
意見はあるが、伝えていない	749	11.6%	237	10.8%	512	12.0%
特にない	3,067	47.5%	1,371	62.4%	1,696	39.8%
合計	6,689	103.5%	2,241	102.0%	4,448	104.3%

→わくわく【区分1】の 62.4%が「特にない」と回答。すくすく【区分2】では「直接伝えている」が 51.9%と最も高い。

(2)-1 保護者からの意見を聞く機会はどこが多いですか。【複数選択】

[n=100【運営法人】、324【主任】]

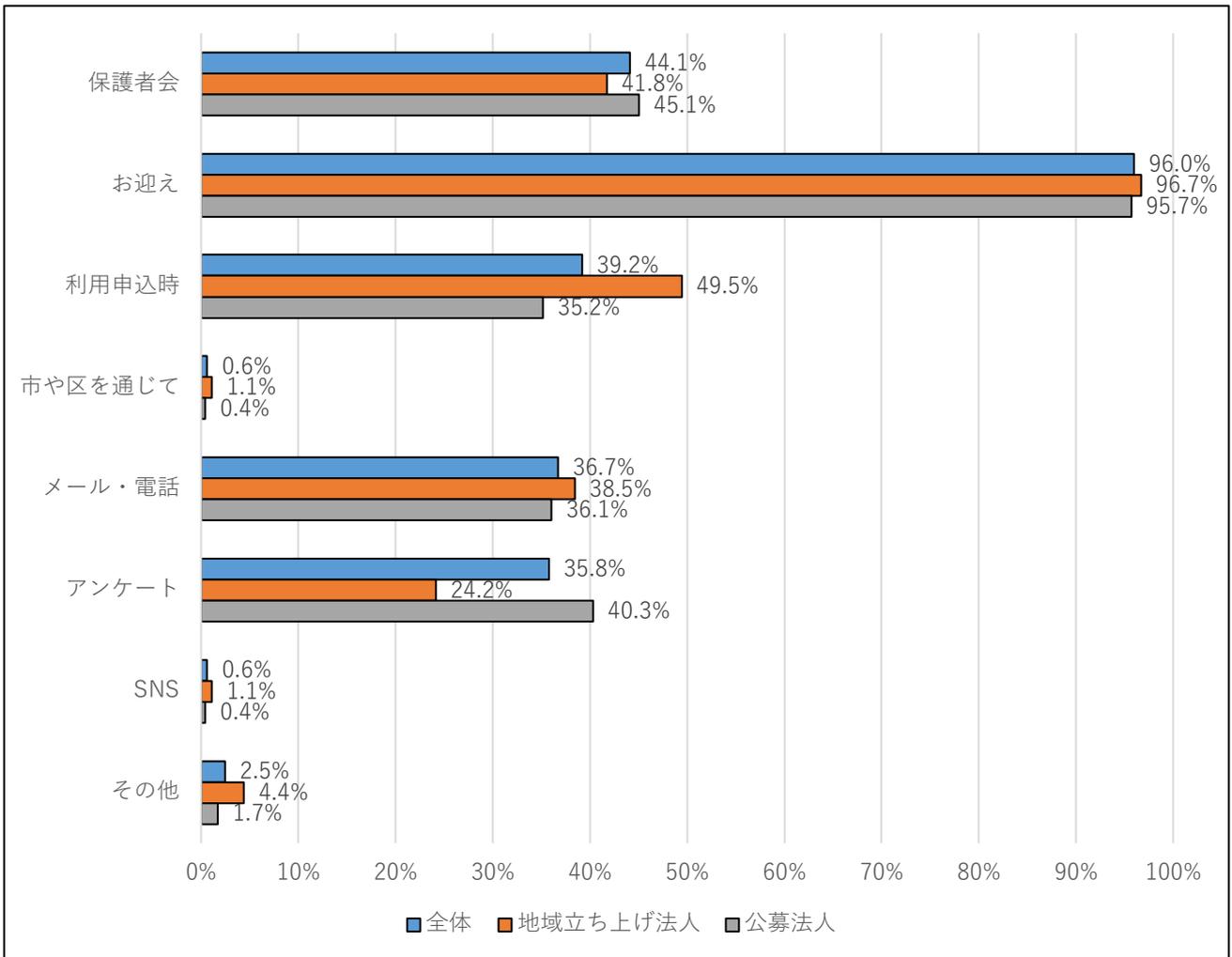
【運営法人】



選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
保護者会	50	50.0%	37	50.0%	13	50.0%
お迎え	94	94.0%	70	94.6%	24	92.3%
利用申込時	41	41.0%	32	43.2%	9	34.6%
市や区を通じて	4	4.0%	4	5.4%	0	0.0%
メール・電話	30	30.0%	23	31.1%	7	26.9%
アンケート	27	27.0%	17	23.0%	10	38.5%
SNS	1	1.0%	1	1.4%	0	0.0%
その他	4	4.0%	3	4.1%	1	3.8%
合計	251	251.0%	187	252.7%	64	246.2%

→全体の94.0%が「お迎え」と回答。次いで50.0%が「保護者会」と回答。

【主任】



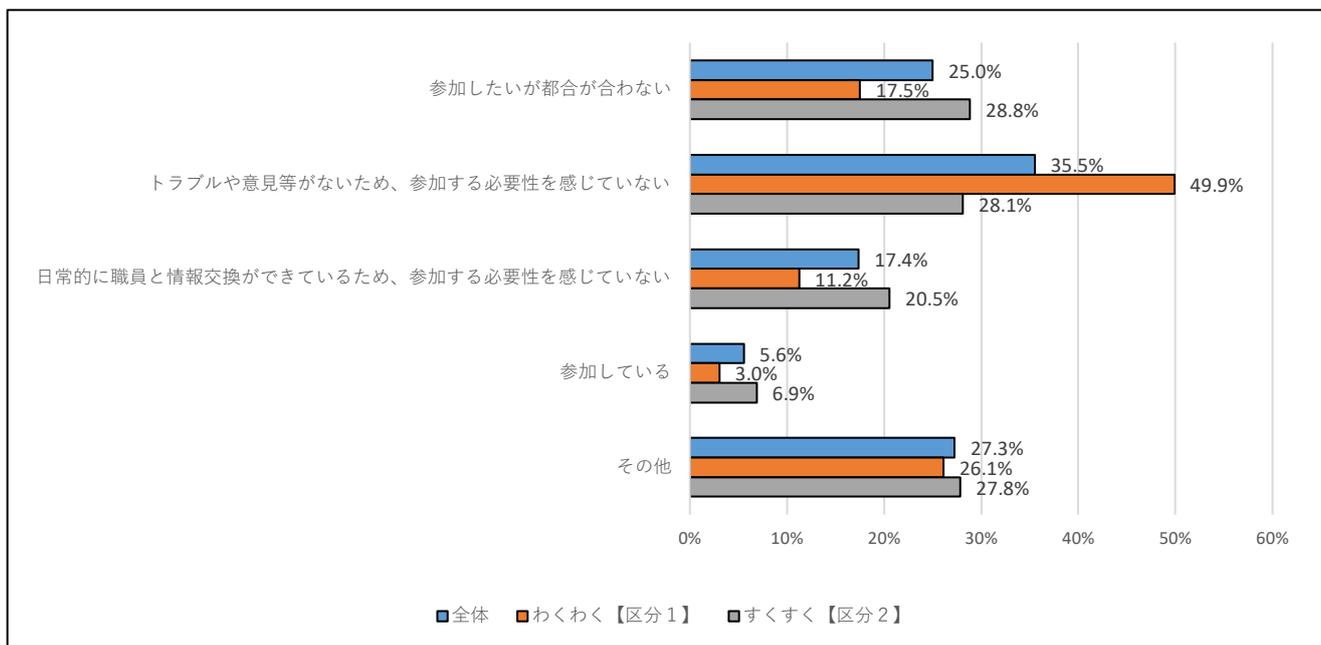
選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
保護者会	143	44.1%	38	41.8%	105	45.1%
お迎え	311	96.0%	88	96.7%	223	95.7%
利用申込時	127	39.2%	45	49.5%	82	35.2%
市や区を通じて	2	0.6%	1	1.1%	1	0.4%
メール・電話	119	36.7%	35	38.5%	84	36.1%
アンケート	116	35.8%	22	24.2%	94	40.3%
SNS	2	0.6%	1	1.1%	1	0.4%
その他	8	2.5%	4	4.4%	4	1.7%
合計	828	255.6%	234	257.1%	594	254.9%

→最も高いのは「お迎え」で全体の 96.0%が回答した。「アンケート」は公募法人が 40.3%であり、地域立ち上げ法人より高い構成率になっている。

(3)クラブでは半年に1回以上保護者会を開催することとしていますが、保護者会への参加率が低いことが課題となっています。保護者会についてどう感じていますか。**複数選択**

[n=6,461]

【保護者】



選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
参加したいが都合が合わない	1,614	25.0%	385	17.5%	1,229	28.8%
トラブルや意見等がないため、参加する必要性を感じていない	2,294	35.5%	1,096	49.9%	1,198	28.1%
日常的に職員と情報交換ができているため、参加する必要性を感じていない	1,123	17.4%	247	11.2%	876	20.5%
参加している	360	5.6%	67	3.0%	293	6.9%
その他	1,761	27.3%	574	26.1%	1,187	27.8%
合計	7,152	110.7%	2,369	107.8%	4,783	112.2%

→「参加している」が最も低く、全体で 5.6%。わくわく【区分1】の 61.1%が「参加する必要性を感じていない」と回答。すくすく【区分2】の 28.8%が「参加したいが都合が合わない」と回答

(3)-1 保護者会の参加率(参加人数/登録人数)

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
10%未満	255	78.7%	65	71.4%	190	81.5%
10～19%	43	13.3%	15	16.5%	28	12.0%
20～29%	12	3.7%	5	5.5%	7	3.0%
30～39%	5	1.5%	3	3.3%	2	0.9%
40～49%	2	0.6%	1	1.1%	1	0.4%
50～59%	5	1.5%	2	2.2%	3	1.3%
60～69%	2	0.6%	0	0.0%	2	0.9%
70%以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→10%未満が最も多く、78.7%が回答。地域立ち上げ法人が 71.4%であるのに対し、公募法人は 81.5% だった。

(3)-2 保護者会は必要だと思いますか。

[n=100【運営法人】、324【主任】]

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
必要	61	61.0%	43	58.1%	18	69.2%
必要なし	39	39.0%	31	41.9%	8	30.8%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

→「必要」という回答のほうが多く61.0%だった。内訳は公募法人のほうが高く69.2%だった。

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
必要	185	57.1%	54	59.3%	131	56.2%
必要なし	139	42.9%	37	40.7%	102	43.8%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→「必要」という回答のほうが多く57.1%だった。内訳は運営法人とは異なり、地域立ち上げ法人のほうが高く、運営法人ほどの差はみられない。

(4)保護者会で知りたいと思う情報 複数選択

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
プログラムの予定	2,732	42.3%	987	44.9%	1,745	40.9%
こどもの様子	5,260	81.4%	1,683	76.6%	3,577	83.9%
運営法人の経営方針	937	14.5%	315	14.3%	622	14.6%
働いている職員に関すること	1,650	25.5%	531	24.2%	1,119	26.2%
活動場所	962	14.9%	314	14.3%	648	15.2%
おやつメニュー	800	12.4%	141	6.4%	659	15.5%
緊急時の対応方法	1,800	27.9%	551	25.1%	1,249	29.3%
その他	267	4.1%	93	4.2%	174	4.1%
合計	14,408	223.0%	4,615	210.1%	9,793	229.7%

「その他」と回答した方の主な意見

- ・特になし 144 件
- ・キッズ内のルールや子どもの遊び方について 36 件
- ・定例の保護者会は不要 29 件

→81.4%の保護者が「こどもの様子」と回答。次いで高いのは「プログラムの予定」で42.3%が回答した。

(5)保護者会について、参加しやすい時間帯 複数選択

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
平日午前	729	11.3%	519	23.6%	210	4.9%
平日午後の授業が終わるまで	611	9.5%	378	17.2%	233	5.5%
平日17時頃	616	9.5%	119	5.4%	497	11.7%
平日19時頃	431	6.7%	64	2.9%	367	8.6%
平日19時以降	258	4.0%	27	1.2%	231	5.4%
土曜日午前	1,850	28.6%	373	17.0%	1,477	34.6%
土曜日午後	1,076	16.7%	182	8.3%	894	21.0%
日曜日	827	12.8%	138	6.3%	689	16.2%
授業参観日	2,544	39.4%	740	33.7%	1,804	42.3%
学校休業日	117	1.8%	27	1.2%	90	2.1%
日時に関係なく参加したいと思わない	845	13.1%	379	17.3%	466	10.9%
その他	322	5.0%	130	5.9%	192	4.5%
合計	10,226	158.3%	3,076	140.0%	7,150	167.7%

→「授業参観日」が最も多いのは共通しているが、次に高いのはわくわく【区分1】については「平日午前」、すくすく【区分2】は「土曜日午前」という結果になった。

(6)保護者会をオンラインで開催する場合、参加したいと思いますか。

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
参加したい	659	10.2%	134	6.1%	525	12.3%
都合が合えば参加したい	4,077	63.1%	1,301	59.2%	2,776	65.1%
参加したくない	1,725	26.7%	762	34.7%	963	22.6%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→73.3%の保護者が「参加したい」「都合が合えば参加したい」と回答した。内訳としては、すくすく【区分2】のほうが高い。

(7)保護者会をオンラインで実施したことがありますか。

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
ある	3	0.9%	1	1.1%	2	0.9%
ない	321	99.1%	90	98.9%	231	99.1%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→オンライン開催したことがあるクラブは3クラブしかなく、全体の0.9%だった。

(7)-1 保護者会をオンラインで実施したクラブの感想等

・対面形式のほうが、全体の雰囲気わかりやすいが、コロナ禍であったので、開催できてよかった。

(8)保護者会の代わりになると思うものはありますか。

[n=100【運営法人】、324【主任】]

【運営法人】

選択肢	回答数
回答記入があった方	50
「特になし」と記入した方	50
合計	100

→主な回答(複数の意見を出している場合、1件とカウント)

- ・保護者も参加できるイベントの実施 13 件
- ・保護者へのアンケート 8件
- ・Web を利用した保護者との交流 6件

【主任】

選択肢	回答数
回答記入があった方	75
「特になし」と記入した方	249
合計	324

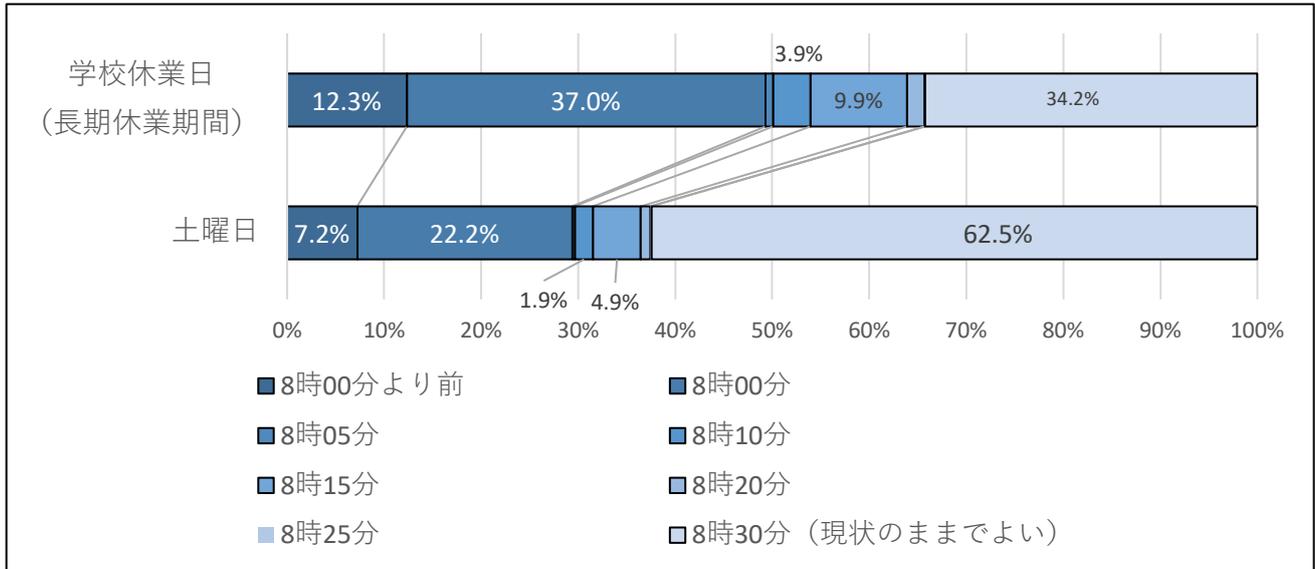
→主な回答(複数の意見を出している場合、1件とカウント)

- ・親子参加型イベント 54 件
- ・アンケートや手紙など Web や書面での交流 35 件

4 学校の長期休業期間、土曜日の利用について

【保護者】 学校休業日と土曜日において希望する開所時間(すくすく【区分2】のみ)

[n=4,264]



(1) 学校休業日において希望する開所時間

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
8時00分より前	642	9.9%	116	5.3%	526	12.3%
8時00分	1,967	30.4%	391	17.8%	1,576	37.0%
8時05分	37	0.6%	4	0.2%	33	0.8%
8時10分	198	3.1%	33	1.5%	165	3.9%
8時15分	524	8.1%	100	4.6%	424	9.9%
8時20分	99	1.5%	21	1.0%	78	1.8%
8時25分	3	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
8時30分 (現状のままでよい)	2,991	46.3%	1,532	69.7%	1,459	34.2%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→すくすく【区分2】では 65.8%が現状の開所時間である8時 30 分より前の開所時間を希望している。

(2) 土曜日において希望する開所時間

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
8時00分より前	381	5.9%	73	3.3%	308	7.2%
8時00分	1,223	18.9%	278	12.7%	945	22.2%
8時05分	12	0.2%	0	0.0%	12	0.3%
8時10分	93	1.4%	14	0.6%	79	1.9%
8時15分	274	4.2%	63	2.9%	211	4.9%
8時20分	55	0.9%	13	0.6%	42	1.0%
8時25分	4	0.1%	0	0.0%	4	0.1%
8時30分 (現状のままでよい)	4,419	68.4%	1,756	79.9%	2,663	62.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→すくすく【区分2】では 37.6%が現状の開所時間である8時 30 分より前の開所時間を希望している。

(3) 長期休業期間中の開所時間について前倒して欲しいと要望を受けたことはありますか。

[n=100]

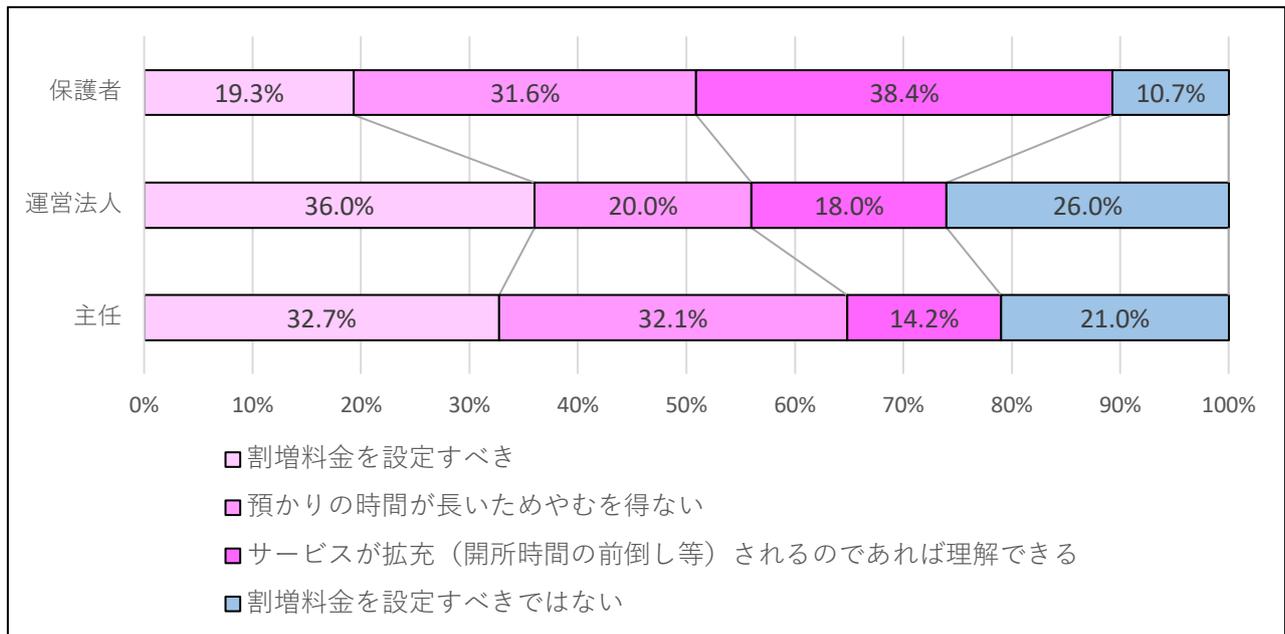
【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
ある	55	55.0%	36	48.6%	19	73.1%
なし	45	45.0%	38	51.4%	7	26.9%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

→地域立ち上げ法人は「要望を受けたことがない」が 51.4%に対し、公募法人の 73.1%が「要望を受けたことがある」と回答

(4) 夏季休業期間中(7月・8月)の割増料金について、どう思いますか。

[n=6,461【保護者】、100【運営法人】、324【主任】]



【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
割増料金の設定は理解できる	1,250	19.3%	553	25.2%	697	16.3%
預かりの時間が長いのでやむを得ない	2,039	31.6%	804	36.6%	1,235	29.0%
サービスが拡充（開所時間の前倒し等）されるのであれば理解できる	2,481	38.4%	689	31.4%	1,792	42.0%
割増料金を設定すべきではない	691	10.7%	151	6.9%	540	12.7%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

「割増料金を設定すべきではない」と回答した方の主な理由

- ・負担が増え、利用しにくくなる。高くなると困る。限界のため価格を現状維持してほしい。139件
- ・現在の価格もサービスに見合った価格に感じない。123件
- ・学校が長期休暇中でも就労、財政など保護者の状況や賃金は変わらない、夏季休業自体やむを得ないため。121件

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
割増料金を設定すべき	36	36.0%	26	35.1%	10	38.5%
預かりの時間が長い ためやむを得ない	20	20.0%	16	21.6%	4	15.4%
サービスが拡充（開所時間の 前倒し等）されるので あれば理解できる	18	18.0%	13	17.6%	5	19.2%
割増料金を設定すべきではない	26	26.0%	19	25.7%	7	26.9%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

「割増料金を設定すべきではない」と回答した方の主な理由

- ・利用者の負担増加の懸念 7件
- ・職員の事務作業増加 5件
- ・利用者減少につながる恐れ 4件

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
割増料金を設定すべき	106	32.7%	30	33.0%	76	32.6%
預かりの時間が長い ためやむを得ない	104	32.1%	26	28.6%	78	33.5%
サービスが拡充（開所時間の 前倒し等）されるので あれば理解できる	46	14.2%	17	18.7%	29	12.4%
割増料金を設定すべきではない	68	21.0%	18	19.8%	50	21.5%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

「割増料金を設定すべきではない」と回答した方の主な理由

- ・保護者の負担が増え、利用が減ると児童の居場所がなくなってしまうため 25件
- ・現状通りで問題ない 8件

→「割増料金を設定すべきではない」という回答は保護者が最も低く 10.7%。「サービスが拡充（開所時間の
前倒し等）されるのであれば理解できる」を含めると、89.3%の保護者が割増料金に理解あり。

(5) 長期休業期間において 開所時間の変更がない場合、夏季休業期間中(7月・8月)の割増料金として、現在の利用料【ゆうやけ(区分2A、17時まで)月額2,000円、ほしぞら(区分2B、19時まで)月額5,000円】に割り増す金額としてふさわしい金額

[n=6,461【保護者】、100【運営法人】、324【主任】]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	1,505	23.3%	603	27.4%	902	21.2%
1000円程度	1,819	28.2%	625	28.4%	1,194	28.0%
2000円程度	952	14.7%	286	13.0%	666	15.6%
3000円程度	401	6.2%	128	5.8%	273	6.4%
4000円程度	37	0.6%	9	0.4%	28	0.7%
5000円程度	136	2.1%	54	2.5%	82	1.9%
0円(割増不可)	1,271	19.7%	351	16.0%	920	21.6%
その他	340	5.3%	141	6.4%	199	4.7%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

「その他」と回答した方の主な理由

- ・わからない、何とも言えない 134 件
- ・一律ではなく、利用日数による金額設定にして欲しい 29 件
- ・内容やサービスの充実度による 24 件

→「1000 円程度」が最も高く、全体の 28.2%が回答。わくわく【区分1】で次に高いのは「500 円程度」で 27.4%。すくすく【区分2】については「0 円(割増不可)」次に高く 21.6%

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	10	10.0%	7	9.5%	3	11.5%
1000円程度	20	20.0%	17	23.0%	3	11.5%
2000円程度	9	9.0%	7	9.5%	2	7.7%
3000円程度	11	11.0%	7	9.5%	4	15.4%
4000円程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5000円程度	5	5.0%	3	4.1%	2	7.7%
0円(割増不可)	31	31.0%	23	31.1%	8	30.8%
その他	14	14.0%	10	13.5%	4	15.4%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

「その他」と回答した方の主な理由

- ・わからない 2件
- ・ゆうやけを増額 2件
- ・利用日数に応じた設定 1件

→全体の 31.0%が「0 円(割増不可)」と回答

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	36	11.1%	12	13.2%	24	10.3%
1000円程度	60	18.5%	19	20.9%	41	17.6%
2000円程度	53	16.4%	11	12.1%	42	18.0%
3000円程度	40	12.3%	12	13.2%	28	12.0%
4000円程度	2	0.6%	0	0.0%	2	0.9%
5000円程度	15	4.6%	3	3.3%	12	5.2%
0円（割増不可）	89	27.5%	26	28.6%	63	27.0%
その他	29	9.0%	8	8.8%	21	9.0%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

「その他」と回答した方の主な理由

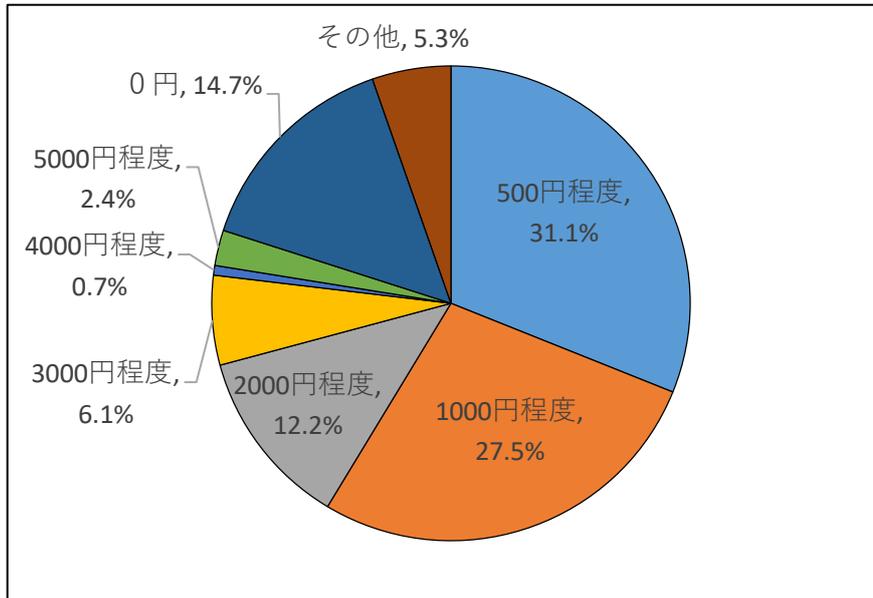
- ・ゆうやけのみ増額 6件
- ・利用する時間や回数、区分により変動料金を徴収 6件
- ・金額について考えていない、相応しい金額がわからない 5件
- ・共に倍額 4件

→全体の27.5%が「0円(割増不可)」と回答

(6) 長期休業期間において開所時間を現在の8時 30 分から 15 分～30 分程度前倒しをした場合、夏季休業期間中(7月・8月)の割増料金として、現在の利用料【ゆうやけ(区分2A、17 時まで)月額 2,000 円、ほしぞら(区分2B、19 時まで)月額 5,000 円]に割り増す金額としてふさわしい金額

[n=6,461【保護者】、100【運営法人】、324【主任】]

【保護者】(すくすく【区分2】のみ[n=4,264])



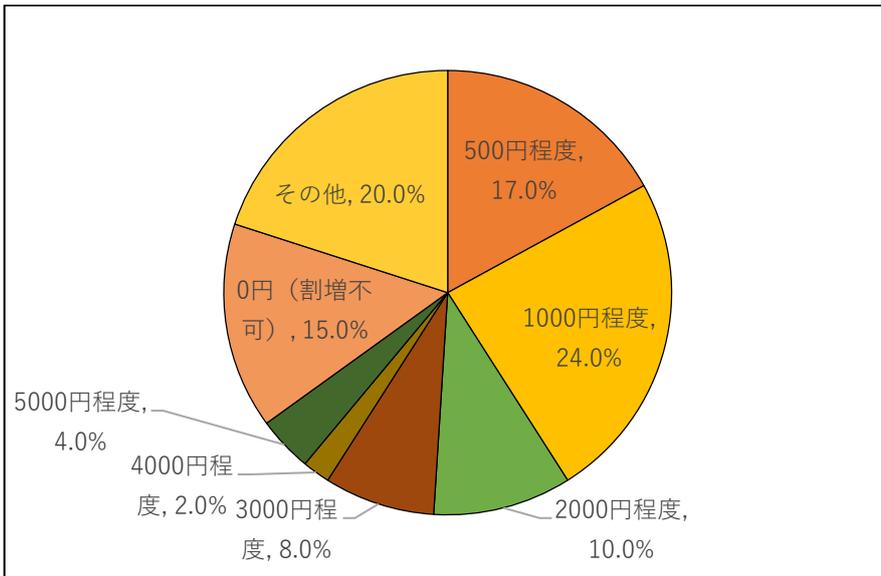
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	2,153	33.3%	827	37.6%	1,326	31.1%
1000円程度	1,724	26.7%	550	25.0%	1,174	27.5%
2000円程度	736	11.4%	217	9.9%	519	12.2%
3000円程度	368	5.7%	108	4.9%	260	6.1%
4000円程度	45	0.7%	17	0.8%	28	0.7%
5000円程度	147	2.3%	44	2.0%	103	2.4%
0円	924	14.3%	297	13.5%	627	14.7%
その他	364	5.6%	137	6.2%	227	5.3%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

「その他」と回答した方の主な理由

- ・わからない 93 件
- ・対象時間利用者にだけ割増しすべき 53 件
- ・1000 円以下の金額を希望したい 22 件

→すくすく【区分2】の31.1%が「500円程度」と回答。次いで27.5%が「1000円程度」と回答

【運営法人】



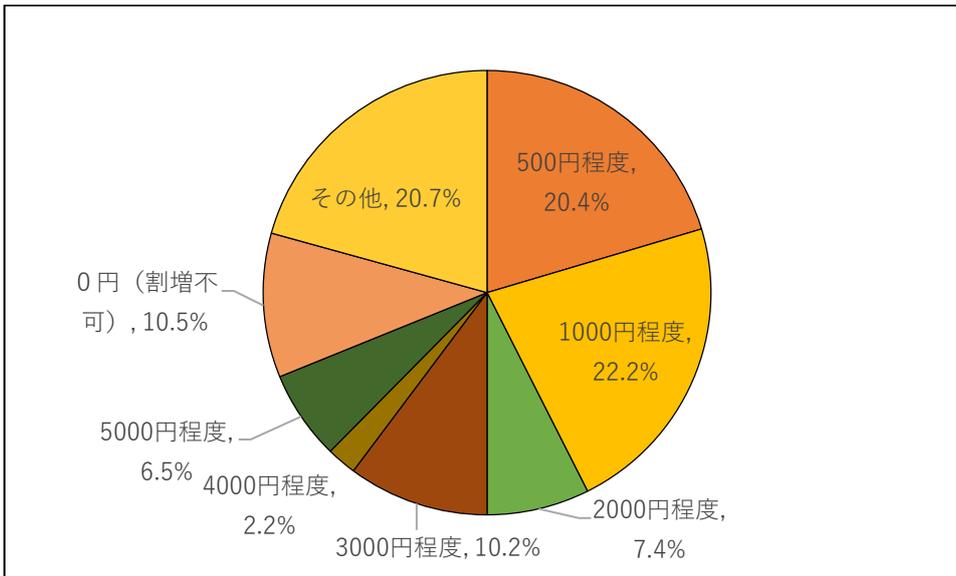
選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	17	17.0%	12	16.2%	5	19.2%
1000円程度	24	24.0%	17	23.0%	7	26.9%
2000円程度	10	10.0%	7	9.5%	3	11.5%
3000円程度	8	8.0%	6	8.1%	2	7.7%
4000円程度	2	2.0%	2	2.7%	0	0.0%
5000円程度	4	4.0%	3	4.1%	1	3.8%
0円 (割増不可)	15	15.0%	11	14.9%	4	15.4%
その他	20	20.0%	16	21.6%	4	15.4%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

「その他」と回答した方の主な理由

- ・前倒しによる現場の負担増 6件
- ・開所時間前倒しに賛成ではない 5件
- ・場合によって価格を変えて増額 3件

→最も高いのは「1000円程度」で24.0%を占める。次いで高いのは、「500円程度」の17.0%

【主任】



選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
500円程度	66	20.4%	19	29.2%	47	27.6%
1000円程度	72	22.2%	19	29.2%	53	31.2%
2000円程度	24	7.4%	8	12.3%	16	9.4%
3000円程度	33	10.2%	7	10.8%	26	15.3%
4000円程度	7	2.2%	1	1.5%	6	3.5%
5000円程度	21	6.5%	4	6.2%	17	10.0%
0円 (割増不可)	34	10.5%	11	16.9%	23	13.5%
その他	67	20.7%	22	33.8%	45	26.5%
合計	324	100.0%	91	140.0%	233	137.1%

「その他」と回答した方の主な理由

- ・前倒しを行うと職員の負担や現場の混乱に繋がる為すべきでない 36 件
- ・希望者のみ利用時間や日数により変動料金を徴収 15 件
- ・妥当な金額がわからない 5件

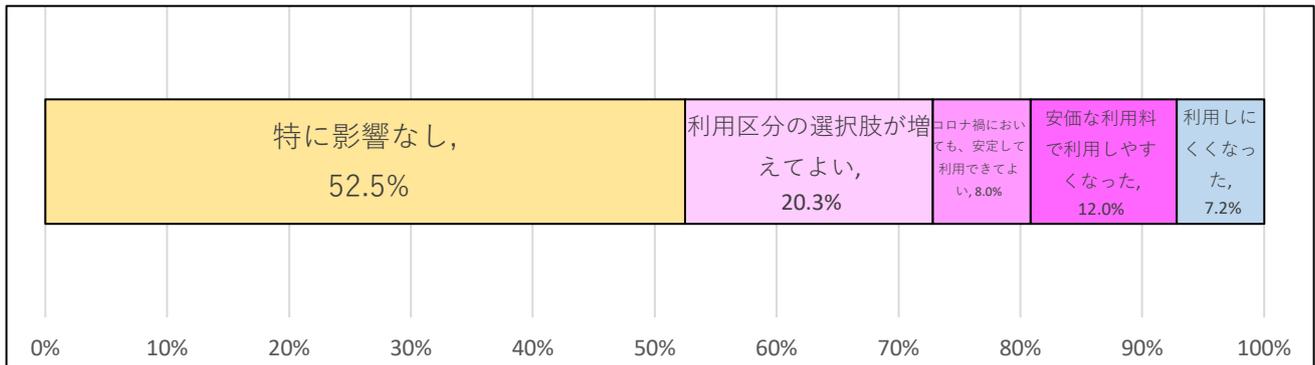
→最も高いのは「1000 円程度」で全体の 22.2%が回答した。次いで高いのは 500 円程度の 20.4%が回答

5 3年度の見直しに関すること

●利用区分の見直し

(1) 新区分を導入したことにより影響はありましたか。

[n=6,461]



【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特に影響なし	3,393	52.5%	1,436	65.4%	1,957	45.9%
利用区分の選択肢が増えてよい	1,313	20.3%	302	13.7%	1,011	23.7%
コロナ禍においても、安定して利用できてよい	517	8.0%	38	1.7%	479	11.2%
安価な利用料で利用しやすくなった	776	12.0%	67	3.0%	709	16.6%
利用しにくくなった	462	7.2%	354	16.1%	108	2.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→「特に影響なし」が最も多く、52.5%を占めた。また、肯定的な意見（「利用区分の選択肢が増えてよい」「コロナ禍においても、安定して利用出来てよい」「安価な利用料で利用しやすくなった」）を回答した方が全体の40.3%を占めた。わくわく【区分1】の16.1%が利用しにくくなったと回答

(2) わくわく【区分1】の方のみ。令和3年4月から8月の間の「遊びの場」の利用状況として、もっとも当てはまるのはどれですか。

[n=2,197]

【保護者】

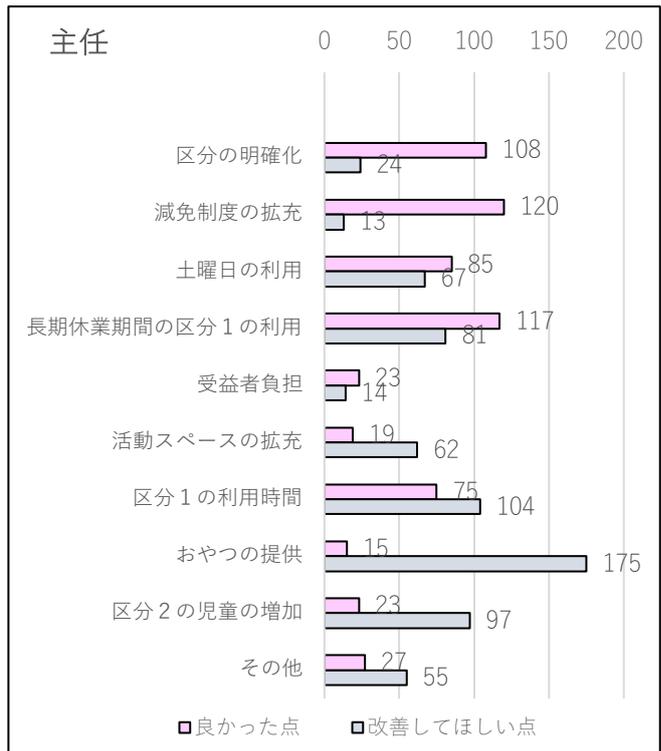
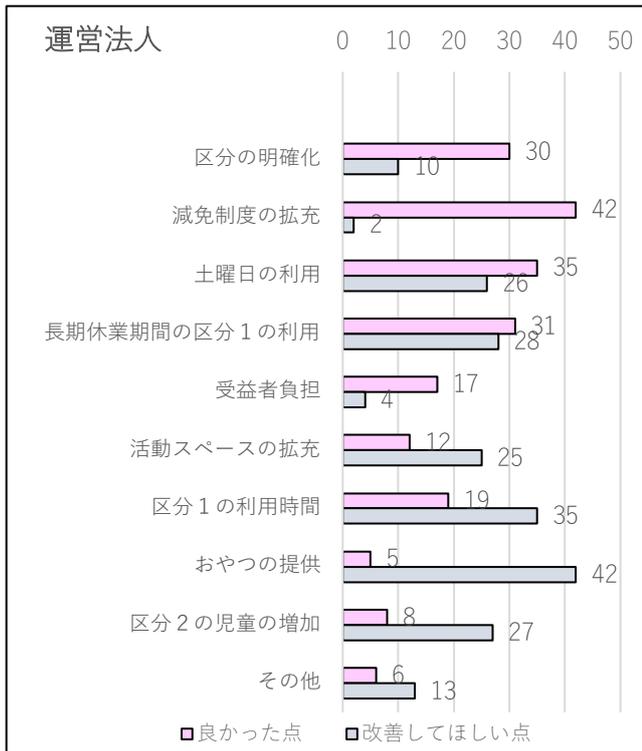
選択肢	わくわく【区分1】	
	回答数	構成率
現状の利用状況に満足している	374	17.0%
学年が上がったため、利用したいと子どもが言わなくなった	131	6.0%
コロナ禍であるため、できる限り利用を控えている	603	27.4%
利用時間が短いため、利用しなくなった	173	7.9%
利用したい日に利用ができない	536	24.4%
土曜日の利用が出来ず困っている	9	0.4%
キッズクラブではない別の場所（公園等）で遊ぶようになった	112	5.1%
特になし	259	11.8%
合計	2,197	100.0%

→「コロナ禍であるため、できる限り利用を控えている」、「利用したい日に利用ができない」の順に回答の割合が高い。

(3)3年度の見直しについて全体として良かったと思う点・改善して欲しい点 **複数選択**

※数値は回答数です。

[n=100【運営法人】、324【主任】]



【運営法人】

選択肢	良かった点	改善してほしい点
区分の明確化	30	10
減免制度の拡充	42	2
土曜日の利用	35	26
長期休業期間の区分1の利用	31	28
受益者負担	17	4
活動スペースの拡充	12	25
区分1の利用時間	19	35
おやつを提供	5	42
区分2の児童の増加	8	27
その他	6	13

【主任】

選択肢	良かった点	改善してほしい点
区分の明確化	108	24
減免制度の拡充	120	13
土曜日の利用	85	67
長期休業期間の区分1の利用	117	81
受益者負担	23	14
活動スペースの拡充	19	62
区分1の利用時間	75	104
おやつを提供	15	175
区分2の児童の増加	23	97
その他	27	55

→「区分の明確化」「減免制度の拡充」「土曜日の利用」「長期休業期間の区分1の利用」「受益者負担」については良かった点として回答した数が改善して欲しい点として回答した数を上回った。一方、「おやつを提供」「区分2の児童の増加」「区分1の利用時間」「活動スペースの拡充」については、改善して欲しい点として回答した数が良かった点として回答した数を上回った。

(3)-1 課題を解消するためにどのような取組等が必要だと考えますか。(主な意見を類型化)

【区分の明確化】

(運営法人) 回答数 11 件

- ・区分が多くなったことによる業務の増加、複雑化 4件
- ・区分が細分化しすぎている 3件
- ・区分の利用頻度、変更などに制限をかけるべき 2件

(主任) 回答数 33 件

- ・区分名や各利用料金が分かりづらい 8件
- ・区分2を見直すべき 7件
- ・区分1と区分2の2つだけでいい 4件

【減免制度の拡充】

(運営法人)回答数 3件

- ・返金など業務が複雑化している 1件
- ・利用料を設定すべき 1件
- ・申込期限を設けるべき 1件

(主任)回答数 14 件

- ・無料だと利用も区分変更もしない利用者が発生するので少額でも利用料は課してほしい 5件
- ・遡っての月謝返納など管理が難しい 2件
- ・提出期限を設けるべき 2件

【土曜日の利用】

(運営法人)回答数 23 件

- ・必要性を感じないので開所をやめるか開所時間を短縮すべき 7件
- ・イベント実施回数の緩和 5件
- ・参加制限の緩和 4件

(主任)回答数 58 件

- ・利用制限の撤廃など制限の緩和 26 件
- ・利用者がいない時、補助金の減額無しで閉所させてほしい 7 件
- ・有料化 5件

【長期休業期間の区分1の利用】

(運営法人)回答数 21 件

- ・参加、利用時間の緩和 6件
- ・参加、利用時間の制限 5件
- ・利用時間を統一して欲しい 3件

(主任)回答数 38 件

- ・利用時間を増やしてほしい、利用制限を撤廃すべき 38 件
- ・午前あるいは午後のみ利用 4件
- ・区分1はスポット利用のみ 4件

【受益者負担】

(運営法人)回答数 3件

- ・長期休業中の利用料を増額すべき 2件
- ・有料化による事務作業の増加 1件

(主任)回答数 9件

- ・区分2の利用料が安すぎる、頻繁な区分変更の要因にもなっている 5件

【活動スペースの拡充】

(運営法人)回答数 20 件

- ・市でもスペース確保に尽力してもらいたい 5件
- ・学校と連携したい 4件
- ・コロナ禍でより大きいスペースが必要なため拡大したい 3件

(主任)回答数 41 件

- ・より広いスペースか使用可能な部屋を増やしたい 11 件
- ・学校の敷地内に専用ルームを建設してほしい、またその費用の補助をお願いしたい 5 件
- ・恒常的に使える兼用ルームの確保 4件
- ・拡充よりも定員の制限をすべき 4件
- ・市から学校側にスペースの拡充をお願いして欲しい 4件
- ・学校との連携を強めたい 4件

【区分1の利用】

(運営法人)回答数 22 件

- ・限定利用や利用時間の見直し 17 件
- ・コロナが改善すればよくなると思う 2件
- ・前年度のような体制に戻すべき 2件

(主任)回答数 64 件

- ・恒常的、あるいは条件付きで利用、下校時間を延長すべき 49 件
- ・はまっこのような自由に遊べる場を再度確保して欲しい 5件
- ・定期的な特別活動においては時間を確保させてほしい 2件

【おやつ提供】

(運営法人)回答数 30 件

- ・ゆうやけ【区分2A】への提供の廃止 12 件
- ・提供時間の見直し 11 件

(主任)回答数 142 件

- ・遊び時間、人員、場所確保のため提供時間の見直し 86 件
- ・ゆうやけ【区分2A】の提供廃止 29 件
- ・コロナ収束まで常に提供中止 7件

【区分2の児童の増加】

(運営法人)回答数 15 件

- ・区分変更の回数など制限を設けるべき 4件
- ・利用料の見直し 3件

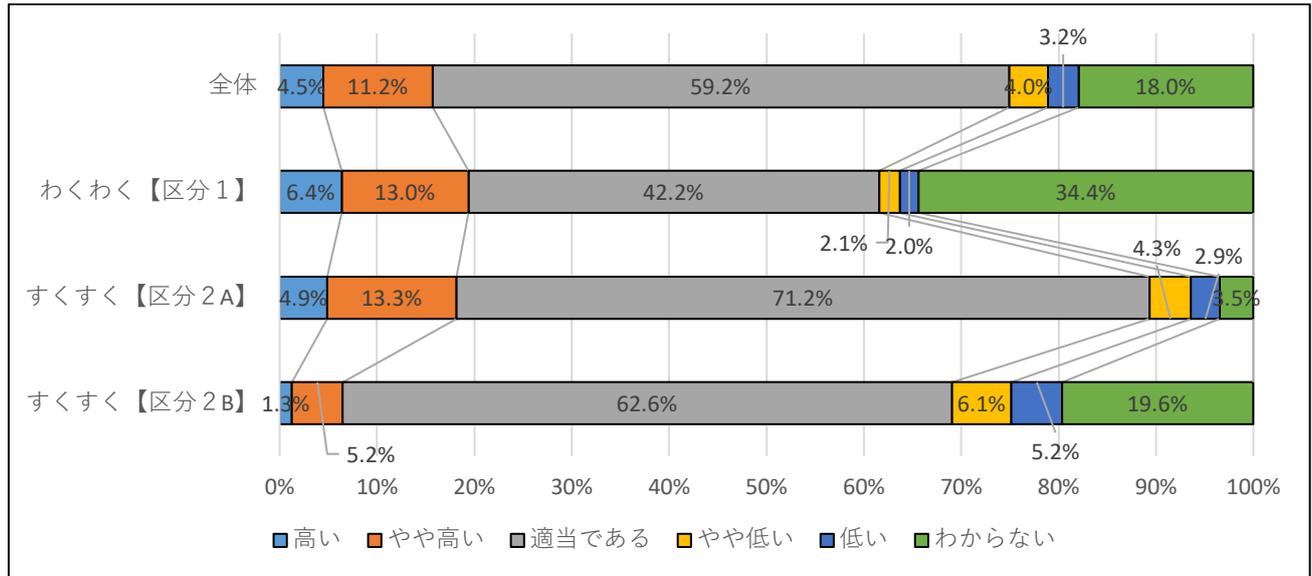
(主任)回答数 58 件

- ・利用料を増額、利用制限の追加など利用人数を抑制させたい 28 件
- ・職員、場所不足、安全対策、事務作業など負担が増大している 6 件
- ・利用人数や使用可能部屋数から定員の上限を決めたい 5件
- ・区分における人数配置の見直し 5件

(5) ゆうやけ【区分2A】(～17時まで利用)の利用料(2,000円/月)の評価

[n=6,461]

【保護者】



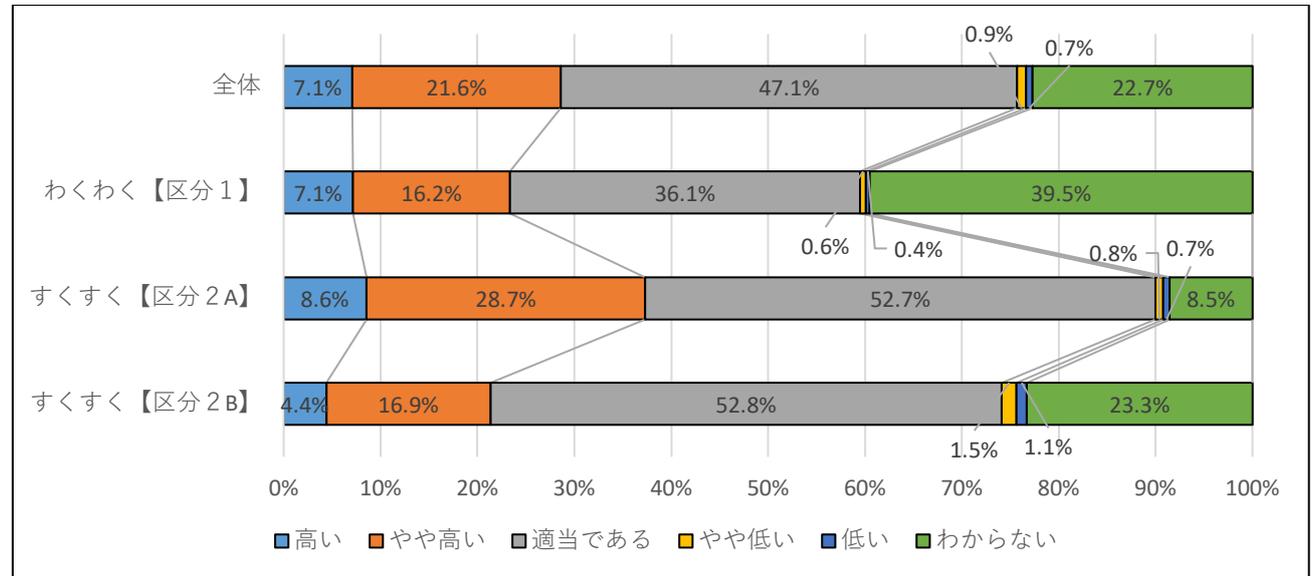
選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2A】		すくすく【区分2B】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
高い	291	4.5%	140	6.4%	131	4.9%	20	1.3%
やや高い	724	11.2%	286	13.0%	355	13.3%	83	5.2%
適当である	3,825	59.2%	927	42.2%	1904	71.2%	994	62.6%
やや低い	257	4.0%	46	2.1%	114	4.3%	97	6.1%
低い	204	3.2%	43	2.0%	78	2.9%	83	5.2%
わからない	1,160	18.0%	755	34.4%	93	3.5%	312	19.6%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	2,675	100.0%	1,589	100.0%

→すくすく【区分2A】の71.2%が「適当である」と回答。

(6) ゆうやけ【区分2A】からほしぞら【区分2B】へ延長する場合の延長料(400円/回)の評価

[n=6,461]

【保護者】

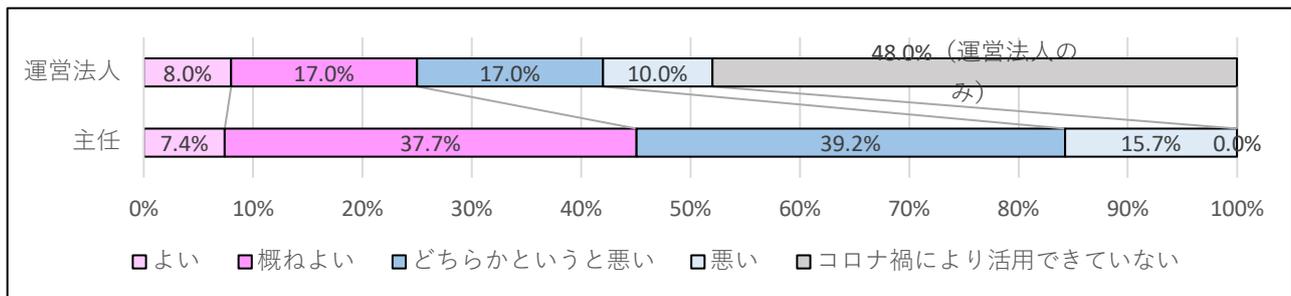


選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2A】		すくすく【区分2B】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
高い	456	7.1%	157	7.1%	229	8.6%	70	4.4%
やや高い	1,394	21.6%	356	16.2%	769	28.7%	269	16.9%
適当である	3,042	47.1%	794	36.1%	1,409	52.7%	839	52.8%
やや低い	60	0.9%	14	0.6%	22	0.8%	24	1.5%
低い	43	0.7%	8	0.4%	18	0.7%	17	1.1%
わからない	1,466	22.7%	868	39.5%	228	8.5%	370	23.3%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	2,675	100.0%	1,589	100.0%

→全体の47.1%が「適当である」と回答し最も多い。また、実際に延長を利用できるすくすく【区分2A】の52.7%が「適当である」と回答

(7)プログラムの特例についてどう思いますか。

[n=100【運営法人】、324【主任】]



【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
よい	8	8.0%	4	5.4%	4	15.4%
概ねよい	17	17.0%	13	17.6%	4	15.4%
どちらかという悪い	17	17.0%	13	17.6%	4	15.4%
悪い	10	10.0%	6	8.1%	4	15.4%
コロナ禍により活用できていない	48	48.0%	38	51.4%	10	38.5%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

「よい」「概ねよい」と回答した理由

- ・参加児童の増加 7件
- ・イベントなど活動がしやすくなった 6件
- ・サービスの制限だけでなく拡大する部分もあった点 3件

「悪い」「どちらかという悪い」と回答した理由

- ・プログラムが実施しにくい 6件
- ・タイムスケジュールが設定しづらい 5件
- ・自由に遊ぶ時間を増やすべき 4件

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
よい	24	7.4%	7	7.7%	17	7.3%
概ねよい	122	37.7%	39	42.9%	83	35.6%
どちらかという悪い	127	39.2%	28	30.8%	99	42.5%
悪い	51	15.7%	17	18.7%	34	14.6%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

「よい」「概ねよい」と回答した理由

- ・時間に余裕ができ、イベントやプログラムの幅が広がり行いやすくなった 55件
- ・参加できる子どもとその中での交流が増えた 42件

「悪い」「どちらかという悪い」と回答した理由

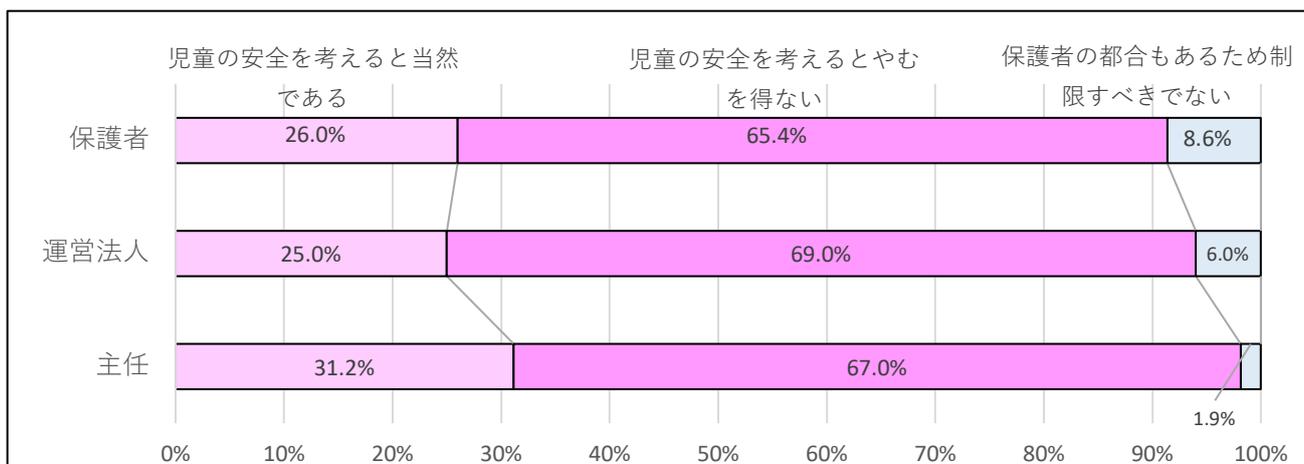
- ・特例以前に時間や制限などを緩和や変更して欲しい 42件
- ・遊びの場を縮小すべきでない、自由に遊ぶ時間を重視したい 24件
- ・複雑で対応が難しいため、特例を利用していない、活用できていない、なくてよい 24件

→運営法人は、「コロナ禍により活用できていない」(運営法人のみの選択肢)と回答した方が最も多く、48.0%を占めている。主任は「良い」「概ね良い」が 45.1%、「悪い」「どちらかという悪い」が 54.9%と拮抗している。

●利用制限

(1)新型コロナウイルス感染防止対策として、わくわく【区分1】の利用を制限していることについてどう思いますか。

[n=6,461【保護者】、100【運営法人】、324【主任】]



【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	1,680	26.0%	543	24.7%	1,137	26.7%
児童の安全を考えるとやむを得ない	4,223	65.4%	1,380	62.8%	2,843	66.7%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	558	8.6%	274	12.5%	284	6.7%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	25	25.0%	20	27.0%	5	19.2%
児童の安全を考えるとやむを得ない	69	69.0%	50	67.6%	19	73.1%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	6	6.0%	4	5.4%	2	7.7%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

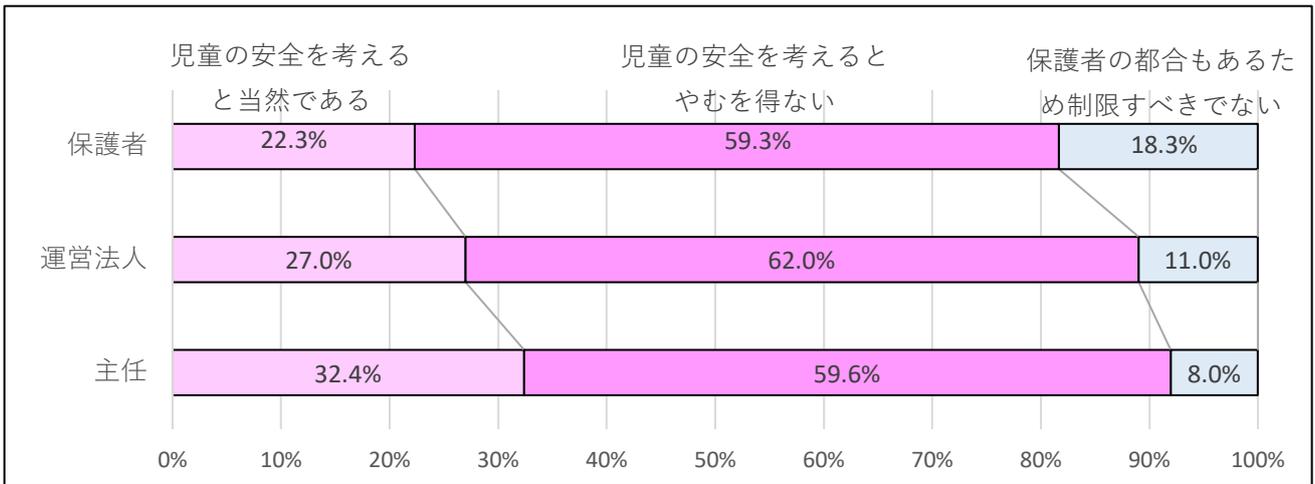
【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	101	31.2%	30	33.0%	71	30.5%
児童の安全を考えるとやむを得ない	217	67.0%	59	64.8%	158	67.8%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	6	1.9%	2	2.2%	4	1.7%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→「児童の安全を考えるとやむを得ない」と回答した方が、保護者・運営法人・主任のいずれにおいても最も高い割合を占めている。「保護者の都合もあるため制限すべきでない」と12.5%のわくわく【区分1】の保護者が回答

(2)夏の暑さ対策として、熱中症警戒アラートが発令された場合、わくわく【区分1】の利用を制限していることについてどう思いますか。

[n=6,461【保護者】、100【運営法人】、324【主任】]



【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	1,443	22.3%	473	21.5%	970	22.7%
児童の安全を考えるとやむを得ない	3,834	59.3%	1,199	54.6%	2,635	61.8%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	1,184	18.3%	525	23.9%	659	15.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	27	27.0%	21	28.4%	6	23.1%
児童の安全を考えるとやむを得ない	62	62.0%	45	60.8%	17	65.4%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	11	11.0%	8	10.8%	3	11.5%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

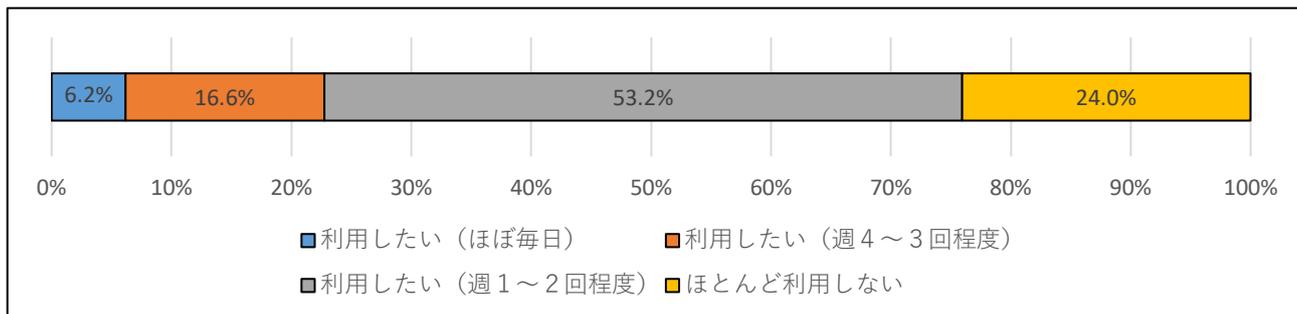
【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
児童の安全を考えると当然である	105	32.4%	28	30.8%	77	33.0%
児童の安全を考えるとやむを得ない	193	59.6%	55	60.4%	138	59.2%
保護者の都合もあるため制限すべきでない	26	8.0%	8	8.8%	18	7.7%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→「児童の安全を考えるとやむを得ない」と回答した方が、保護者・運営法人・主任のいずれにおいても最も多い割合を占めている。「保護者の都合もあるため制限すべきでない」と23.9%のわくわく【区分1】の保護者が回答

(3)わくわく【区分1】の方にお聞きします。コロナ感染拡大防止のため、現在、わくわく【区分1】は限定利用としていますが、終息した場合において、どの程度キッズクラブを利用したいですか。

[n=2,197]



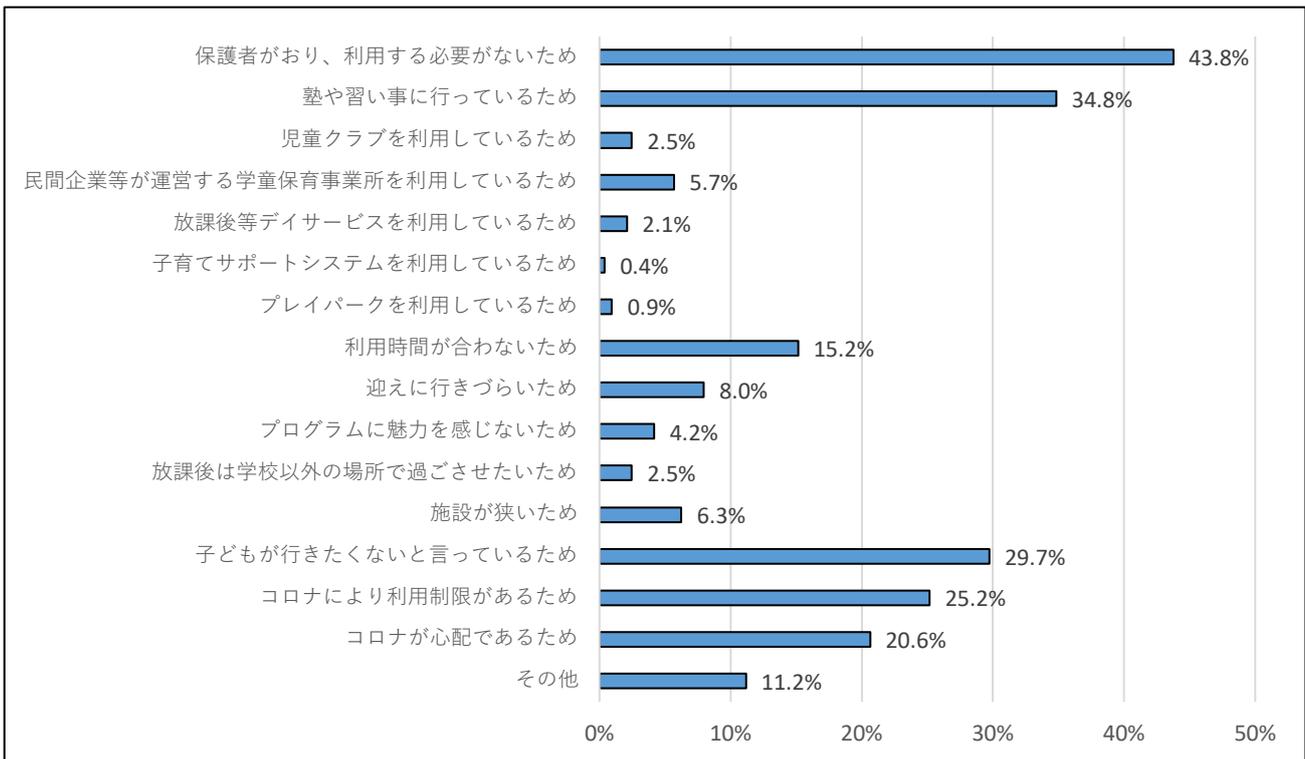
【保護者】

選択肢	わくわく【区分1】	
	回答数	構成率
利用したい（ほぼ毎日）	136	6.2%
利用したい（週4～3回程度）	364	16.6%
利用したい（週1～2回程度）	1,169	53.2%
ほとんど利用しない	528	24.0%
合計	2,197	100.0%

→「利用したい(週1～2回程度)」と回答した方が最も多く、53.2%

(3)-1 上記で「ほとんど利用しない」と回答した方にお聞きします。その理由を教えてください。**複数選択**

[n=528]



【保護者】

選択肢	わくわく【区分1】	
	回答数	構成率
保護者があり、利用する必要がないため	231	43.8%
塾や習い事に行っているため	184	34.8%
児童クラブを利用しているため	13	2.5%
民間企業等が運営する学童保育事業所を利用しているため	30	5.7%
放課後等デイサービスを利用しているため	11	2.1%
子育てサポートシステムを利用しているため	2	0.4%
プレイパークを利用しているため	5	0.9%
利用時間が合わないため	80	15.2%
迎えに行きづらいため	42	8.0%
プログラムに魅力を感じないため	22	4.2%
放課後は学校以外の場所で過ごさせたいため	13	2.5%
施設が狭いため	33	6.3%
子どもが行きたくないと言っているため	157	29.7%
コロナにより利用制限があるため	133	25.2%
コロナが心配であるため	109	20.6%
その他	59	11.2%
合計	1,124	212.9%

→「保護者があり、利用する必要がないため」、「塾や習い事に行っているため」の順に回答が高かった。

●おやつを提供

(1)おやつを提供方法

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
1回	243	75.0%	69	75.8%	174	74.7%
複数回に分けて	81	25.0%	22	24.2%	59	25.3%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→おやつを提供は「1回」が75%を占めた。

(2)利用者から徴収している1回あたりのおやつ代

[n=324]

【主任】

回答内容	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
～50円	14	4.3%	12	13.2%	2	0.9%
51円～80円	2	0.6%	1	1.1%	1	0.4%
81円～100円	295	91.0%	72	79.1%	223	95.7%
101円～120円	5	1.5%	3	3.3%	2	0.9%
121円～	8	2.5%	3	3.3%	5	2.1%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→「81円～100円」の回答が最も多く、91.0%を占めている。

(3)普段のおやつを提供時間

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
16時より前	5	1.5%	2	2.2%	3	1.3%
16時00分	160	49.4%	34	37.4%	126	54.1%
16時01分～16時29分	38	11.7%	11	12.1%	27	11.6%
16時30分	77	23.8%	17	18.7%	60	25.8%
16時31分～17時00分	43	13.3%	26	28.6%	17	7.3%
17時より後	1	0.3%	1	1.1%	0	0.0%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→「16時」の回答が最も多く49.4%を占めている。

(4)手作りおやつを提供していますか。

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
ほとんど実施していない（袋菓子など既製品のおやつを提供）	151	46.6%	31	34.1%	120	51.5%
コロナ禍のため、現在はほとんど実施していない	140	43.2%	50	54.9%	90	38.6%
実施している（週に1～2回）	14	4.3%	0	0.0%	14	6.0%
実施している（週に3～4回）	11	3.4%	3	3.3%	8	3.4%
実施している（ほぼ毎日）	8	2.5%	7	7.7%	1	0.4%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→公募法人では51.5%が「ほとんど実施していない（袋菓子など既製品のおやつを提供）」と回答。地域立ち上げ法人の54.9%が「コロナ禍のため、現在はほとんど実施していない」と回答

(5)おやつ提供の課題 **複数選択**

[n=324]

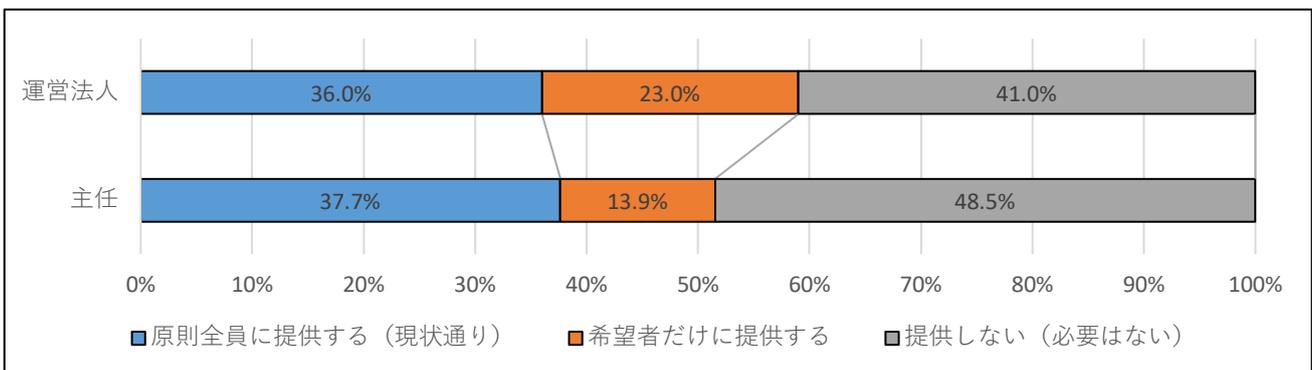
【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
準備が大変	149	46.0%	37	40.7%	112	48.1%
人手が足りない	46	14.2%	12	13.2%	34	14.6%
買い出しが大変	150	46.3%	44	48.4%	106	45.5%
食材のストック場所がない	154	47.5%	37	40.7%	117	50.2%
レパートリーが少ない	61	18.8%	10	11.0%	51	21.9%
アレルギー対応	136	42.0%	32	35.2%	104	44.6%
食べる子、食べない子の管理	82	25.3%	31	34.1%	51	21.9%
子どもに注力できる時間が減った	75	23.1%	17	18.7%	58	24.9%
おやつを提供しない子の目が気になる	24	7.4%	5	5.5%	19	8.2%
その他	73	22.5%	15	16.5%	58	24.9%
合計	950	293.2%	240	263.7%	710	304.7%

→全体では、「食材のストック場所がない」「買い出しが大変」「準備が大変」「アレルギー対応」の準備に関する回答が多い。

(6)ゆうやけ【2A】のおやつ提供の仕方として、相応しいのは次のうちどれですか。

[n=100【運営法人】、324【主任】]



【運営法人】

選択肢	全体		地域		公募	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
原則全員に提供する (現状通り)	36	36.0%	27	36.5%	9	34.6%
希望者だけに提供する	23	23.0%	18	24.3%	5	19.2%
提供しない (必要はない)	41	41.0%	29	39.2%	12	46.2%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
原則全員に提供する (現状通り)	122	37.7%	33	36.3%	89	38.2%
希望者だけに提供する	45	13.9%	15	16.5%	30	12.9%
提供しない (必要はない)	157	48.5%	43	47.3%	114	48.9%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→主任の 48.5%が「提供しない(必要はない)」と回答する一方、51.6%が「原則全員に提供する(現状通り)」「希望者だけに提供する」と回答。回答者の属性に差はないが、提供については回答が分かれた。

(6)-1で「提供しない」を選択された方にお伺いします。おやつが不要と考える理由としてもっとも当てはまるものを選択してください。

[n=41【運営法人】、157【主任】]

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
職員の業務繁忙	9	22.0%	8	27.6%	1	8.3%
食物アレルギー対策	1	2.4%	0	0.0%	1	8.3%
感染症対策	3	7.3%	3	10.3%	0	0.0%
遊びの時間の確保	14	34.1%	5	17.2%	9	75.0%
保護者のニーズがない	13	31.7%	12	41.4%	1	8.3%
子どものニーズがない	1	2.4%	1	3.4%	0	0.0%
合計	41	100.0%	29	100.0%	12	100.0%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
職員の業務繁忙	16	10.2%	3	7.0%	13	11.4%
食物アレルギー対策	1	0.6%	0	0.0%	1	0.9%
感染症対策	12	7.6%	3	7.0%	9	7.9%
遊びの時間の確保	92	58.6%	18	41.9%	74	64.9%
保護者のニーズがない	31	19.7%	17	39.5%	14	12.3%
子どものニーズがない	5	3.2%	2	4.7%	3	2.6%
合計	157	100.0%	43	100.0%	114	100.0%

→運営法人及び主任のいずれにおいても「遊びの時間の確保」「保護者のニーズがない」「職員の業務繁忙」の順で回答が高い。

●高学年の居場所

(1)-1 高学年(4年生以上)のお子さまの利用にあたって、保護者としてクラブに求めるものは何ですか。

[n=6,461]

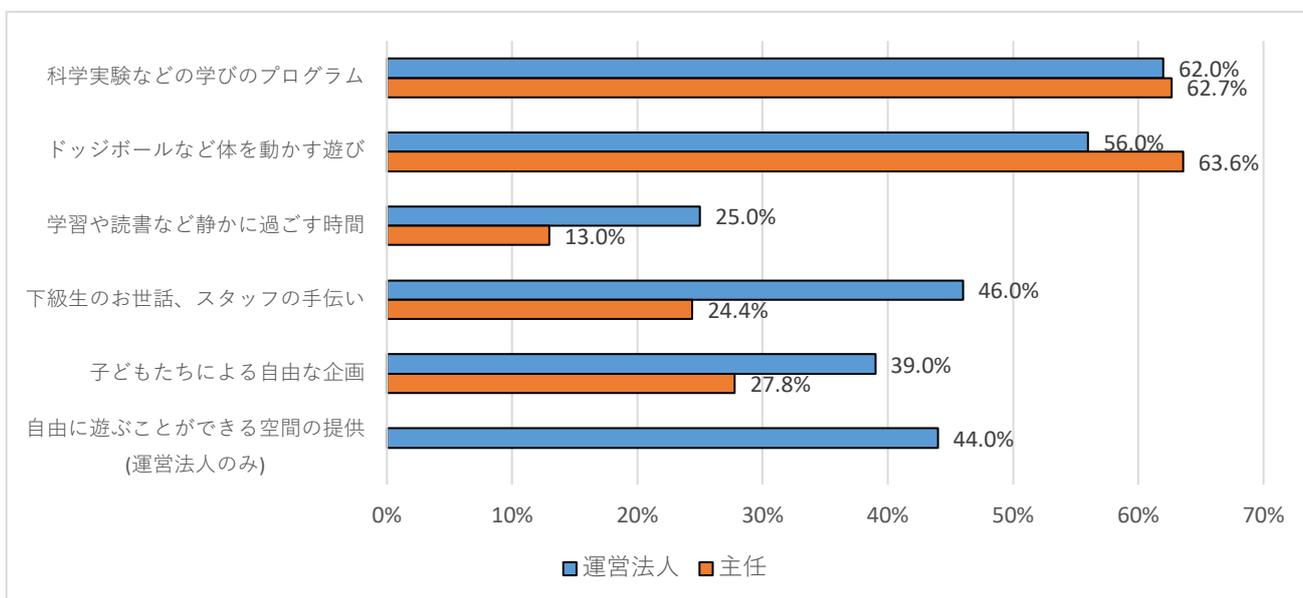
【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
科学実験などの学びのプログラム	1,923	29.8%	675	30.7%	1,248	29.3%
ドッジボールなど体を動かす遊び	1,437	22.2%	501	22.8%	936	22.0%
学習や読書など静かに過ごす時間	657	10.2%	146	6.6%	511	12.0%
低学年や他学年との交流	969	15.0%	268	12.2%	701	16.4%
施設・設備の充実	181	2.8%	57	2.6%	124	2.9%
自由に遊ぶことができる空間	806	12.5%	321	14.6%	485	11.4%
その他	488	7.6%	229	10.4%	259	6.1%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→「科学実験などの学びのプログラム」と「ドッジボールなど体を動かす遊び」の回答が多く、いずれも 20% を超えている。

(2)-2 高学年(4年生以上)の児童が多く参加すると思われる活動内容 **複数選択**

[n=100【運営法人】、324【主任】]



【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
科学実験などの学びのプログラム	62	62.0%	44	59.5%	18	69.2%
ドッジボールなど体を動かす遊び	56	56.0%	38	51.4%	18	69.2%
学習や読書など静かに過ごす時間	25	25.0%	14	18.9%	11	42.3%
下級生のお世話、スタッフの手伝い	46	46.0%	29	39.2%	17	65.4%
子どもたちによる自由な企画	39	39.0%	21	28.4%	18	69.2%
自由に遊ぶことができる空間の提供	44	44.0%	28	37.8%	16	61.5%
合計	272	272.0%	174	235.1%	98	376.9%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
科学実験などの学びのプログラム	203	62.7%	55	60.4%	148	63.5%
ドッジボールなど体を動かす遊び	206	63.6%	56	61.5%	150	64.4%
学習や読書など静かに過ごす時間	42	13.0%	16	17.6%	26	11.2%
下級生のお世話、スタッフの手伝い	79	24.4%	31	34.1%	48	20.6%
子どもたちによる自由な企画	90	27.8%	28	30.8%	62	26.6%
合計	620	191.4%	186	204.4%	434	186.3%

→運営法人及び主任のいずれにおいても「科学実験などの学びのプログラム」と「ドッジボールなど体を動かす遊び」の回答が多い。

(3)-3 キッズクラブにおいて高学年の居場所として何をしていきたいと考えますか。

[n=100【運営法人】、324【主任】]

【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
平日毎日一斉下校時刻（最終下校時刻）まで利用できる場の提供	19	19.0%	15	20.3%	4	15.4%
週に数日一斉下校時刻まで利用できる場（最終下校時刻）の提供	12	12.0%	9	12.2%	3	11.5%
令和2年度以前の利用とすること	11	11.0%	6	8.1%	5	19.2%
現行通りで良い	30	30.0%	23	31.1%	7	26.9%
学習支援	16	16.0%	13	17.6%	3	11.5%
会話の相手	6	6.0%	4	5.4%	2	7.7%
その他	6	6.0%	4	5.4%	2	7.7%
合計	100	100.0%	74	100.0%	26	100.0%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
平日毎日一斉下校時刻（最終下校時刻）まで利用できる場の提供	62	19.1%	19	20.9%	43	18.5%
週に数日一斉下校時刻（最終下校時刻）まで利用できる場の提供	40	12.3%	13	14.3%	27	11.6%
現行通りで良い	122	37.7%	25	27.5%	97	41.6%
学習支援	22	6.8%	14	15.4%	8	3.4%
会話の相手	34	10.5%	15	16.5%	19	8.2%
その他	44	13.6%	5	5.5%	39	16.7%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→運営法人の 30%、主任の 37.7%が「現行通りで良い」と回答。「平日毎日または週に数日の一斉下校時刻（最終下校時刻）まで利用できる場の提供」が運営法人は 31%、主任は 31.4%と回答

●活動場所

(1)専用ルーム、兼用ルーム以外で利用している活動スペース **複数選択**

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
体育館	275	84.9%	80	87.9%	195	83.7%
校庭	295	91.0%	86	94.5%	209	89.7%
図書室	41	12.7%	12	13.2%	29	12.4%
特別教室	68	21.0%	26	28.6%	42	18.0%
コミュニティハウス（コミュニティスクール）	18	5.6%	7	7.7%	11	4.7%
その他	61	18.8%	15	16.5%	46	19.7%
合計	758	234.0%	226	248.4%	532	228.3%

→全体の80%以上のクラブが「校庭」及び「体育館」を利用している。

(2)使用しづらい兼用ルームの数

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
1か所	107	33.0%	30	33.0%	77	33.0%
2か所	29	9.0%	12	13.2%	17	7.3%
3か所以上	6	1.9%	1	1.1%	5	2.1%
なし	182	56.2%	48	52.7%	134	57.5%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→全体の56.2%が「なし」と最も多い。一方で「1か所」と回答したクラブが約3割を占めている。

(2)-1 上記で使用しづらい兼用ルームがある場合の理由 **複数選択**

[n=142]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
専用ルームと兼用ルームが離れている	62	43.7%	20	46.5%	42	42.4%
兼用ルームに備品等が置かれてスペースが確保できない	31	21.8%	9	20.9%	22	22.2%
学校の授業が午後もあるため使えない	81	57.0%	25	58.1%	56	56.6%
使えるかどうか学校への確認が必要	69	48.6%	18	41.9%	51	51.5%
その他	21	14.8%	4	9.3%	17	17.2%
合計	264	185.9%	76	176.7%	188	189.9%

→全体の57.0%が「学校の授業が午後もあるため使えない」と回答し、最も高い。

(3)キッズクラブで利用できる部屋が離れている場合に不便に感じていること

[n=124]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
人員配置が必要	56	45.2%	19	48.7%	37	43.5%
インターホンが遠くお迎えの対応に苦慮	6	4.8%	2	5.1%	4	4.7%
スタッフ同士の連絡方法	22	17.7%	9	23.1%	13	15.3%
子どもの居場所が把握しにくい	13	10.5%	5	12.8%	8	9.4%
高学年の授業時間中に配慮が必要	27	21.8%	4	10.3%	23	27.1%
合計	124	100.0%	39	100.0%	85	100.0%

→キッズクラブで利用できる部屋が離れているため不便に感じているクラブのうち、45.2%が「人員配置が必要」と回答

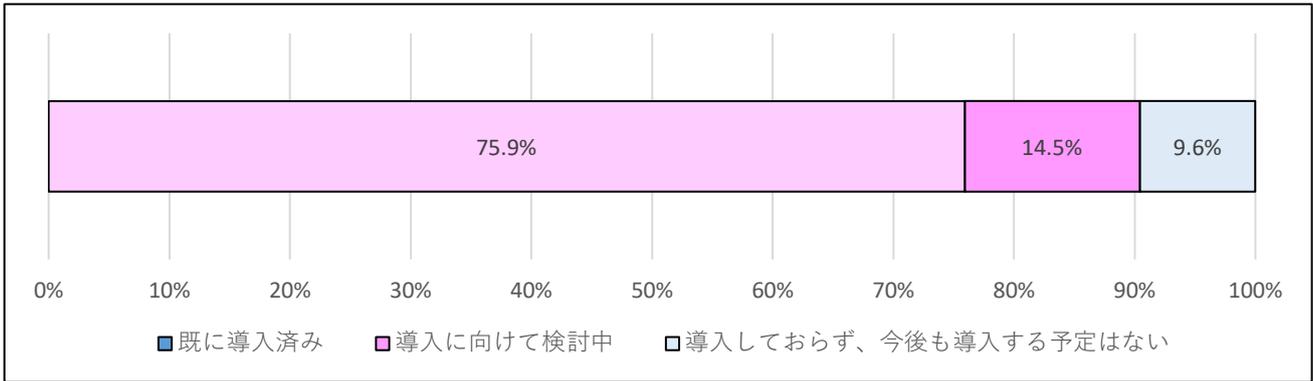
(3)-1 利用できる部屋が離れている場合に工夫していること(125人が回答)

- ・特になし 45件
- ・携帯電話や無線などでこまめに連絡を取り合う 39件
- ・配置人数を多めにしている 9件

6 その他

(1)入退室システムの導入状況

[n=324]



【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
既導入済み	246	75.9%	47	51.6%	199	85.4%
導入に向けて検討中	47	14.5%	23	25.3%	24	10.3%
導入しておらず、今後も導入する予定はない	31	9.6%	21	23.1%	10	4.3%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→全体の 90.4%のクラブが「既導入済み」または「導入に向けて検討中」と回答。一方で地域立ち上げ法人の 23.1%が「導入しておらず、今後も 導入する予定はない」と回答

(1)-1 上記で導入済みの場合、どこのシステムを利用していますか。

[n=246]

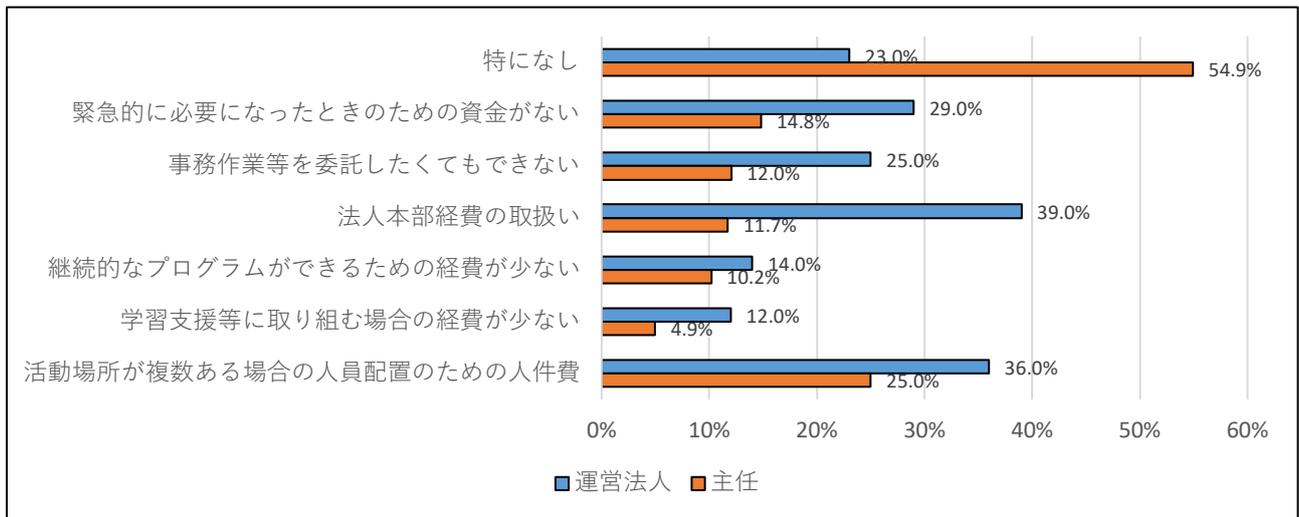
【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
法人独自	101	41.1%	6	12.8%	95	47.7%
協定事業者	111	45.1%	27	57.4%	84	42.2%
その他	34	13.8%	14	29.8%	20	10.1%
合計	246	100.0%	47	100.0%	199	100.0%

→地域立ち上げ法人の 57.4%が本市と協定を結んだ「協定事業者」のシステムを利用していると回答し、公募法人の 47.7%は「法人独自」と回答

(2)キッズクラブを運営していく上で、資金面で困ることは何ですか。**複数選択**※3個まで選択可

[n=100【運営法人】、324【主任】]



【運営法人】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	23	23.0%	16	21.6%	7	26.9%
緊急的に必要になったときのための資金がない	29	29.0%	23	31.1%	6	23.1%
事務作業等を委託したくてもできない	25	25.0%	21	28.4%	4	15.4%
法人本部経費の取扱い	39	39.0%	24	32.4%	15	57.7%
継続的なプログラムができるための経費が少ない	14	14.0%	9	12.2%	5	19.2%
学習支援等に取り組む場合の経費が少ない	12	12.0%	10	13.5%	2	7.7%
活動場所が複数ある場合の人員配置のための人件費	36	36.0%	25	33.8%	11	42.3%
合計	178	178.0%	128	173.0%	50	192.3%

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	178	54.9%	35	38.5%	143	61.4%
緊急的に必要になったときのための資金がない	48	14.8%	17	18.7%	31	13.3%
事務作業等を委託したくてもできない	39	12.0%	25	27.5%	14	6.0%
法人本部経費の取扱い	38	11.7%	18	19.8%	20	8.6%
継続的なプログラムができるための経費が少ない	33	10.2%	11	12.1%	22	9.4%
学習支援等に取り組む場合の経費が少ない	16	4.9%	7	7.7%	9	3.9%
活動場所が複数ある場合の人員配置のための人件費	81	25.0%	25	27.5%	56	24.0%
合計	433	133.6%	138	151.6%	295	126.6%

→運営法人は「法人本部経費の取扱い」、「活動場所が複数ある場合の人員配置のための人件費」、「緊急的に必要になったときのための資金がない」の順に回答が多い。

主任については「特になし」の回答が公募法人は61.4%と地域立ち上げ法人を大きく上回った。

(3)キッズクラブの運営において、どのような予算が充実すると良いと思いますか。複数選択

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
特になし	70	21.6%	16	17.6%	54	23.2%
大きい備品（冷蔵庫、書棚等）や緊急案件に対応できる予算	143	44.1%	39	42.9%	104	44.6%
事務作業等を委託した場合に対応できる予算	65	20.1%	30	33.0%	35	15.0%
法人による事務作業等を対象とすることができる予算	95	29.3%	38	41.8%	57	24.5%
活動場所が複数ある場合の追加予算	71	21.9%	18	19.8%	53	22.7%
プログラムができるに取り組んだ場合の追加予算	82	25.3%	23	25.3%	59	25.3%
学習支援等に取り組む場合の追加予算	39	12.0%	13	14.3%	26	11.2%
ピーク時（おやつ提供時や区分1の下校時）の追加予算	68	21.0%	14	15.4%	54	23.2%
合計	633	195.4%	191	209.9%	442	189.7%

→全体の44.1%が「大きい備品(冷蔵庫、書棚等)や緊急案件に対応できる予算」と回答

(4)クラブの自主的な活動として、キッズクラブの連絡協議会が各区で開催されていますが、連絡会の存在についてどのように考えていますか。

[n=324]

【主任】

選択肢	全体		地域立ち上げ法人		公募法人	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
課題の共有や情報交換等ができるため、必要である	284	87.7%	82	90.1%	202	86.7%
必要だと思うが、参加が任意のため、参加していない	6	1.9%	2	2.2%	4	1.7%
必要とは思わない	11	3.4%	4	4.4%	7	3.0%
市が主催してほしい	23	7.1%	3	3.3%	20	8.6%
法人の許可が出ないため参加できない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	324	100.0%	91	100.0%	233	100.0%

→全体の87.7%が「課題の共有や情報交換等ができるため、必要である」と回答

(5)ほしぞら【区分2B】(～19時まで利用)の利用料(5,000円/月)の評価

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
高い	489	7.6%	140	6.4%	349	8.2%
やや高い	1,247	19.3%	279	12.7%	968	22.7%
適当である	3,305	51.2%	880	40.1%	2,425	56.9%
やや低い	148	2.3%	40	1.8%	108	2.5%
低い	142	2.2%	49	2.2%	93	2.2%
わからない	1,130	17.5%	809	36.8%	321	7.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→全体の51.2%が利用料は「適当である」と回答

(6)一時利用(スポット利用)の利用料(800円/回)の評価

[n=6,461]

【保護者】

選択肢	全体		わくわく【区分1】		すくすく【区分2】	
	回答数	構成率	回答数	構成率	回答数	構成率
高い	1,195	18.5%	624	28.4%	571	13.4%
やや高い	2,171	33.6%	804	36.6%	1,367	32.1%
適当である	2,131	33.0%	491	22.3%	1,640	38.5%
やや低い	35	0.5%	2	0.1%	33	0.8%
低い	39	0.6%	5	0.2%	34	0.8%
わからない	890	13.8%	271	12.3%	619	14.5%
合計	6,461	100.0%	2,197	100.0%	4,264	100.0%

→わくわく【区分1】の65%が「高い」「やや高い」と回答

現在の基本的な考え方と見直しの方向性

放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方
（平成26年11月改定）

第1 基本的な考え方の目的

この基本的な考え方は、「すべての子どもたちにとって安全で豊かな放課後等の居場所を確保する」という観点から、本市の放課後児童育成施策に係る事業（以下、「各事業」という。）の経過及び実施や、平成19年度に総合的な放課後児童育成施策を推進するために設置した「放課後子どもプラン推進委員会」からの意見をふまえ、放課後児童育成施策全体の方向性や各事業に共通する重要事項を定めることにより、事業を効率的かつ効果的に実施することを目的とします。

第2 事業の理念

小学校就学後の学齢期は、子どもたちが生きる力を育み、調和のとれた発達を図る重要な時期です。子どもたちの権利を尊重し、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応に努め、すべての子どもたちが豊かな放課後等を過ごせるよう、様々な取組を工夫します。同時に、社会的引きこもりやニート等の社会問題が顕在化する中であって、放課後等の活動を通じて、子どもたち一人ひとりが自分の良さや可能性を大切にし、自らの豊かで幸せな生き方を切り拓く力を育むことができる社会の実現を目指します。

そのために、各事業は、第一に、すべての子どもたちを対象とします。

第二に、子育てにおいては、保護者が、家庭の中のみならず、地域の中で、男女共に、保護者同士や地域の人々とのつながりを持ち、地域社会に参加していこうという意識を持つことが重要です。また、子育て家庭の子育てに対する不安感・負担感を軽減させるとともに「親子が一緒に楽しむ」という視点で、家庭の子育て力を高めることも重要です。

第三に、子ども・子育て支援法第2条で「子ども・子育て支援は、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない」と定められているように、法の基本理念を尊重して、各事業においても、保護者をはじめとする社会のすべての構成員が協力して、地域全体で子どもたちを育てていくことが重要です。

また、各運営主体は、本市が定める条例や規則、要綱等に基づき、保護者の就労状況や地域の特性等に応じて柔軟に事業を実施します。本市は、各運営主体の

[見直しの方向性]

第1

《内容追加》

「横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討会」で検討した事業の見直し内容に取り組んでいくことを記載します。

第2

変更なし

[改訂案]

第1 基本的な考え方の目的

この基本的な考え方は、「すべての子どもたちにとって安全で豊かな放課後等の居場所を確保する」という観点から、本市の放課後児童育成施策に係る事業（以下、「各事業」という。）の経過及び実施や、令和3年度に放課後児童健全育成事業の一層の質的拡充に取り組むにあたり設置した「横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討会」からの意見を踏まえ、有識者等からなる「横浜市子ども・子育て会議 放課後部会」において、放課後児童育成施策全体の方向性や各事業に共通する重要事項を定めることにより、事業を効率的かつ効果的に実施することを目的とします。

第2 事業の理念

小学校就学後の学齢期は、子どもたちが生きる力を育み、調和のとれた発達を図る重要な時期です。子どもたちの権利を尊重し、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応に努め、すべての子どもたちが豊かな放課後等を過ごせるよう、様々な取組を工夫します。同時に、社会的引きこもりやニート等の社会問題が顕在化する中であって、放課後等の活動を通じて、子どもたち一人ひとりが自分の良さや可能性を大切にし、自らの豊かで幸せな生き方を切り拓く力を育むことができる社会の実現を目指します。

そのために、各事業は、第一に、すべての子どもたちを対象とします。

第二に、子育てにおいては、保護者が、家庭の中のみならず、地域の中で、男女共に、保護者同士や地域の人々とのつながりを持ち、地域社会に参加していこうという意識を持つことが重要です。また、子育て家庭の子育てに対する不安感・負担感を軽減させるとともに「親子が一緒に楽しむ」という視点で、家庭の子育て力を高めることも重要です。

第三に、子ども・子育て支援法第2条で「子ども・子育て支援は、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない」と定められているように、法の基本理念を尊重して、各事業においても、保護者をはじめとする社会のすべての構成員が協力して、地域全体で子どもたちを育てていくことが重要です。

また、各運営主体は、本市が定める条例や規則、要綱等に基づき、保護者の就労状況や地域の特性等に応じて柔軟に事業を実施します。本市は、各運営主体の

自主的かつ主体的な取組を支援します。

第3 遊び・異年齢交流の場

「遊び・異年齢交流の場」は、子どもたちの健全な育成を図ることを目的とし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ連携協力し、様々な体験・交流活動の機会を提供します。

具体的には、自然と触れ合う等の体験活動や、伝承遊び等の文化活動、地域行事への参加等の交流活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育みます。

第4 留守家庭児童の生活の場

「留守家庭児童の生活の場」は、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童が放課後等に安心して過ごせる場を提供することにより、留守家庭児童の健全な育成を図ることを目的とします。そのために、児童の発達段階に応じた主体的な生活や遊びが可能となるよう支援を行い、児童の発達・成長と自立を促します。

また、子どもの様子について家庭と日常的な情報交換を行うことで、保護者が安心して子育てと就労等を両立できるよう支援します。

第5 人材の確保と養成

各事業において、大きな事業効果をあげるには「人材」が“鍵”となります。特性や環境等が異なる様々な子どもたちが参加する中で、すべての子どもたちにとって魅力的な活動を展開していくためには、スタッフが子どもたちの成長・発達に応じた支援者としての役割を十分に理解し、いろいろな遊びや過ごし方を引き出せるような能力が必要となります。

したがって、子どもたちとの接し方、学校や地域との関わり方、食べることの大切さ等の研修をはじめ、障害のある子どもを含むすべての子どもたちが安心して参加できるよう専門的な研修等を実施し、スタッフの資質向上を図ります。

また、各事業に携わる人材を確保するため、保護者や学生を含めた地域の方々等、年齢・性別にとらわれず、広くボランティアの参加を呼びかけ、子どもたちとの触れ合いを通じた学びの機会を提供します。

第6 障害のある子どもたちの参加について

障害のある子どもたちにとっても、年齢や性格の異なる子どもたちと一緒に放課後等の時間を過ごし、成長していくことは大切です。そこで、安全に、安心して参加できるよう、障害の特性に合わせて活動の内容に工夫を加えるとともに、スタッフの資質向上を図り、設備・環境面での安全性に十分に配慮します。

第3

変更なし

第4

変更なし

第5

変更なし

第6

《内容追加》

H28年から施行された「障害者差別解消法」やR3年6月に公布された「医療的ケア児及びその家族に対する

自主的かつ主体的な取組を支援します。

第3 遊び・異年齢交流の場

「遊び・異年齢交流の場」は、子どもたちの健全な育成を図ることを目的とし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ連携協力し、様々な体験・交流活動の機会を提供します。

具体的には、自然と触れ合う等の体験活動や、伝承遊び等の文化活動、地域行事への参加等の交流活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育みます。

第4 留守家庭児童の生活の場

「留守家庭児童の生活の場」は、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童が放課後等に安心して過ごせる場を提供することにより、留守家庭児童の健全な育成を図ることを目的とします。そのために、児童の発達段階に応じた主体的な生活や遊びが可能となるよう支援を行い、児童の発達・成長と自立を促します。

また、子どもの様子について家庭と日常的な情報交換を行うことで、保護者が安心して子育てと就労等を両立できるよう支援します。

第5 人材の確保と養成

各事業において、大きな事業効果をあげるには「人材」が“鍵”となります。特性や環境等が異なる様々な子どもたちが参加する中で、すべての子どもたちにとって魅力的な活動を展開していくためには、スタッフが子どもたちの成長・発達に応じた支援者としての役割を十分に理解し、いろいろな遊びや過ごし方を引き出せるような能力が必要となります。

したがって、子どもたちとの接し方、学校や地域との関わり方、食べることの大切さ等の研修をはじめ、障害のある子どもを含むすべての子どもたちが安心して参加できるよう専門的な研修等を実施し、スタッフの資質向上を図ります。

また、各事業に携わる人材を確保するため、保護者や学生を含めた地域の方々等、年齢・性別にとらわれず、広くボランティアの参加を呼びかけ、子どもたちとの触れ合いを通じた学びの機会を提供します。

第6 障害のある子どもたち参加について

障害のある子どもや**医療的ケアが必要な子ども**たちにとっても、年齢や性格の異なる子どもたちと一緒に放課後等の時間を過ごし、成長していくことは大切です。そこで、安全に、安心して参加できるよう、障害の特性に合わせて活動の内容に工夫を加えるとともに、スタッフの資質向上を図り、設備・環境面での安全

また、障害の有無に関わらず、いろいろな仲間と遊び、過ごすことによって、子どもたちは思いやりやルールを守ることの大切さを身につけていくことができます。こうした放課後等の活動によって、子どもたちの「障害」についての理解を深めます。

第7 要支援家庭への対応

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化により、祖父母や近隣の住民等から、日々の子育てに対する助言、支援や協力を得ることが困難な状況となっています。また、現在の親世代の人々の兄弟姉妹の数が減少しており、自身の子どもができるまで赤ちゃんと触れ合う経験が乏しいまま親になることが増えていきます。

このような子育て家庭を取り巻く環境の変化によって、就労の有無や状況にかかわらず、子育ての負担や不安、孤立感が高まっています。こうした状況の中、子どもの心身の健やかな発達を妨げ、ひいては生命をも脅かす児童虐待の発生も後を絶ちません。

各事業においては、子どもの言動を十分に観察し、支援を必要とする子ども及びその家庭を早期に発見し、学校や区役所及び専門機関との連携を図るとともに、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもたちの健やかな成長を支援します。

第8 運営主体

子どもたちの放課後等の過ごし方は、子どもたちの成長・発達に大きな影響を与えるものであり、特に低学年の留守家庭の子どもたちにとっては授業時間を超えるほど長時間にわたるため、学校教育と同様、非常に重要なことです。

また、いじめ、不登校、非行、児童虐待等、子どもたちをめぐる様々な課題に適切に対応していくためには、子どもの健全育成に関する専門的な知識と経験やノウハウ、人材を確保・養成する力、安定した運営能力が求められます。

このため、運営主体は、児童の健全育成の分野における良好な事業実績を有し、安定した運営が見込まれること、専門的な能力を生かした、柔軟な事業実施ができること等が必要です。

このような条件や課題の中にあって、今後の運営主体については、これまでの「運営委員会」に加えて、公益法人、社会福祉法人、学校法人、NPO法人等を中心とした「法人」を積極的に活用するとともに、放課後キッズクラブの運営に意欲をもって取り組む意思がある地域に対して、NPO法人の設立等の支援を行います。そして、「法人」の有しているノウハウや人材を基盤に、地域の理解と

支援に関する法律」を踏まえ、より一層、障害のある子どもたちの参加に努めることを定めます。

第7

《内容追加》

児童虐待防止の対策や子どもの貧困対策に取り組むため、関係機関との連携を更に強化することを記載します。

第8

《全面改訂》

全校放課後キッズクラブに転換したため、転換前に関連する文言について見直します。

また、運営主体は、法令を遵守するとともに、すべての放課後児童支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるように組織的に取り組むことを定めます。

性に十分に配慮します。

また、障害の有無に関わらず、いろいろな仲間と遊び、過ごすことによって、子どもたちは思いやりやルールを守ることの大切さを身につけていくことができます。こうした放課後等の活動によって、子どもたちの「共生社会」についての理解を深めます。

第7 要支援家庭への対応

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化により、祖父母や近隣の住民等から、日々の子育てに対する助言、支援や協力を得ることが困難な状況となっています。また、**子どもの貧困の問題は依然厳しい状況にあり、家庭の経済状況により、養育環境に格差が生まれたりするなど、子どもの育ちに対する影響が懸念されています。**

このような子育て家庭を取り巻く環境の変化によって、就労の有無や状況にかかわらず、子育ての負担や不安、孤立感が高まっています。こうした状況の中、子どもの心身の健やかな発達を妨げ、ひいては生命をも脅かす児童虐待の発生も後を絶ちません。

各事業においては、子どもの言動を十分に観察し、支援を必要とする子ども及びその家庭を早期に発見し、学校や区役所及び専門機関とのネットワークを充実させることで、**早期に支援につなげていきます。**また、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもたちの健やかな成長を支援します。

第8 運営主体

子どもたちの放課後等の過ごし方は、子どもたちの成長・発達に大きな影響を与えるものであり、特に低学年の留守家庭の子どもたちにとっては授業時間を超えるほど長時間にわたるため、学校教育と同様、非常に重要なことです。

また、いじめ、不登校、非行、児童虐待等、子どもたちをめぐる様々な課題に適切に対応していくためには、**法令を遵守し**、子どもの健全育成に関する専門的な知識と経験やノウハウ、人材を確保・養成する力、安定した運営能力が求められます。

このため、運営主体は、**法令を遵守するとともに、すべての放課後児童支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるよう組織的に取り組みます。**また、児童の健全育成の分野における良好な事業実績を有し、安定した運営が見込まれること、専門的な能力を生かした、柔軟な事業実施ができること等が必要です。

運営主体については、NPO法人等の法人の力を積極的に活用するとともに、放課後キッズクラブの運営に意欲をもって取り組む意思がある地域の方々が立ち上げた、「地域立上げ型NPO法人」や「運営委員会形式の放課後児童クラブ」

協力を得ることによって、これまで以上に各事業の充実を図ります。

なお、各事業においては、子どもたち一人ひとりの特性や取り巻く環境が異なることを念頭におかなければなりません。このため、運営主体にあっては、特定の思想や宗教等に偏ることのないよう、放課後児童育成施策の趣旨を損なうことのないよう留意する必要があります。

第9 安全確保

少子化による異年齢児間の交流機会や、都市化に伴う「遊びの場」の減少、また塾や習い事による「遊び時間」の減少等、放課後等の子どもたちの過ごし方は大きく変わってきています。これらの変化や傾向によって、例えば「集団遊びが苦手な子どもが増えている」「うまく転ぶことができない」、さらには「人とぶつかりそうになっても避けることができない」等といった“異変”が現れています。

そこで、各事業では、生命・身体に重大な支障を及ぼすような事故が起きないように、必要な安全管理を行ったうえで、保護者の理解や協力を得ながら、冒険的な遊びや運動能力を養う遊びにチャレンジすること等によって、危険や事故から自らを守る力を養います。

子どもたちを犯罪や非行から守ることにもつなげられるよう、こうした活動についてはより一層、保護者の協力や地域の方々との連携のもとに進めます。

第10 保護者の関わりと利用者負担

保護者が子育てにおける第一義的責任を有するという基本認識のもと、保護者会への参加や各事業で実施するプログラムへの協力等、保護者の積極的な関わりを促進します。

子どもたちの健全な育成を図ることを目的とした「遊び・異年齢交流の場」は、実費を除き原則無料とします。

また、保護者が安心して子育てと就労等を両立できるよう支援することを目的の一つとする「留守家庭児童の生活の場」は、利用者に相応の経済的な負担を求めるものとします。

第9

《内容追加》

災害時や感染症対策関連の対応についても定めます。

第10

《全面改訂》

「保護者の関わり」から「保護者との連携」に見直し、より一層、保護者と連携して育成支援を行うことを定めます。

が安定的な運営ができるよう本市が支援を行います。そして、「法人」の有しているノウハウや人材を基盤に、地域の理解と協力を得ることによって、これまで以上に各事業の充実を図ります。

なお、各事業においては、子どもたち一人ひとりの特性や取り巻く環境が異なることを念頭におかなければなりません。このため、運営主体にあっては、特定の思想や宗教等に偏ることのないよう、放課後児童育成施策の趣旨を損なうことのないよう留意する必要があります。

第9 安全確保

少子化による異年齢児間の交流機会や、都市化に伴う「遊びの場」の減少、また塾や習い事による「遊び時間」の減少等、放課後等の子どもたちの過ごし方は大きく変わってきています。これらの変化や傾向によって、例えば「集団遊びが苦手な子どもが増えている」「うまく転ぶことができない」、さらには「人とぶつかりそうになっても避けることができない」等といった“異変”が現れています。

また、これまでに経験したことがない大雨による災害の発生や新型コロナウイルス感染症への対策など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。

そこで、各事業では、生命・身体に重大な支障を及ぼすような事故が起きないように、必要な安全管理を行ったうえで、保護者の理解や協力を得ながら、冒険的な遊びや運動能力を養う遊びにチャレンジすること等によって、危険や事故から自らを守る力を養います。また、災害等の発生に備えて具体的な計画及びマニュアルを作成し、定期的に訓練を行うなどして迅速に対応できるようにします。

こうした活動についてはより一層、保護者の協力や地域、学校との連携のもとに進めます。

第10 保護者の関わりと利用者負担

近年、子育て支援の充実が図られている一方で、子どもの預け先での活動に関心が減っている家庭があります。

一部の家庭では子どもと保護者の過ごす時間も減っており、放課後児童育成事業所が育成支援において果たす役割が大きくなっています。

保護者が子育てにおける第一義的責任を有するという基本認識のもと、より豊かな放課後の居場所となるよう、保護者会への参加や各事業で実施するプログラムへの協力等、保護者の積極的な関わりをより一層促進するための工夫が必要です。

子どもたちの健全な育成を図ることを目的とした「遊び・異年齢交流の場」は、実費を除き原則無料とします。

また、保護者が安心して子育てと就労等を両立できるよう支援することを目的の一つとする「留守家庭児童の生活の場」は、利用者に相応の経済的な負担を求めるものとします。

第11 地域のネットワーク推進

子どもたちが安全かつ充実した放課後等の時間を過ごすことができるよう、各事業と学校、保護者、地域の間で緊密に連携を図ります。

子どもたちが地域の人たちとの交流や、自然との触れ合い、体験学習等を重ねながら成長していけるように、特定の場所だけで活動するのではなく、プレイパーク、ログハウス、地区センター、野外活動センター、図書館や美術館等、地域の資源を十分活用します。また、このような施設だけでなく、子ども会などの他団体や子どもたちを対象としたスポーツ活動等地域活動との連携や、各事業間での交流を進めることによって、放課後等の居場所のネットワークを築きます。

これらの取組によって、保護者をはじめとする地域の大人たちの子育てへの関心や、自らの役割や責任の自覚につながります。

さらに、大学や企業等、より広い観点からの支援も積極的に受けて、様々な体験の中で子どもたちが成長していくことも重要だと考えます。

第12 放課後児童育成施策の方向性

本市において、放課後児童育成施策を推進するため、すべての小学校におけるはまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換を進めるとともに、放課後児童クラブへの必要な支援を行います。

具体的な事業については、平成27年度に施行予定の「子ども・子育て支援新制度」における事業計画に定め、この基本的な考え方の示す施策の方向性に基づいて実施します。

第11

変更なし

第12

《全面改訂》

すべての小学校で放課後キッズクラブへの転換が完了したため、今後は事業の一層の質的拡充に取り組むことを定めます。

また、「横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討会」での検討結果を踏まえ、放課後児童育成施策の方向性を定めます。

第11 地域のネットワーク推進

子どもたちが安全かつ充実した放課後等の時間を過ごすことができるよう、各事業と学校、保護者、地域の間で緊密に連携を図ります。

子どもたちが地域の人たちとの交流や、自然との触れ合い、体験学習等を重ねながら成長していけるように、特定の場所だけで活動するのではなく、プレイパーク、ログハウス、地区センター、野外活動センター、図書館や美術館等、地域の資源を十分活用します。また、このような施設だけでなく、子ども会などの他団体や子どもたちを対象としたスポーツ活動等地域活動との連携や、各事業間での交流を進めることによって、放課後等の居場所のネットワークを築きます。

これらの取組によって、保護者をはじめとする地域の大人たちの子育てへの関心や、自らの役割や責任の自覚につながります。

さらに、大学や企業等、より広い観点からの支援も積極的に受けて、様々な体験の中で子どもたちが成長していくことも重要だと考えます。

第12 放課後児童育成施策の方向性

本市では、すべての子どもたちにとって安全で豊かな放課後等の居場所を確保するため、引き続き、放課後キッズクラブ事業、放課後児童クラブ事業を実施し、放課後等の居場所を提供します。

また、より良い環境づくりや人材確保・人材育成等を進め、更なる質の向上に取り組むための必要な支援を行います。

具体的な事業については、「子ども・子育て支援事業計画」に定め、この基本的な考え方の示す施策の方向性に基づいて実施します。